滿洲日報
八月十九日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

對日外交政策變更と北支安定の各案承認
黃郛更に宋子文を說得

【天津特電十九日發】黃郛が廬山會議に提議した對日政策の變更、北支財政の樹て直し、北支軍隊の整理など北支安定各案は承認され、又北支の軍政案は黃郛に一任することゝなつた、而して國民政府の對日方針革新について廬山會議以來奔走中なる黃郛は近く歸國する宋子文を上海で待ち受けて對日方策及び北支那の問題について意見を述べ、宋子文の反省を促すことゝなつたが、この兩巨頭の意見が果して一致をみるや否や頗る注目されてゐる

對日方針轉向を協議
汪外交部長要人を集めて

【上海特電十九日發】外交部長に兼任した汪精衞は十八日羅文幹と事務引繼を行つた後國民政府首腦部の林森、戴天仇その他四十餘名及び西南派の代表陳濟棠と對日外交方針について協議したが難局打開のため從來の如き成行き主義の外交を改めて一定の方針を確立することゝなつた

宋の報告を待ち決定か

【南京十九日發國通】汪精衞は十八日午後三時外交部に初登廳、羅文幹の紹介で各部員を引見訓辭を與へるところあつたが、今次の汪の外交部長就任と共に中央外交方針は重大なる轉換の醞醸あり、これが最後的決定は一に宋子文の國際情勢報告を俟つて行はれる事になつて居り既に廬山會議において蔣、汪、黃の具體的交渉あつたと傳へられ今後數ケ月の中央外交方針の轉向は極めて注目さる

對滿諸政策は性急ではいかぬよ
方針は議定書に明記してある
うすりい丸船中で菱刈將軍漫談

【うすりい丸にて加藤特派員十九日發】明日の大連上陸を前にして航海三日目の菱刈軍司令官は十九日早朝より例の白絣にタオルをぶら下げたざツくばらんな態度で甲板の籐椅子の上にのけぞり煙管ですぱ〳〵やつてゐる、どこから見ても「おやぢ」の感が深い

八郎馬 ぢや、わし等なんか引つぱり出すのはまさにその感が深い、もつと若手の人が來るべきぢや、滿洲の治安問題?いゝぢやないか、いざとなればどうにでもなる、駐屯軍問題などでは別に打合せて來なかつた對滿經濟問題、さう性急にはいかぬ、一日が二十四時間である以上二年やそこらでそんなに多くを期待してはいけない、日本が今日になつたのは七十年かゝつてゐるんだ、判つたか、日本は兎角大きなものを寄せて小さなものをつくる、たとへば大阪城のやうなものだがそれではいけない、小さなものを集めて大きなものを造り上げねばならぬその點萬里の長城の如く小さな石を集めてあんな大きなものを造る

心意氣 があつて欲しい、經濟政策もこの眞意をよく呑み込むべきだ、附屬地の還附問題は還すべしといふのと、還さないといふのと二つの說があるが共に理窟がある、しかし一番男前を見せるか、何れにしても日滿議定書で日本の進むべき途ははつきり記されてゐるわしに入滿の辭を求めるなら武藤前全權の入滿の辭をそのまゝ出すよ、アハ……、兎に角日清、日露の役當時中心になつてやつたものはみんな若かつた、だから今度もみんな若達若いものが一生懸命になるんぢやな

俺は飽まで若い者本位 朗らかな將軍

【うすりい丸にて加藤特派員發】菱刈將軍はすつかり旅の疲れを忘れ早朝から得意の磊落な笑聲が朗かに聞える、波は穩かに向ひ風で涼しい、うすりい丸船長が將軍に五・一五事件の罅を聽く

「五・一五なんてあまり問題にするな、日本人は兎角一寸した事に神經をつかひ過ぎる、そして新聞などが囃し立てゝいけない、三原山でも有名にしたのは新聞ぢや、然しあまり老人を働かしておくといけん、そんな事が若い血氣の者を動かしたんぢやろ、兎に角俺はあくまで若い者本位ぢや、今度も長男の隆教が心配して俺に附いて來るがあ奴俺をすつかり老人に扱つてなる」頗る機嫌好く何服目かの煙管をとる

世界不戰大會 英米佛代表到着

【上海特電十九日發】世界不戰大會は九月三日より上海で開催されることゝなり英米佛代表は十八日當地に到着した

着任當日の埠頭警戒

待ち兼ねる我等の菱刈將軍は愈々二十日午前七時半港外着豫定のうすりい丸にて來連するが、この日埠頭は歡迎に混雜を極めるであらうが、一般警戒に當る水上署員は非常招集をなし御影池民政署長、岡本海務局長、土屋水上署長を始め關東廳局長級少數と記者團は水上ランチにて定刻前三十分出迎へ一方要塞司令部よりもランチを出し警戒に當る筈、又一般出迎への人々は當日に限り埠頭廣場の馬車詰所より進むことを禁ぜらる、ヴエランダには各團體代表者のみ入場を許され、うすりい丸船客の一般出迎人は同船三等乘降口以外差止られることになり、斯くして水上署は埠頭警戒に萬全を盡し大連署はこれと連絡を保ち市內要所の警戒に當ることになつた

全國商業學校長一行 十八日午前八時三十分鄭總理を訪問し決議文と賀辭を呈した(寫眞は賀辭を述べる學校長連)

日本の社會的不安
人口と就職の不均衡
太平洋會議で上田博士演說

【バンフ十七日發國通】十七日の太平洋會議圓卓會議において東京商大教授上田貞次郎博士は日本の人口問題に關し左の如く演說した

日本の人口問題は出產率の減少によつて解決するものではない、一九五〇年における勞働人口總數は一九三〇年のそれよりも一千萬の增加を見るであらう、從つて年々尠くともこの半數の新就職口が用意されねばならぬ、產兒制限は問題を解決しないであらう、蓋し來るべき二十年間の勞働人口は既に生れてゐるからである、日本の社會的不安はこの人口と就職口の不均衡に原因する、日本の如き人口增加の過程にある國民を狹隘な國土に押し込んで置く事は不合理である(寫眞は上田博士)

蘇聯代表に誠意無く北鐵交涉續行は無用
滿洲國側愈よ最後の肚

【東京特電十九日發】北鐵問題交涉はソウエート側が讓渡價格五千萬ルーブルを減額し問題は金ルーブルの換算率協定に集中された如く見えて會議の前途を樂觀されたが、これはソウエート側の會議引延し策の現はれで、十七日の會議において滿洲側が各自の最後案を持ち寄つて一擧に決定せんと提議したに對し、ソ聯側は更に本國より專門委員の派遣を求めて協定せんと述べ誠意なきのみならず、盛に宣傳政策により日本、滿洲兩國の輿論攪亂を企て日本の實業界に向つては若し問題が有利に解決せば賣却代の半ばは日本商品購入に充てると稱して側面運動をなしつゝある事實があるので、滿洲國代表は相手國が何時までもかゝる無誠意の態度をとる以上この上會議を續行する必要なしといよ〳〵最後の肚を決めるにいたつた

滿蒙素描 (2)
文並に書

鐵嶺山驛に來たときには雨が降りやみ、雲が晴れて、涼しい夕風が車窓から流れ込んで、あたりの山々のみどりはやはらかに濕つた。

驛舍をめぐつて、掩堡と、その掩堡を圍む鐵條網が張り廻され、そして武裝の警官と若い兵士と驛員たちが立つてゐた。

「滿洲に來たのだ――」異樣な空氣がピンと胸に來る。

馬賊の襲來に備へたものである。

馬賊――馬賊――馬賊――滿洲の癖だ。その癖がまだ幾らか殘つてゐる、その馬賊が蠢動する高粱の繁茂期に近づきつゝある。

まだ、低い高粱は、そよ〳〵と風に吹きなびいてゐた。

ふと、驛舍の方を見ると、十六七の內地人の美しい少女が、たつた一人、鐵條網の外側に立つて、浴衣の袂を夕風に飜らせつゝ、じいつと列車を眺めてゐた。

このあたりは小馬賊、大馬賊の各產地?だ。もしも、驛の背面のこんもりと茂つた林の中から馬賊が現れて來たら、少女よ、お前はどうなる――私はそんなことを考へたりした。

大空の星はキラキラに輝いて來た。

少女の瞳はその星にそゝがれたらしく、白い顏を上向けにしたとき列車は發車してしまつた。

食堂車へ入つて行くと、そこにはシャツ一枚になつた連中が、ビールの泡を吹きながら、大きな聲で滿洲をどうする――さういつた議論をそこ、こゝで交してゐた。

初めて來たものが多いらしく、たゞ、夢に滿洲を描いてゐた。

滿洲景氣に煽られて、無目的にやつて來た連中が五分と見てよからう。――やがて、十日もたゝないうちに、失望してルンペン職しかとりつくことのできない哀れさを知るであらうと私は考へた。

滿洲は徒らに大言壯語をさせるための滿洲でないのだ。けれど、彼らはたゞ大言壯語の世界としか考へてゐない風にある――そこへ七八人の娘子軍一隊がどか〳〵と入つて來た。

腰かけるところがなかつた。それでも、通路に立ちふさがつてボーイたちを面喰はせてゐる。中には浴衣の裳をめくり、すこし紅いものを平氣でチラつかせてゐる。無言裡に「滿洲」を笑ひの中に呑み込んでしまふ戰士らしさがある。

やがて、一隅の席が空くと、そこへ目白押しに腰かけて

「ビール」

「小豆アイス」

と叫んだ。

「アイスクリームならございますが、小豆アイスは食堂車にはございませんので」

ボーイはペコリとお叩頭した。

小豆アイスが最上のものとしか知らない日本の女たちであつた。笑ふに笑へない哀れさがある――

國策協定の效果
非政友系閣僚は多く期待せず
首相側近者も冷淡

【東京十九日發國通】齋藤首相は鈴木總裁との第一回會見に先だち二十二日の閣議席上、鳩山文相よりの進言以後の經過並びに鈴木總裁と會見すべき顚末に關し報告し諒解を求むる筈であるが、政友系閣僚を除く他の閣僚間には一般に齋藤首相が如何なる意味において會見するものであるかの點に關し疑義を持つものが多い模樣で、殊にその效果については悲觀說が多く早くも右會見の成行きに關し多大の危惧が擁はれるに至つた、即ち鈴木總裁を中心とする黨首腦部においては政府との政策協定を極力具體化せんとするに對し、首相並びに側近者においては政策問題については全く冷淡なる態度を持し、會見に際しては單に「現下の非常時局に對する認識を深める」を以て第一となし、政友會が政策問題を提へて政府に迫る場合には第二次、第三次の會見の如きは益々困難となるかも知れぬ氣色を示してゐる

第一回會見では政策を提示せず
政友會側の態度決定

【東京十九日發國通】鈴木總裁は齋藤首相との第一回會見においては單に首相の話を聽きおく程度に止め鈴木總裁より政策を提示することを差控へ、若し政友會の實行せんとする政策を聽かれた場合は一應幹部共相談の上、何れ御挨拶する旨を述べて直に長老會議を招集し會見顚末を報告して協定に提示すべき政策について意見を聽取し諒解を求め、更に幹部會の議を經て自から齋藤首相を訪問しその際政策を提示して協定を開始することに方針を決定した、而して政策協定の範圍については鳩山文相を始め黨首腦部が成るべく大綱に止めんとしてゐるに反し、鈴木總裁は今なほ頑として當初の意思を枉げず十八日朝來鳩山、安藤、中島氏等が相次いで總裁の心境緩和に努めてゐるが、依然として政府が曩に發表した十三政綱とか我黨の中間報告をなした三大指導精神とか十大政綱とかは單なる抽象論であつて、何人も異論のある筈がなく、從つて只これだけを協定したのでは全然無意味であると稱し、未だ心境が緩和せられ居る模樣なく、此儘の狀態で進む時は如何なる暗礁に乘あげぬとも限らずと憂慮されてゐる

滿鐵囑託將校增員

滿鐵では事變後鐵道營業の擴大に伴ひ從來の如く囑託將校二名では到底關係筋と軍事輸送、鐵道警備等に關して圓滿な連絡を保つことは不可能であるため、實際上總監司令部その他の關係において滿鐵事務をその他の將校に囑託してゐたが、今回正式に十九日附の社報で發表した、なほ左記三氏は鐵道部、鐵路總局、建設局の運輸關係事務を掌る筈で、今回の增員により滿鐵の囑託將校は會社全般の政策に參與する後宮大佐をはじめ運輸關係五名の多數となつた

陸軍步兵中佐 佐藤要
陸軍步兵少佐 三原修二
陸軍步兵大尉 市田一貫

會社事務を囑託す(各通)

地方事務所長異動

滿鐵地方部では山岸四平街地方事務所長の海外留學に伴ひ十九日附を以て地方事務所長の異動を發表したが遼陽地方事務所長には沖體育係主任が拔擢された

地方部勤務を命ず 四平街地方事務所長 山岸守永
四平街地方事務所長を命ず 遼陽地方事務所長 石岡武
遼陽地方事務所長を命ず 學務課體育係主任 沖彌作
體育係主任兼務を命ず 學務課圖書館係主任 下田一夫

中村軍司令官歸津

【天津十九日發國通】停戰後の戰區視察のため山海關方面に赴いて居つた中村駐屯軍司令官は本日午後八時歸津の筈である

人事

うすりい丸 二十日午前七時半大連港外着豫定

▲福本義亮氏(神戶商議會頭)十八日はとで來連
▲大阪教育會見學團一行二十名十九日出帆たこま丸で內地へ
▲佐藤敬三氏(青島海務協會專務理事)十九日入港の青島丸にて青島より來連
▲杉浦忠雄氏(關東廳高等法院長)十九日午前八時着列車で來連
▲下田勝久氏(同檢察官長)同上
▲久下沼英氏(同監察官)同上
▲古川達四郎氏(北鮮鐵道管理局次長)十八日午後七時五十分列車で着連
▲孫輔忱氏(吉林省實業廳長)十九日朝はとで北行
▲石本鏆太郎氏(大連市會議員)同上
▲坂田修一氏(滿電人事課長)同上
▲大河戶宗治氏(東大教授)同上
▲青木一男氏(大藏省外國爲替管理部長)同上
▲松崎直人氏(陸軍中佐)同上
▲神成季吉氏(前周水土地建物會社專務)二十二日離連歸國につき十九日暇乞の爲め各方面訪問
▲賀田直治氏(京城商工會議所會頭)日滿實業懇談會出席の爲め滯連中の處十九日歸京
▲伊藤正毅氏(同所理事)同上
▲太田弘氏(仁川商工會議所副會頭)同上

蛇角

◇いよ〳〵あす、菱刈全權入滿、巨星、新に滿蒙の空に輝く。
◇その全權の「州內墳墓守說」殊におもしろし。
◇百の議論より一の實行、移民の空論家、將軍の前に顏色なし。
◇五・一五事件、陸軍被告への判決は、法の峻嚴さを立證す。
◇裁く者、裁かるゝ者、一點の私心なきを喜ぶ。
◇看守長がスリを捕へた、これこそ直接取引きの見本。

產業視察團 けふ平壤へ向ふ

【安東電話】本社主催滿鮮產業視察團一行は十餘日に亘る新興滿洲國の產業經濟狀態の視察を滯ほりなく終へ豐富な認識をお土產に十九日午前八時滿洲に別れて平壤に向つた

東天紅 (175)
田中純
林一三 畫

父の心 (一)

松波老人が箱根の宿に歸つて行つた時、晶子はまだ舞踏會から歸つてゐなかつた。宿の女中に訊くと、彼女は富士屋ホテルに行つてるとのことだつた。憎惡と嫉妬とに疲れ果てた老人は、その上、舞踏會などに行く勇氣もなく、その儘風呂に入つて床に就いたが、そこへ、晶子が、今夜の發見に顚倒して、歸つて來たのである。

「ねえ、あなた、わたし今夜、えらいものを見つけて來ちやつたわよ」

松波の姿を見ると、晶子は、老人がどうして、今夜此處に歸つて來て居るかを訊くのさへ忘れて、いきなり、そんな風に話し出した。

「ふむ、何ぢやれ、それは?」

老人は、今夜、潤子のところへ寄つたことを、晶子に話さうか話すまいかと迷つて居るところだつたので、彼女がそんな風に、自分の話しに夢中になつてゐるのを、むしろ好都合だと思つた。

「それアもう、えらいことよ。そも、あなたなんぞ、想像もつかないことだけど……」

言ひながら、晶子は、着物を着換へないで、松波の寢床に擦り寄つた。

「何ぢやれ?わしに關係があることかね」

「あるとも、あるとも、大ありだわ」

「ほう」

「だけど、あなた、今日、御本宅にお寄りになつて?」

「うむ。午後、東京に着いた時、着物を着換へるのにちよつと寄つて見たが……」

「何か變つたことはありませんでしたか?」

「さア、別に變つたことも聞かんやうぢやつたが、それが何か、お前さんの話しに關係があるのか」

「大ありだわよ。――それで、お宅のお孃さん、どうしてらして?何か樣子をお聞きにならなかつた?」

「うむ、あれかね。あれは、この十日ばかり、鎌倉か何處かへ行つてるさうぢやよ」

「誰にお聞きになつた?」

「女中がさう言ふさうだよ。鎌倉へ行くと言うて、出て行つたつて」

「まア、呑氣なお父さんだこと。そんなことでは、誰に何を騙されたつて、屹度、お氣附きにならないわね」

「そんなことがあるものかね」

その言葉で、はしなくも、今夜の潤子の家でのことを思ひ起された松波は、われにもなくむつとして言つた。「それでは、鮎子が鎌倉以外の、何處ぞへ行つてるとでも言ふのかい?」

「勿論よ。しかも、それが、この箱根の宮ノ下なんだから、驚いたでせう」

「しかし、それアお前さん、こないだも、さう言ふとつたぢやないか。自動車の中から、鮎子らしい娘を見たとか見なかつたとか」

「ところが、今夜は、ばつたりと會つたのですもの。而も、一緒にお茶まで飮んだのですから、人違ひでも幽靈でも、何でもありませんわ」

「それア何處でだれ」

老人の聲には、驚きも何もなかつた。

「ホテルの舞踏會で」

「ふむ、それなら別に、不思議でも何でもないぢやないか。今頃の若い娘ぢやもの。舞踏會ぐらゐ行くぢやらうし、鎌倉まで來て居れば、箱根に來るのはわけのない話しだし……」

「ところが、そのパアトナアを誰だと思し召して?あの、うちの俳優の相良だから、驚くぢやありませんか」

「ほう、相良とれ……」

木彫の面のやうな老人の顏に、始めて、輕い驚きの表情が現れた。

陸軍側被告全部に 禁錮八年を求刑
陸刑法第廿五條第二號を適用 けふの軍法會議で

【東京十九日發國通至急報】昨昭和七年五月十五日突如帝都を鮮血に彩り恐怖日本を現出せしめた五・一五事件の陸軍側被告元士官候補生後藤映範(二五)外十名に對する軍法會議は去る七月二十五日以來西村裁判長係りの下に青山第一師團軍法會議法廷において前後七回に亙つて開かれ、白日下に事件の全貌を露はし來つたが十九日午前八時より開廷された第八回公判で匂坂檢察官より全被告に對し峻嚴なる論告の後、陸軍刑法第二十五條第二號後段に依り全部禁錮八年を求刑された、時に九時三十七分この日首二十名を容れる傍聽席は一名も餘さず埋められ滿廷息づまるやうな緊張の裡に各被告とも嚴然として法廷に臨み檢察官の論告求刑に對し深淵の如き沈着な態度を示してゐた

【東京十九日發國通至急報】反亂罪を以て公訴を提起された五・一五事件陸軍側被告後藤元士官候補生等十一名に對し十九日午前九時三十七分第一師團軍法會議法廷にて匂坂檢察官より左の如く陸軍刑法第二十五條第二號後段に依り全部禁錮八年を求刑された

禁錮八年　元士官候補生　後藤映範
同　同　中島忠秋
同　同　八木春雄
同　同　篠原市之助
同　同　石關榮
同　同　金清豐
同　同　野村三郎
同　同　西川武敏
同　同　菅勤
同　同　吉原政巳
同　同　坂本兼一

陸軍刑法第二十五條

【東京十九日發國通至急報】本日の反亂罪求刑に於て適用されたる陸軍刑法第二十五條は左の如し

第二十五條　黨を結び兵器を執り反亂を爲したる者は左の區別に從つて處斷す
一、首魁は死刑に處す
二、謀議に參與し又は群衆の指揮を爲したる者は死刑若しくは五年以上の懲役又は禁錮に處し(以下後段)その他諸般の職務に從事したる者は三年以上の有期の懲役又は禁錮に處す
三、附和隨行したる者は五年以下の懲役又は禁錮に處す

論告要旨

【東京十九日發國通至急報】今日の陸軍側反亂被告事件に關する第一師團軍法會議檢察官法務官匂坂春平氏の論告は午前八時開始され九時三十七分に終了したが右論告要旨は半紙十八枚に謄寫されたもので緒言を始めとし左の項目に別れてゐる

緒言
第一　事實論
一、公訴事實に關する證明に就いて
二、本件事犯の重大性に就いて
三、本件事犯の動機に就いて
四、本件事犯の目的に就いて
五、本件事犯の原因に就いて
第二　法律論
一、被告人等の身分と陸軍刑法の適用に就いて
二、被告人等の行爲と反亂罪の成立に就いて
三、被告人等の反亂罪狀の地位に就いて
四、被告人等の行爲と反亂罪以外の罪名との關係に就いて
第三　情狀論
第四　求刑

尚情狀論と求刑は前に謄寫に附せずして論告を傍聽新聞記者に筆記せしめたが其他の調書は一切廷内の筆記を許さずして嚴重に憲兵をして警戒せしめた

證人申請を行ふ
井上日召は動かぬ處 廿三日の海軍側公判

【横須賀十九日發國通】海軍軍法會議は二十三日の十七回公判で全被告の事實調べ終了となるので辯護人團は十八日午後横須賀水交社に證據申請に關する協議をなした結果、二十三日の訊問終了の直後證人申請を行ふことに決定した、その內容は極秘に附されてゐるが殆ど全部の被告と關係を持ち然も各被告から信賴されてゐる血盟團の井上日召が申請される事は先づ動かぬものと見られてをり、この他にも被告等を最も憤激せしめたロンドン條約關係で當時活躍した豫備役の將官や被告の同窓等が申請されるものと觀測されてゐる、日召は故藤井少佐と共に事件に重大關係を持ち五・一五事件の先驅をなしただけにこれが證人に採用となれば各被告と法廷で相見える劇的シーンとなるべくその採用如何は最も注目され、尚證人申請全部却下となれば二十八日證據調べに入る筈である

柔劍道教師 選任決定す
滿鐵運動會

滿鐵運動會では昨年四月各支部囑託の柔劍道教師を解職し大連本部から奉天、撫順兩支部より專任武道教師を派遣の上稽古にあたつてゐたが何分廣範圍を專任教師少人數のためかなりの不便を生ずるので再び各支部においてそれぞれ武道教師を委囑することになり本部で種々人選中のところ左記の如く決定それぞれ發表した

▲沙河口道場　星野仙藏(劍道五段)　吉田四一(柔道五段)
▲瓦房店道場　楠原金一(劍道三段)　瀨之口長春(柔道三段)
▲大石橋道場　菱川精一(劍道四段)　柔道は目下人選中
▲遼陽道場　清水康三郎(劍道教士)　横山政雄(柔道三段)
▲鐵嶺道場　横山信太郎(劍道五段)　佐々木武三郎(柔道五段)
▲開原道場　竹下榮治(劍道四段)　阿部育三(柔道五段)
▲四平街道場　佐藤彌作(劍道四段)　長澤榮太郎(柔道四段)
▲公主嶺道場　田代敏行(劍道三段)　通山峻実(柔道四段)
▲新京道場　佐藤倉之助(劍道五段)　內海宮雄(柔道二段)
▲本溪湖道場　淵田兼光(劍道五段)　今里新吉(柔道四段)
▲安東道場　三浦四郎(劍道三段)　吉岡正隆(柔道三段)
▲鞍山道場　増田六郎(劍道五段)　山浦新治(柔道五段)
▲營口道場　目下人選中

漕艇大會を開く
九月三日埠頭構內で

昨秋復活第一回の漕艇競漕を擧行した滿鐵運動會漕艇部では既報の如く來る九月三日第二埠頭構內地定期船發着點前に於いて第二回漕艇大會を華々しく擧行するが主催たる滿鐵運動會漕艇部では今春オリンピック派遣選手早大出の酒井を始め日大出の高木商大出の外崎、東京帝大出の金子、齋藤の東都學生漕艇界名選手を迎へたので昨年大會より一層盛大に行ふべくすでに諸準備を完了し大阪商船の好意に依り當日碇泊中の定期船を觀覽席として開放することになつた

又千米の選手競漕土肥盃爭覇の各寮對抗競漕、總裁盃爭覇の傍系會社競漕並びに色別け競漕等に出場する各クルーは愈々本格的練習に依り時ならぬ活氣を呈して居るが本年は特に今秋東京隅田川に於いて擧行される明治神宮體育大會漕艇大會に滿洲代表チームを派遣することに決定し來る大會を第一豫選として同大會優勝の滿鐵漕艇部クルー、滿鐵色別優勝クルー、招待レース、優勝實業クルーの三クルーを以て更に十日決勝レースを擧行して代表クルーを決定することになつて居るので異常なる興味をもつて迎へられて居る

尚競漕種目左の如し
▲選手競漕(六人固定艇)　距離千米
▲一般競漕
(イ)各寮對抗競漕　距離千米
(ロ)一般競漕　距離七百米
▲招待競漕
(イ)傍系會社及びその他官廳銀行、會社　距離千米
(ロ)專門學校以上競漕　距離七百米
(ハ)中等學校競漕　距離七百米
▲色別競漕　距離千米

日滿美術協會展

日滿美術協會では豫てから內外知名士の書畫を蒐集してゐたが今回一般の希望に添ひ十九日二十日の兩日毎日午前八時から午後六時迄市內伏見臺南滿洲工業專門學校內に於て日滿知名士二百餘名の筆蹟展覽會を開催してゐるが當日特に北平胡東曉畫伯の作品をも併せて展覽してゐるので來觀者を喜ばせてゐる入場隨意

全國中等野球 平安勝つ
對松山中學校

【大阪十九日發國通】中等野球準決勝平安中學對松山中學は十九日午前十時平安中學先攻で開始結局四對零で平安勝つスコア左の如し

平安	000	030	100	4
松山	000	000	000	0

心も千々に亂れ 新婚の夢儚し
失職した悲しみを打明け得ず 罪を重ねて鐵窓へ

【新京電話】新婚の夢まどらかな日も一瞬にして消え失職に伴ふ生活苦から遂に金滿を腹にかけた大詐欺團の群に投じ滿洲國官吏の名譽を僅かに新妻の前につくろつてゐたものの天命のいたすところ一切を明るみに曝け出され今では鐵窓の奥深く人生の果敢なさを嘆いてゐる男がある――原籍大分縣中津上宮永町四、當時新京旭通京都旅館止宿天ケ崎六郎(二八)といふ滿洲國被服廠の元官吏であるが、性來放縱な彼は月々の給料では使ひ足らずふとしたことから遂に本年六月十日需要處の官吏と詐稱し松野書店から九十五圓餘の釣錢詐欺を働くにいたり、その後一時被服廠には病の保養と稱して歸國し當局の目を逃れ郷里において現在の妻花子(二二)=假名=を娶り七月三日再び任地新京に歸來し前記京都旅館に止宿してゐたが成績不良の故で七月十日附職を免ぜられるにいたつた、彼としては新妻の手前打明ける勇氣もなく悶々として日を送るうちふとしたことから山田某と知り合つた、この山田某こそは昨年末以來大連、奉天、新京その他至る所を腹にかけて惡事の限りをつくし當局の目を巧に逃れ新京に潜伏中のもので天ケ崎は山田と結託し七月二十八日大和藥房、同三十日船越商店、バレー洋服店などから滿洲國官吏と詐稱して二百五十圓の釣錢詐欺を働き最後に池畑自轉車店から同樣詐取せんとしたところ失敗し遂に惡運つきて新京署の手に逮捕されるに至つたものである、共犯者山田は逸早く逃走し行方を晦ましたが當局では目下嚴重搜査中である

殆んど賣約濟み
各特設館の出品物 人出盛なけふの滿博

數日來の熱風影をひそめ星ケ浦より訪れる爽やかな涼風に加へて蠢空さ土曜さに惠まれて十九日午前の滿博はかなりの人出を見た、開會以來二十數日各特設館の出品物は殆ど賣約濟みとなり引續く種々の催し物の素晴らしい滿博景氣に煽られて氣を好くした各特、私設館は餘すところ十二日最後の宣傳に必死の陣を張つて係員一同大童である

子供の國の カメラデー
あすの日曜

滿博內本社主催の「子供の國」では開催以來一般入場者への奉仕さして日曜毎に各種デーを催し好評を博して來たが更に明二十日の日曜日には入場子供のため「さくらカメラデー」を催す事になつた

この「さくらカメラデー」は大連初めての催しで寫眞の好きな坊ちやん嬢ちやんの爲め午前十時から午後四時までの間開催し希望の者に限つて會費三十錢を支拂へば子供汽車乘車券共通の參加章を渡す事になつて居りこれと引換にフキルム四枚揃を貸へるから備へ付けてあるさくらカメラの貸與を受け國內好きな場面を思ひ思ひに撮影する事が出來るのである、この催しには西通り木村洋行支店が多大の犧牲を拂ひ右さくらカメラ三十個を備へ附けこれを參加者へ貸與するのみならずどんな素人の子供でも完全に撮影出來るやう係員が手を取つて懇切丁寧に敎へて呉れ、而かもこれを係員に渡して子供列車に乘り子供の國を一周して歸る間に無料で現像も燒き付けもして出來上つたものを寫した坊ちやん嬢ちやん方へプレゼントする事になつてゐる、寫眞を習ひ度い坊ちやん嬢ちやんには絶好の機會であり、且つ父ちやん母ちやん方にとつても又と得られない好いチヤンスである飛行機に乘つてゐる無邪氣な子供達、汽車に乘つた樂しい集ひ、また無料休憩所の一家團欒などこれをカメラに收めて置く事も滿博永久の記念となるから是非この機會をのがさず利用して貰ひたいと

スポーツ一束

硬球庭球戰
州內對州外對抗の 明廿日中央公園內

本社盃爭覇の本社主催の州內對州外對抗硬球庭球戰は二十日午前九時より中央公園滿鐵硬球部コートに於てシングルス七組、ダブルス四組出場の上擧行するが滿軍メンバー交換の結果出場選手左の如く決定した、尙オーダーは當日朝交換の筈

州內軍
小寺、伊藤、吉田、小林、新井、茶岡、櫻井(以上滿鐵)

州外軍
中村、野田、村田、藤田、平田、菅原(以上奉天)則生、福間、白石(以上新京)

市民射擊會
明二十日開く

大連市民射擊會では二十日午前八時より春日池同會射場において第二十八回拳銃射擊大會を左記規定の下に擧行する
▲受附時間　午前十一時限り
▲姿勢　立姿
▲距離　三〇米
▲射彈　五發連射
▲使用銃　射擊用コルトを除き他は隨意(但しモーゼル一號はなのぞく)
▲射票料　會員二十錢會員外四十錢(但し彈藥は自辨とす)
▲再射料　初射と同額

師匠間の暗闘に 內紛漸く深刻
あと四名の老妓出演承知せず その後の紅燈異變

大連老妓連の一部が依然博覽會演藝館に出演を嫌として肯せず爲めにこれが裏面の策動者と目されてゐる女紅場師匠西川照松師に對する非難の聲が高まり、いよいよ近く組合員有志の手で女紅場臨時總會を請求し西川師の解職案を叩きつけることゝなり、內紛はますます深刻化さんとしてゐる、即ち女紅場役員會では辨護理事長の辭表を保留し西川師を通じ出演せぬ九名の老妓連に對し十八日朝以來出演方を交渉中であつたが、同日五名のみ漸く出演し、あと四名の老妓は頑として出演せず、これが爲め一部組合員は「市及び協贊會に迷惑を及ぼし、また多大の費用を投じてわざわざ內地から師匠、囃師、衣裳まで取寄せた大掛りな計畫は水泡に歸した、しかも出演拒絶の直接原因は師匠間の暗闘に基くもので私情による紛爭を市の事業にまで波及させた西川師の責任を鼎かならす」となし俄然排斥の手が揚げられたものであるが、西川師の裏面にはダンスホール反對派の有力者が控へてをり、紛糾の擴大を豫想されてゐる

三軒に對し 營業停止
滿博內遊戲場

滿博內遊戲場は營業許可以來未だ日淺きにもかゝはらず續々取締命令違反者が現れ、遊戲場本來の趣きを全然失ひ、夜間の如きはあたかも一大賭博場を現出するの感があり、一般市民中にも非難の聲が高いが所轄沙河口署においても豫て嚴重調査を行つた結果、或ひは遊戲場の許可を得て一種の利權として他人に賣渡してゐるもの或ひは條項に違反して純然たる賭博行爲を行ひ、或は規定時間後までも營業を續ける者のある事を認めたので遂に斷乎たる處置に出でることゝなり十九日午後市內元町四四松村晋三、濱町四丁目佐々木瀧吉、聖德街三丁目天野ツギノ外七軒の遊戲場に對し營業停止を命じ更に營業權を賣渡してゐるもの三軒の營業許可取消を命ずることゝなつた

土中に埋めて 毆る蹴るの虐待
海賊に捕へられて七十日間 第一桂丸船長歸る

去る五月二十二日遼河々口において海賊のために拉致され死線を彷徨すること七十日其の間身代金を强要生埋めされたり或は目前人質三人の殺害される血を見ながら幸運にも支那官憲のため救出された漁船第一桂丸船長山下兼一氏は身柄引取の爲めに營口に赴いた船主田中矩一氏に連れられ十九日午前十一時入港の青島丸で歸連した、埠頭には三ケ月ぶり奇蹟的に歸つて來た夫を迎へるすみ子夫人と一人息子の澄男君が喜びの顔を輝かし待ち設けてゐた、眞黑に陽やけした山下船長はおそろしかつた遭難談を語つた(寫眞は歸つた山下船長)

捕へられた人質は日本人私一人と支那人が二十三人でした、我々を連れた賊は黃河上流の淺瀨ばかりを引廻しかくれてゐたのです、河の深いところへ行けば支那官憲に發見されるので極力避けたらしく七十日間頭目の名前は遂に敎へてくれませんでした、この間食物と云へば徹頭徹尾粟飯ばかりで鹽一つくれず毆る蹴るの虐待で遂には步けない程衰勞しました、最初賊は二萬圓の身代金要求をなし主人にこれを責けさ責められ遂には肩まで土中に埋めて虐められましたが、百圓も金はないからと頑張りました、後で青島總領事館で聞くと賊の手で書いた四千圓身代金要求文が來てゐました、我々の幽囚中人質二人の支那人は河中に叩き込まれ斬殺され六十餘歳の老人は毆り殺されましたが、それを見て生きた心地はしませんでした、幸ひ八月二日に支那官憲が來て三十分餘の遭遇戰の後助けられましたが當時は步く力もない程弱つてゐました

間もなく船が岩壁に着けば親子三人無事の顔をみて喜びの涙を滲ませ乍ら友人等に圍まれ歸つて行つた

二名窒息絶命
投身兵を救はんとし 大村聯隊の古井戸で

【大村十八日發國通】大村四十六聯隊第二中隊一等兵山川孝治(二三)は十八日午後二時頃行方不明となつたので行方搜査中聯隊より數町先の深さ三十尺の井戸に投身せしこと發見、伍長井上政治(二三)が救助に這入つたが出て來ぬので軍曹長好富爾(二三)が這入つて行つたがこれも上つて來ぬので大騷ぎとなり漸く三名を引揚げたが惡瓦斯充滿してゐた古井戸に這入つたゝめ窒息絶命してゐた、小川一等兵は病身のため世をはかなみ投身自殺したものらしく他の二人は全く部下の犧牲となつた譯である

母國訪問の 青年劍士
廿一日着連

北米武德會々長の引率する在米同胞第二世敎養團青年劍士の母國訪問武者修行の一行は去る七月六日横濱入港の大洋丸で歸國、內地各地を訪問交歡し十七日敦賀經由新義州より滿洲に入り奉天、新京を歷訪し來る二十一日十九時五十分着はさて來連することになつた、滿鐵運動會劍道部では來る二十二日午後三時半より大連道場に一行を迎へて歡迎稽古を行ふ由一行のメンバー左の如し

團長中村藤吉▲男子部二段助金早大(二〇歳)ワッソンビル高等學校學生、初段今田辰雄(一七歳)サクラメント高等學校學生、初段原秋雄(一八歳)フロリン高等學校學生、初段松宗正行(一七歳)サリナス高等學校學生、初段山下正喜(一七歳)センタピル高等學校學生、初段中野次雄(一八歳)メンロパーク高等學校學生、一級龜井一(一五歳)サクラメント高等學校學生、三級田中武利(一六歳)サクラメント高等學校學生▲女子部初段樋口芳子(一八歳)モントレー高等學校學生、初段眞壁カオル(一九歳)オープン高等學校學生、二級田村末子(一七歳)サクラメント高等學校學生、二級脇田マリ子(一八歳)サクラメント高等學校學生、少年初段岡本フヂエ(一三歳)サクラメント女學生

天氣予報　二十日
南西の風驟雨模樣 後晴れ
滿潮(午前 一〇時一〇分　午後 一〇時二〇分)
干潮(午前 三時一〇分　午後 四時四〇分)
各地溫度(十九日午前十一時)
大連 二五　奉天 二四
旅順 二四　新京 二三
營口 二四　新義州 二六

けふの小洋相場(九時)　金百圓は一二七圓七五錢

聖愛醫院の醫藥集談會

聖愛醫院醫藥集談會八月例會は二十一日(月)午後四時より本院講堂において開催するさ
一、腰椎穿刺後頑固なる「メニンギスムス」の一例(桑野稔)
一、再歸熱に就て(牛久昇治)
一、急性化膿性疾患の非觀血的療法(城野寛)
一、原因せる急性漿液性腦膜炎二例(松岡杏太郎)
一、慢性モルヒネ中毒に「イスモリジン」療法を奏賞す(西川豪)

大連實業團 市旗を返還

大連實業野球團は十九日午前十時市役所に小川市長を訪問市長臨席間に於て過般都市對抗野球試合に貸與を受けて行つた代表市旗の返還を行つた

常安寺坐禪會

天神町常安寺では來る二十日午前六時より常例の坐禪會開催せられる由

藥學會總會

滿洲藥學會にては來る二十日午前九時より市內敷島町青年會館にて第二十五回總會並に學術講演會を開催するさ尚講演終了後中央公園內西園亭にて懇親會を催す筈

善鬼惡鬼 (172)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

撃道場（二）

武者窓には何もの、かげも見えなかつた。

「さあ、かゝれ」

五郎兵衞は泰然さして弟子たちに催促する。

「はい、かかります」

エイ〳〵と又、一しきり、素早い不意打ちさ、はけしい突込みがあつて、五郎兵衞の片手劍法鮮かに切つぱらつた時

「五郎兵衞、其方は不愍な奴だ」

武者窓から又しても聲があつた

「卑怯もの、面な出してものないへ」

五郎兵衞は武者窓に向つて一喝なくらはした。

門弟たちが五六人、ばら〳〵と武者窓に向つて走つた。

「捨て、置くがよい。相手は何つて居る」

五郎兵衞は云つた。

「併し――」

「かまはぬ〳〵、隣に住んでゐる馬鹿ものでなくて、あのやうな卑怯な眞似なする奴が外にあるか。捨ておけ〳〵」

「はい」

「さあ、どうした、そつちから掛からなければこつちから行くぞ」

「はい」

「義五郎兵衞な叩きのめして了へ」

「増長慢の鼻ばしらなへし折つて了へ」

武者窓が又叫んだ。

つゞけさま云つて、から〳〵さ笑つた。

門弟たちはもう我慢が出來なくなつた。

「先生、打ちのめして來ます」

門弟たちは一緒になつて武者窓に向つた。半分は窓から、半分は表へまはつて、一齊にばら〳〵さ逃む。

其時、五郎兵衞は、窓際に立ちふさがつて一喝した。

「不用意千萬、相手は幻術の力な持つて居る。迂闊な眞似なするさ思ひがけない不覺なさるぞ」

幻術さいふ事に弟子たちの足がぴたりさとまつた。

エレキテール、さはるものは、何者たりさも黑焦に焼き捨てる怖ろしいエレキテール。門弟の若侍たちは、ハツさして立ちすくんだ。五郎兵衞一人、悠々と窓際に立つて

「軍太郎。これへ出い」怒鳴つた

「ふん、遁は五郎兵衞だ、エレキテールの怖ろしさな知つて居るな」

樂齋の蒼白く骨ばつた顔が、窓の向ふにあらはれた。

「怖ろしいものか、それしきのもの、よけるにはよける法がある」

「何さでもいへ。不愍千萬な馬鹿ものめ」

「不愍さは何だ、いはれな聞かう」

「よし、手短に敎へてつかはす、兄弟のよしみさ思つてありがたく聞くがよい」

「早くいへ」

「其方の女房おぎんさやら申す女其方の目な忍んで、不義密通ないたして居るわい。知つたか」

「はゝは、たわけた事な申すな、おぎんはそのやうな不仕だらな女ではないぞ」

「左樣なさな思つて居るから不愍な奴ださ申すのだ。人非人の弟だが、兄弟のよしみなればこそ敎へてやる。ありがたく承はるがよい」

「汚らはしい、まがれ〳〵」

「はゝは、くやしいか。くやしければよく聞け、其方の女房は、艦長吉さか申す下司下郎さ密通して居るぞ」

「馬鹿ツ」

五郎兵衞はあたまごなしに叱りつけた。

窓な隔て、問答する兄弟の聽屬に、いら〳〵した門弟たちは、はやたまりかねた。

一氣に道場の外へまはるさ、二三本の竹刀が、投げ槍のやうな鋭さな以て、宙へ飛んだ。

一本は的なはづれたが、殘る二本は、樂齋の小鬢のあたりさ、二の腕さに、がんさ當つた。

不意な打たれて、樂齋には之れな受けさめる力がなかつた。「アッ」と一聲、大地の上へ尻餅をつく。

五九郎來る　廿四日から

滿博演藝館に出演な傳へられてゐた喜劇界の第一人者曾我廼家五九郎丈はいよ〳〵來る二十四日から毎日晝夜二回開演することゝなつた、晝間は午後一時より夜間は六時より何れも開幕してお客さんに爆笑サービスなすべく特に上演種目も五九郎十八番の

（一）離れに生むな赤ちやん（二）二對半（三）自力更生（四）屋上のグランド

と決定、なほ入場者全部に漏れなく電車往復乗車券な贈呈するさ。入場料大衆席金五十錢

パテー倶樂部例會

大連パテー倶樂部例會は二十日夜七時半より連鎖街連鎖ホールにて左の如く開催する

新作映畫紹介、滿洲大博覽會倶樂部撮影會々員作品互選、新發賣品紹介、新徽質ミモザフキルムに就て下山美登里氏

本社特選　新棋戰（其二）

平香交　七段△滿呂木光治
香落番　六段▲渡邊東一

【圖は四二銀迄の局面】
△滿呂木氏持駒ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		金	銀	桂	香	一
	飛		銀		王		角		二
		歩	歩		歩		歩	歩	三
				歩		歩			四
歩	歩								五
		歩	歩	歩	銀				六
歩	歩	角		歩	歩	歩	歩	歩	七
				飛		玉			八
	桂		金		金	銀	桂	香	九

（以下續）

△二六歩　▲一四歩
△三六歩　▲五二金右
△四八銀　▲九二飛
△五五歩　▲同　歩
△三五歩　▲同　歩
△六五歩　▲九六歩
△同　歩　▲同　飛
△六四歩　▲同　歩
△五九金左　▲七四歩
累計三十八手

【土居八段講評】滿呂木君は二八玉の構へでは單に中央より攻勢な採るにさゞまり妙味が薄いので、三八玉のまゝで譜の如く三六歩さついて敵の玉頭な狙ふ意味に指したのは好い、渡邊君の九二飛は手輕く且つ味のない指手である、九六歩、同歩、同香さ走り、敵九七歩打なら同香成、同桂、九二飛にて好い、又九六同香に對し敵五五歩、同歩、六五歩なら八六歩、同角、七四歩にて敵角の活動な束縛してある故有望。

【萩原七段解説】滿呂木氏の三六歩は、敵に三三銀さ出られ五四銀、三一角さ引かれては端な窺はれて惡いので三六歩さ指したのである、續いて五五歩は、九八飛さ受けては防禦に傾き、初めの四六銀さ中央より攻勢に出た作戰に矛盾するので五五歩さ攻め次に三五歩も納の塀さへ圖ると共に玉頭の攻撃な狙つてゐるのである、渡邊氏の五五同歩以下三五同歩の受けも端な攻めても三、五兩筋に位負けなしては面白くないので同歩さ取つたのである、續いて九六歩の攻めは飛車な捌き敵の中央の攻撃に對抗する意　である、滿呂木氏の六四歩は、次に六三歩の打ち込みや又角の交換の後の打ち場所な作る意味である、次の五九金は絢の聯絡な圖つた五五角の決戰の用意である

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部　金五錢　一ヶ月　金一圓五十錢　郵税　金二十錢
廣告料　普通一行　金三圓三十錢　特別一行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

大元帥陛下
海波遠く御前進

【東京十九日發國通】統監部發表＝御親裁第三日朝來各部隊の行動益々活潑にして午後三時遂に兩軍相見ゆるに至れり、海空の精鋭非常時日本海軍を双肩に擔ひ全力を盡して闘ふ樣言語に絶す、いつしか日は沒して暮色蒼然遂に第三期演習中止せらる、時に十八日午後八時　大元帥陛下には刻々迫る戰機に伴ひ諸方面の情報を詳細に御聽取遊ばされ終日御熱心に御統裁遊ばされし事恐懼感激に堪へない所である

兩軍遂に相見ゆ
暮色迫り第三期演習中止
海軍大演習第三日

海軍省發表

【東京十九日發國通】海軍省午前九時公表＝大演習第三期演習は十八日午後八時を以て中止せしめらる、御召艦は二十一日午前横須賀御歸港の御豫定である、御召艦比叡の昨夜の艦位は横須賀軍港より某方面約八百浬に在り演習御統裁のため　大元帥陛下が斯くも遠く洋上に進ませられたる事は御前例なき所である

日印條約廢棄後も現實的失効防止せよ
關係六省次官會議にて決定
シムラ會商訓令案

【東京十九日發國通】日印通商條約交渉に對する帝國政府の訓令案は十九日の關係六省の次官會議に於て決定したが其の大綱左の如し

一、日印間に新たに締結せらるべき通商條約は相互主義に基く最惠國待遇確保を根幹とすべき事而して正式條約の締結困難の場合は右主旨に依る日印間通商航海關税關係暫行協定の設定に努むる事

一、日印間相互に供與せらるべき互惠條項としてはそれ〴〵兩國の産業及貿易關係の現狀に適合せしむべき用意ある事

一、今次交渉の過程に於て十月十一日の現行日印通商條約失効期日が到來する場合は日印關係を無條約關係にする事なきやう印度當局の自發的考慮を特に要求し辨法的暫行協定の設定を促す事、現行條約の失効を見る場合にも印度當局は日本商品に對し現在執りつゝある關税政策その他を加重せざるやう極力要求する事

一、日印交渉の細目的事項に就ては討議が新たなる狀態に至る都度本國政府に請訓さるべき事

六省次官會議

【東京十九日發國通】日印通商條約交渉に關し二十四日出發の澤田寺尾兩代表に携行せしむべき訓令案につき十九日午前十時より外務省第一會議室において關係六省次官會議を開催澤田寺尾兩代表及び重光外務、黑田大藏、吉野商工、石黑農林、大橋遞信、河田拓務各次官、來栖通商局長並に代表隨員等出席過般來外務、大藏、商工三當局間に於て協議を重ね内定せる訓令案に對し最後的修正を加へ各次官より種々意見を開陳し訓令案の事務的決定をなし午後一時散會した右の結果訓令案は二十二日の閣議に上程正式決定の上澤田、寺尾兩代表に手交する事となつた

シムラ代表　首相へ出發挨拶

【東京十九日發國通】シムラ會商政府代表澤田、寺尾兩氏は十九日午前十時官邸に總理を訪問挨拶を述べた、二十三日午後七時三十五分東京驛發、大阪一泊二十四日神戸解纜の白山丸で渡印することゝなつた

日伯交渉

【東京十九日發國通】林ブラジル大使より十九日外務省への報告によればブラジル政府長官ファルガス氏は十五日林大使に對しブラジルサンパウロ州農務局はブラジル産棉花の販路擴張のためサンパウロ州産棉花六十箱を日本政府宛輸送する故民間會社に適當なブラジル棉使用方斡旋方周旋されたしと時節柄注目すべき提議をなした後日本よりも商工業代表を派遣し實地調査されたい、ブラジルは日本移民に對し現在何等の障礙を與ふる者でない、なほブラジルは最近軍艦建造資金を英米並に貴國等より得たく右返還はコーヒー棉花で充てたいと述べた

ブロンソン・リー氏横濱發

【東京十九日發國通】滿洲國顧問ブロンソン・リー氏は二十日午後三時横濱出帆の龍田丸で渡米、米國朝野の名士に會見、滿洲國の發展振りを説明し、對日滿偏見を一掃する事になつた

解決の端緒開く
札免公司問題
滿鐵基礎案作成に着手

十年來の懸案たる札免公司問題は滿洲事變後當然解決に着手さるべくして滿洲國側には同公司林區の管理衙所の問題あり滿鐵側は宇佐美前代表の後任が未定であつた等の事情のため荏苒今日に及んだ、然るに滿洲國側では當分舊政權當時の慣習により黑龍江省で管理することになり又滿鐵では太田チチハル事務所長をこの程代表に任命したのでこゝに交渉の發端が開けて來たが恰も日滿實業懇談會を機として松島農礦司長、廬黑龍江省實業廳長、太田齊々哈爾事務所長らが來連したので滿鐵本社の關係者との間に札免問題打開に關する相談が纏まるに至つた、よつて滿鐵ではまづ交渉基礎となるべき案を作成することゝなり、十九日午前より總務部長室に石本總務部長、太田札免滿鐵代表、香村農務課長、三隅林業係主任、横山渉外係主任ら參集鳩首協議するところがあつた、札免公司は滿鐵が興安嶺中に有する四國に匹敵するほどの面積を有する大林場であるが多年張學良政府と東支鐵道との間に紛爭があり立木の材積等の正確なる調査も不十分なので今後の交渉に當つては滿洲國と滿鐵の共同調査を必要とするやも知れず最終的決定までには相當時日を要するものと見られてゐる

人絹四十年
世界の生産高實に一萬七千倍
注目さるゝ諸因子

最近アメリカのチユビセ・シヤチヨン會社は人絹の搖籃期たる一八九〇年から昨年迄の世界各國人絹生産高に就いて最も詳細なる統計を發表したがこれによると一八九〇年僅かに三萬封度であつた世界の人絹生産高は一九三二年には五億一千五百萬封度となつてゐて實に一萬七千倍の増加である、最も注目される點は

一、世界の人絹生産高は一九三〇年に只一度前年に比し減少を示した以外は毎年増加してゐる事

二、アメリカが最近十ケ年世界生産の二割五分乃至三割三分を占めて列國中第一位にある事

三、イタリー、イギリス、ドイツ、フランスの最近十年の生産が略々接近してゐる事

四、日本の増加率は最も多く昨年度は遂に世界第三位となつた事

五、中小生産國中、ベルギー、スイスは最近減産歩調なるに反しカナダ、ポーランド等は増産を續けてゐる事

要之各國の人絹生産高は大體から見て國内市場需要高に近づきつゝある事が窺はれるがイタリー、オランダは人絹糸の輸出を主とせる爲め輸出市場の消長により生産が左右されてゐる、日本は人絹糸の輸出は少ないが國内で生産した人絹の大部分はこれを織物として輸出するので最近の生産増はこの人絹織物の輸出激増に基くものである、最近人絹織物の輸出において世界の王座を占むるに至つた我國は人絹生産においてもイタリーと世界第二位を爭ふに至つたが第一二位にある米、伊の趨勢に對して我國の躍進振りは覇權掌握の日近きを思はしめるものがある

世界人絹生産高
（單位千封度）

	一九一〇	一九二〇	一九三二
世界合計	一七、六〇〇	五五、〇〇〇	五一五、三九〇
アメリカ	—	一〇、三五〇	一三三、〇〇〇
イタリー	—	一、五七五	七〇、五〇〇
日本	—	二〇〇	六九、九〇〇
イギリス	—	—	六九、七五〇
ドイツ	—	五、二五〇	六二、〇〇〇
フランス	三、七五〇	五、五〇〇	四七、三〇〇
オランダ	—	—	一九、五〇〇
ベルギー	—	—	九、六〇〇
スイス	—	—	八、八〇〇
カナダ	—	—	七、二〇〇

蘇支不可侵條約
支那當局いたく失望

【北平特電十九日發】蘇支不可侵條約は支那側の要求無謀過大のため停頓半歳に及びボゴモロフ氏南下以來支那と協議したがソウエートの提案はリトヴイノフ氏が隣邦と結んだそれと同一であるため支那は失望をなしたと

丁交通部總長の辭職說？？

【新京十九日發國通】最近交通部總長丁鑑修氏が辭表を提出辭意固しとの說が傳へられてゐるが右は孝心深い同氏が母堂の逝去に際し滿洲國の舊慣により三年喪に服し官職を辭して謹慎の意を表すべく形式的に辭表を提出したのが誤り傳へられたもので丁總長は十九日母堂の葬儀を終へ近く新京へ歸任の筈である

旅順の披露宴

關東長官菱刈大將は二十一日午後零時三十分から昭和園に於て旅大官民の主なる者數百名を招じ披露宴を開催する事となつた、因に旅大兩市に於ける歡迎會は長官の滯在日時窮屈のため今回は取止められ追つて開催の豫定である

菱刈新長官　聲明書　二十日朝發表

【うすりい丸十九日發國通】赴任の途にある菱刈新關東長官は二十日朝大連着と共に船中に於て聲明書を發表する

駐支英公使　ラ氏轉任

【ロンドン十八日發國通】駐支英公使ランプソン氏は十八日エヂプト高等辨務官に轉任を命ぜられた但しランプソン氏は來る十一月までは支那を去る事が出來ないが、今年中にはカイロに赴任する豫定であると（寫眞はラ公使）

林前警務局長

【奉天電話】林前警務局長は二十日午後三時自動車にて官舍を出發廿二日のうすりい丸にて上京赴任する事にした

兩局長辭せず　殖田財務局長談

【東京特電十九日發】進退が問題となつてゐる殖田關東廳財務局長は十九日午後五時入京して牛込富山町の自邸に入つたが次の如く語り辭任說を否定した

僕が辭めるなどいふ事はない菱刈長官とは神戸でお會ひして種々打合せをしたことでも解るではないか、東京には十日餘り滯在の上赴任したいと思ふ、臺灣には二年居たが臺灣より滿洲の方が詳しい位だ、友部君は僕の立つ時には母堂の病氣も快い方であつたから遠からず赴任するであらう、長官も心配されてゐたので僕等からも好く云つてやつたので辭めるやうな事は絕對にないと信する

齋藤首相と會見前
協定案地固め
鈴木總裁、山本氏會見

【東京十九日發國通】鈴木總裁は十九日午前十時私邸に山本（条）氏を招致し國策協定問題の經過を說明協定案の内容につき山本氏の意見を聽取するところあつた

抗日同盟軍總司令
通電の主は？方振武

【奉天電話】方振武は十四日萬全において抗日同盟軍總司令に就任せる旨全國に通電した

滿洲國炭礦會社

【東京十九日發國通】滿洲の石炭礦業の統制開發は同國産業發展の基礎的問題として關係各方面で調査研究中であつたが今回愈々滿洲國政府及び滿鐵の共同出資に依り滿洲國炭礦株式會社を組織し石炭礦業統一經營の第一歩を進める事に決定關係官廳の諒解も大體得たので近くこれが創立總會開催の運びとなつた

而して之が内容は取敢ず資本金一千六百萬圓とし滿洲國及び滿鐵がそれ〴〵半額宛出資する事になつてゐるが滿洲國側出資は全部現物出資で同國所有に係る北票、鶴立、新立屯、靖安等の諸炭坑を現物提供する事とし滿鐵側からは撫順炭に次ぐ最も豐富な埋藏量を有する新邱炭坑を現物出資しこれを五百萬圓と評價し殘餘五百萬圓を現金出資する筈である

右會社の設立に依つて滿鐵直營の撫順炭坑を除く滿洲國主要炭坑は統一される譯で各炭坑所在地方の需要を充した殘部は撫順炭と共に海外輸出に充當する豫定であると

蘭領東印度關税引上げ

【バタビヤ十九日發國通】蘭領東印度政府は本日政府財政の強化を圖るために輸入税引上案を國民議會に提出した、右案による奢侈品に對しては從價二割の本税とそれの五割に相當する附加税を課す事になつてゐる、而して本邦關係の重要商品は一、セメント一、綿糸一、綿織物一、ビール一その他である

事業費、不可缺の膨脹は認める
滿鐵八田副總裁談

滿鐵八田副總裁は十九日午後、滿鐵出入記者團との共同會見において滿鐵刻下の問題につき左の如く語つた

一、**新株募集**　詳しい報告はないが募集の結果が豫想以上に良好であつたのは何よりだつた、この原因は低金利時代といふ好機に遭遇したことゝ、東京支社の宣傳徹底と、國民の滿洲國に對する大きな關心とによるものと思ふがこの狀態が十月初までの第一回拂込期まで續いて欲しいものだ、社債募集に關しては十月初に拂込があるし今急に募集の考はないが八年度内には是非やることになつてゐる、年内になるか明年早々になるかそれは判らない

一、**九年度事業費**　九年度事業費は例年通りに社債によらず滿鐵の持金だけで出すかそれとも社債の金もこれに振當てるかそれは何も決つてゐない、然し時勢の力で止むなく膨脹するものは認めるのが當然だと自分個人では考へてゐる、唯今滿鐵にとつては資金は非常に大切だから緩急の度合が肝要で、毎年事業費の査定は困るのであるが今年は特に緩急、取捨選擇に非常な困難を感じるだらうと豫想してゐる

一、**新設會社**　石油、石炭マグネシウムの新會社設立認可の申請は目下拓務省に提出中である、然し根本方針は諒解がついてゐるのだから認可は要するに時期の問題だ、各會社とも滿鐵が相當の株を持つことになるし新設會社に滿鐵から送る人も適材適所主義で有能の士を送りたいと思つてゐる、然し各方面に關係がある故まだ正式決定には至つてゐない

一、**アルミニユーム**　日滿アルミニユーム會社と滿鐵とは傳へられるが如き關係は全然ない、唯滿鐵はアルミニユームの原料礬石を送つてやることだけを約束したに過ぎぬ、周知の如く滿鐵は現在アルミニユームの工業試驗をやつてゐる最中でその成績を見てからでないと滿洲でアルミニユーム工業が成功であるかどうかは解らずアルミナ工業をやるなんてことも決つたわけではない

一、**マグネシウム**　新設マグネシウム會社には滿鐵も半分位株を持つことになつてゐるが最初は試驗を兼ねた小規模なものだ、内地の宇部に工場の設立地を決定したのは何分このマグネシウム工業は日本として最初の工業で、まだ試驗の必要もあり、かつ關税關係等で内地でないと引合がとれないのでさう決定したまでで本當の大規模な工場は將來滿洲に設けることになつてゐる

日滿經濟統制と今後の經濟工作 (五)
（日滿實業懇談會席上講演筆記）
關東軍參謀長　小磯國昭

最後に一體經濟を統制するといふが、統制するといふことは一體どういふことをやるのであるかに就いて過般來質問を受けてゐるが私の考へでは國防上重要なる産業それから公共事業及產業の基礎となる工業の産業合理化的見地において統制を加へて行かなければならぬもの、これだけにはどうしても統制を加へて行かなければならぬと思ふ、しかしこの産業合理化の必要上加へらるべき統制力に就いては必要の限度を超過すべからざるものと思ふ。

けれどもこの種の統制を加ふべき産業は大體において交通、通信、製鐵、製油、石炭、電氣、瓦斯、金融といふ位なものに止まるので統制を加へる必要のない即ち自由産業ともいふべきものは數へれば數限りなくある、假にその一つをいへば或はパルプであるとか、或は農産加工卽ち製粉の如き、それから油脂工業、製材、製麻、製糖、釀造、皮革工業、陶磁器工業その他の窯業セメントそれから固有鑛區以外にある所の鑛業の採掘、金の採掘、染織、印刷、出版といふやうな類で、その外擧げれば澤山あらう、只滿洲國においてもどういふ風に歩んで行くのか解らぬので當分の間許可方策でもいふやうな方法を取つて行く事にするかこれは建設途上において止むを得ない一つの過程であらうと思ふ、しかし許可方策を取るといつても必ずしも統制を加ふるのではない日本のやうな産業がこれから勃興して行くといふことが滿洲それ自體のためには勿論日本のためにも最も重要なる問題であるにも拘らず、この産業がまだ思ふやうに勇敢なる鉾鋒を發揮するにいたらぬ、誰が宣傳したのかは知らぬが、滿洲には「財閥入るべからず」といふ制札が立つて居ると、さういふやうな無茶苦茶なことをいつて居るやうな次第、これは大なる間違ひである。

◇　◇

前來說明し來つた如く滿洲國は日本が國運を賭してゞも之を發達させて行かなければならぬといふ考への上に立つて之を考察したならばそれが金融資本家の資本であらうと企業資本家の資本であらうと又一般民衆の資本であらうと問はず苟くも日本國の資本であるならば之を一束にからげて最も勇敢なる進出を滿洲方面に充てなければならぬものであると思ふ只根本方針として先に述べたやうに利益の分配が偏してはいかぬといふ、この原則さへ遵奉せられるものであるならば、その資本の歸屬といふやうなことは問ふ所でないと思ふ此等についても具體的述べる必要があるかも知れない。

◇　◇

要するに日滿兩國の實業家の總動員ともいはれるこの意義ある會合に當り武弁一介の私が以上のやうなことを述べたことは殆ど各位の既に御承知濟みのことであらうと思ふが、兎も角滿洲における兵隊はあゝいふやうなことを考へて居るんだといふことだけを御承知願へれば結構なつもりで、この壇に立つた譯である、更に之を結言すれば滿洲國におけるこの日滿經濟統制と今後の經濟工作といふ問題については日滿經濟統制の根本方針をよく考へ、そして如何なるものが中心としてその機關の運用を指揮して居るかといふことを將來發達させて行かなければならぬ産業について說明した次第である故に其の産業開發の爲めに日滿實業家は勿論一般民衆舉つて之を發達促進させて行くといふ風にならなければならぬ。

◇　◇

最近聞く所によればフランス方面から色々の財團が各種の機關を通じて滿洲に進出を企圖して居る又ベルギーの財團も進出を企圖して居る、にも拘らず滿洲をもり立てゝ行かねばならぬ日滿官民の資本がまだ活潑に動いて居らない事が私ども國民の一人として誠に遺憾に堪へぬと考へて居るのである、それでもう一つ附け加へることは事業として若しこの産業に手を染めたいといふ人があり、そして堅實に資本を持つて自らそれをやるといふものがある限り、我々は如何なる工作を重れてもその實現を援ける事に決意して居る、又その企畫が適當でないと思つたなれば忌憚なく我々の從來調査して居るところに基き意見を述べる、軍司令部に三位一體の長たる一人格者の補佐機關幕僚機關として特務部があり、これが經濟調査會と密接提携して産業方面に關する調査その他の仕事をしてゐる、問合せに對しては承知して居る限り出來る限りの便宜を計るつもりである、どうかこの機會において日滿兩國の實業家各位は宜しく熟議を遂げ爲し得る限り滿洲の現實の狀況をよく視察し眞に産業開發に邁進の必要があるといふことを自覺されたならば日滿兩國の前途のため敢然として邁進せられ、そしてこの非常時局をこの産業開發により解決せらるべく御努力あらん事を切望に堪へない。（完）

本日夕共刊十六頁

社說　菱刈軍司令官を迎ふ

三位一體第二世としての菱刈大將本日來連の都合である。滿洲國の建國事業は着々その緒に就き、日本がその經營を助成す可き責務はこれから益々重大ならんとした際に於て、突如武藤元帥の薨去を見たのであつて、帝國が元帥に期待した所のものを、今度菱刈大將に期待するのである。大將の武勳人格、故元帥に比して甲乙なく、誠に好個の後任を得た事は、既に一般の定評ある所、吾人在滿邦人も均しく心強く感ずる次第である。

◇

武藤元帥は赴任の始めに當りて、帝國の滿洲國援助は皇道の延長なる事を說いた。又それは世界道德的の大事業なるを說いた。更に此の道德的大事業を遂行せんが爲めに、在滿各階級の邦人間は云ふまでもなく、在滿邦人と滿洲國人との精神的融合を必要と爲す旨をも說いた。蓋し邦人として、以上の心得を持つ事が最も緊要であり、此の心得を邦人が缺如する時は、如何なる施設も其の效果なきが故に邦人をして先づ如上の心得に徹せしめんとの用意なりしものと推測さる。邦人をして先づ此の心得あらしめ、然る後種々の施設によりて滿洲國の進展を助けんとの意圖であつたであらう。

◇

菱刈大將が出發に際して語る所によれば、萬事武藤元帥の爲せる所に從ふ積りだといふ。蓋し前述の根本觀念には相異の點あるまじく、此れを基礎として今後に於て武藤元帥の爲さんと欲した所を爲すに至るであらう。思ふに根本精神は定まつても、之れを實地に施すに當りては種々面倒な問題を生ず。而してその面倒な問題に直面する時に、兎もすれば、それに紛れて、皇道の精神、世界的道德、日滿人融合等の原則に外れんとする虞れなきにあらず。邦人官民が或は軌道を踏み外さんとするに當りて、之れを矯正せんが爲には志操堅實にして德望高き人格者が首腦に立つを必要とする。是れ關東軍司令官の人選に甚だ重きを置かるゝ所以である。

◇

之れからは、憲法の制定、法典の編纂、司法の改善、地方並に中央行政の修正等、滿洲國家國成の爲めに具體的事業の遂行すべきもの多く、皆大將の助成に待たねばならぬ。大將は就任の始めに當りて、滿洲國に對しては餘りに世話を燒き過ぎるのはよくなからうと語つた。これは滿洲國の政治は滿洲國人本位たるべきを認めたものと見る可く、滿洲國を援助するといふ精神から、又日滿人の融合を謀るといふ精神から見ても、餘り世話し過ぎないがよいといふ事は認識される。此の一言によりても、大將が滿洲國の建設並に日滿支の關係に對する認識の決して淺くない事を證明する。

◇

世話を燒き過ぎずして指導する。干渉せずして援助する。之れは精神的たるを要し、法規的たるを得ず。人格者でなくては出來ない事である。邦人たるもの、官民共に均しく此の心得を以て滿洲國を援助するによりて、始めて我國是を遂行するを得る。大將は又、仕事は若い者がやつてくれる、自分は何もしないとも云つた。是れ亦自己の地位をよく知つた人の言である。無爲の爲は、爲よりも大きい爲であることは、世に屢々實證さるゝ所である。

◇

大將は、自分は何も知らぬ、ぼんくらぢやとも語つてゐる。併し大風呂敷を廣げるよりも、知らぬといふ人が案外知つてゐる事もある。えらい人達が己れは安樂椅子に坐してゐて、移民論を吐いてもだめぢやとか、船賃をもつとやすくせねばいかぬとか、大規模の墓地とお寺を建てるがよいとか、決して何も知らぬ人の言ではない。武藤元帥來任の時には吾等はその理想論を聞いた。萬事更新の始めに當りて、先づ理想を吹き込むことが必要であつたからと考へる。

具體的經營に入らんとする今日、その語る所は片言隻語でありながら、それによりて大將の政策の全貌を想察し得るは、吾人の欣快に堪へない所である。大將は本日來連、直ちに旅順に赴き、關東長官として始めて政務を見る豫定と聞く。何れ官民に對する訓示ある可く、邦人官民は、よく大將の意を體して、協力して我國對滿策の完成に貢獻す可く覺悟せねばならぬ。

聲のみの統制解消　ブロック形成に竿頭一步　日滿最高委員會組織か

【東京特電十九日發】日滿經濟統制の聲は一の常套語となつて頻りに唱へられてゐるに拘らずこれまでの實績にみれば產業經濟政策においても又政治方面においても不統制の場合が多く遺憾の點があるので兩國首腦部の間には兩國共同して日滿統制の最高委員會を組織して各種の機關を統制して日滿ブロックを强化することに努めるとの議があり近く實現の運びにいたらう

フランス資本の垂涎する滿洲金鑛　佛亞銀行總裁來滿す

【ハルビン十九日發國通】フランスの有力なる資本家佛亞銀行總裁マスネ氏は數日前シベリヤ經由で來哈、目下當地で各方面を奔走中であるが、同氏も亦ベルギー資本家シユペリエ氏と同じく本國で遊置してゐるその資本を滿洲國產業開發に投下し將來確乎たる地盤を滿洲國經濟界に築かんとするものである、マスネ氏は近日中首都に赴き實業部當局と折衝、投資申請をなす意向であるがマスネ氏の最も着目してゐるところは金鑛調査及び鑛山企業である

八月中旬貿易　前年同期比較

【東京十九日發國通】大藏省發表八月中旬に於ける貿易は夕刊所報の如くで前年同期に比し輸出は一千九十八萬圓輸入は一千三百五十萬四千圓の增加となれりその內容をみるに輸出品に於ては著しき增加を示したるものなく生糸の如きは却つて數量に於て減少し他方棉花の輸入は依然數量價格ともに增加をみたり

滿鐵增資の記念株分配

滿鐵增資に伴ふ社員に對する記念株二十萬株の分配については人事課において割當數を調査中のところ十八日決裁を得たので十九日各箇所一齊に通知を發した、記念株分配に預かつた社員數は

月傭社員	七、六八三人
雇員	四、〇二三
傭員	一一、一七七
計	二三、八八三

で滿洲人は大部分プレミアム相當額だけを記念金として贈與することになつたが實株授與希望者は月傭者二十五人、雇傭員七十人、計九十五人に達した、しかして各部箇所別の分配數は左のごとし

總務部	六、三四九株
計畫部	二、六八三
經理部	一、〇六七
鐵道部	九九、〇二五
地方部	二七、四二〇
商事部	五、〇八〇
建設局	八、八四三
東京支社	一、〇八〇
哈爾濱事務所	七三三
上海事務所	一三六
撫順炭礦	二三、四九八
經濟調査會	一、一二六
鐵路總局	六、九四六
滿洲國從業員	三七一
合計	一八三、二五七

日本辯護士待遇　法廷出入辨法を設く　全國司法會議結果

【新京電話】全滿司法會議の正式會議は本十九日を以て終了二十日午後一時より懇談會を開催し愈々閉會となるが治外法權の撤廢を目睫に控へ本會議の成果は特に重視されてゐる五日間に亘る諸種の審議決定事項も特にこの點に重點を置き獨立國としての司法制度の完備を期し司法人事行政司法官素質向上諸設備の完成等に向つて躍進する滿洲國當局の努力は一般に非常に好感を以て迎へられ本會議を通じ現制度の最も著るしい變革を與へたものは日本辯護士待遇案でこの實施協定の完成を見るまで日本人辯護士は辯護士の資格を以て出入することは不可能であるが證人その他の適宜な形式を採り出入の自由が與へられ裁判所もこれ等に便宜を與へることに決定したことで今後の滿洲國司法制度の上に一新紀元を劃するものとみられ以上の外五日間を通じて得たる成果は多大なもので將來滿洲國司法運用上多大の期待をかけられるにいたつた

司法會議　―第五日―

【新京電話】司法會議第五日目の決定事項は左の如し

一、訴訟須知のパンフレット作製に關する件
一、公證制度決定の件
一、刑事證人として召喚する場合費用を支給する件
一、短期自由刑を罰金その他で救濟辨法を講ずる件
一、囚人待遇改善案
一、投降盜匪を赦免するや否やの件
一、日本辯護士待遇案
一、民事執行規則改正の件
一、司法經費增加の件
一、學歛留用停止の件
一、司法共助に關する件

鐵路總局派遣員　廿一日附滿鐵社報發表

滿鐵々道部では二十一日附社報を以て鐵路總局派遣員八十一名（月傭三十三名、雇員十九名、傭員二十九名）を發表するがこれ等は何れも將來敎圖線勤務員となるもので主なる氏名は左の如くである

▲事務系統
普蘭店驛長 玉谷保次郎
楊木林同 楠原慶茂
連山關同 樋口濟郎
安東驛貨物主任 武知幸廣
王家驛助役 森下清一
長嶺子驛同 宮取可次
遼陽驛同 柴原房太郎
蘇家屯驛同 岡田誠炎
大官屯驛同 大石新作
撫順驛同 三井田弘
太平山驛同 勝野愛敏
安東驛同 兒島正雄
埠頭事務所貨物助役 伊藤兼行
▲技術系統
四平街機關區技術助役 小山田龍象
同工作助役 馬淵善兵衛
安東機關區運輸助役 菊池松次郎
大連檢車區檢車助役 長井幸三郎
橋頭保線區保線助役 小宮山佐次

驛長異動

滿鐵線派遣社員決定と共に滿鐵では二十一日附社報を以て左の驛長級異動を發表する

新城子驛長 大栗字十郎　普蘭店驛長を命ず
營口驛助役 長山榮　新城子驛長を命ず
開原驛助役 山本鐵一郎　楊木林驛長を命ず
奉天驛事務助役 前田喬　夏家河子驛長を命ず
夏家河子驛長 小袋牛藏　連山關驛長を命ず
安東驛貨物助役 後藤治基　貨物主任を命ず

八相

滿博國防館　愛鄉生

五十行以內　すぢさへ偏中　投書歡迎

◇博覽會國防館の入口を入つた所に愛國機献納各地が日本地圖の略圖に赤の豆電燈によつて表されてゐるが、あれは赤の豆電燈のついてゐるところが必ず愛國機の献納地なるか滿博當局の明答を望む。

◇觀覽者は必然的に電燈のついてゐるところのみが献納地と信ずるであらう、また間違ひなくさうだとすれば殘念ながら吾等の故鄉熊本縣には赤の豆電燈がついてゐないから献納機がないことになる、然し事實はその反對である昨年末より「愛國五十〇」と鮮かに書かれた銀翼の勇姿が堂々と滿蒙の上空を飛翔してゐるではないか。

◇曾て在鄉當時献納機の企てあるや縣民擧つて献金しそれによつて愛國機、裝甲車等の兵器が購入し陸相代相撲列の下に堂々と献納式が行はれてゐることの事實を何とする侮辱も甚だしいものだ。

◇加へて觀覽者の二三の人から君の縣からは愛國機の献納はないではないかと度々嘲笑の口端をあびせられるがその都度當局に對して一種の憎惡さへ感ずる、何れにしても不公平なる取扱ひではあるまいか明答を望む。

オイコラッ　ＭＭ生

◇初音町附近の電車道が左側通行になつた、左側通行が別段不思議ではないが、その近所に立つて居る警官が、しかも日本人でありながらあまりにも言語が不當だ。

◇僕は第三者としていふが日本人が日本人に物をいふのだ、なんとかならぬものか、あの「オイコラッ」とか「〇〇ワカラン」とかいふがまあ少し靜かな言葉が使用出來ぬものか。

◇この頃の暑い夏の日だ、〇〇は無理もないと我々も考へて居るだが何に人にせよ、日中暑さの中に働いて居る人間だ。

◇もしどうかした人間だつたら怒るだらう、怒れば其所に不祥な事件が起らぬともいへぬだらうから……。

北支當面の問題（下）　北平特派員　風間阜

更に河北省に殘つてゐる問題は河北々部十九縣所謂河北戰區の整理である。我關東軍は八月七日その復歸を完了し、その矛を長城の線に收めた、しかしながら支那側が徒らに聲を大にして我軍の長城復歸を要望した、しかしその復歸後に起る問題は無力なる支那警察の治安維持問題である。支那紙は今日所謂河北戰區には「土匪毛の如し」と報じてゐる。嚴重なる皇軍が一步長城內に矛を收むる日は土匪の跳梁する日である。この土匪の清掃と農民の救濟亦焦眉の急務である。

北方政務整理委員會五省中、山東と山西は殆ど獨立的であり、一は韓復榘の支配下に、一は閻錫山の支配下にありて、委員會の管轄は名義上に過ぎない、しかしこの兩者は支那中における平和鄉であり、支那が今日のやうに割據的狀態を續ける限りは、爾餘の各省が兩省のレベルまで向上する日まで兩省は模範省として殘つて差支へ無いものであらうし、又韓も閻も强いて自ら平地に波瀾を起して、北方の局面を惡化せしむるやうなことは無く、必要の程度まで政務整理委員會と協力するであらうと觀られる。政務整理を要するのは主に河北、察哈爾、綏遠の軍隊の處置と政權の確立である。北方雜軍は孫殿英の青海赴遣手段の如く逐次整理し舊東北軍を新疆省へ移駐せしめんとする案もある、しかし整理までには可成りの困難と費用を要することは明らかであり、雜軍や舊東北軍中でも中央軍化する可能性あるものは直轄中として殘留し、野馬性となり如何ともなし難きものは處置せんとするであらう。

先立つものは金であるが、河北政權の維持、河北軍隊の整理、戰區の救濟、北方都市農村の建設、救濟等には鹽分金が要る。現在における河北省の收入は明瞭で無いが監察委員部張某の張學良時代の調査によれば

一、長蘆鹽運使署より二百萬元
二、河北省より六十萬元
三、河北財政特派員公署より二百餘萬元
四、北寧、平綏路一部收入及び中央補助費

右を以て河北軍政費に充當したと述べてゐる。しかしこれが、どの程度まで明確な數字か、今日の狀態と同一か判明しない、北方要人の言もまちまちで不明であるが、先づ三百萬元として見れば軍隊の維持、整理にも足らぬことは謹してあるから、北方經濟の建直し例へば五千萬弗借款の融通、內債の發行とか新に收入の道を許るとか、必要である。

現狀においては北方政權の確立は軍事的に見れば蔣介石勢力の擴大を意味し政治的に見れば汪精衛勢力の擴大を意味し同時に南京政府の勢力增長をも意味することは默度上當然考へらるべき理由ではあるが、しかし南方と北方とでは事情も異ると、人心も異り、現狀の治の伸展性も附隨するから、南京政府が今日米國に借款を送つたら北方でも直ちに、その雰に傚はなければならぬことも無い、まして從來協定から今日まで、對日外交の轉向に努力した政治家が集まつてゐるので、その邊は融通が利く。しかし現狀では以上述べる如く內部動もあり、北方當局の事業は頗る困難である、結局成るやうにしか成らぬとしても、成るやうに努力する者は、その誠意を汲まなければならぬ、この點において我々は北方――北方政權に一縷の望みを繫ぎ得る（完）

奉天・承德　二週間の旅程　三日に短縮　道路の改修進捗　親日氣分溢るゝ國境地方

【奉天電話】熱河省の開發は交通網の完成にありとの見地から當局では自動車道路の建設と道路の建設に努めて居り旣に平泉承德間には道路の改修も終つたので奉天承德間に二週間の旅程を要したものが今では三日間で連絡するといふスピードアップに成功し承德奉天間の往復は最近頻に頻繁となつたが目下承德には日本人約三百數十名居住し熱河に向ふことを無制限に許可されるなれば內鮮人の居住者は益々增加するであらう、古北口その他長城線關門には關所が設けられ熱河による滿東地區からの出入者も多く同地帶居住民は滿洲國の王道國家に編入されることを期待してゐるといふ有樣で滿東地區居住者は滿洲國を謳歌し最近熱河地方の匪賊のために捕はれた中村氏一行が日本人であるとの故をもつて釋放されたといふが如き地方民のみならず馬賊までも親滿親日のものが多くなり省公署としても縣民がよく滿洲國の如何なるものかを認識するにいたつたので官憲式の政治工作は斷然これを打切り省民の生活安定と物資の供給に關して具體的に研究中である

優良警官隊　承德へ向け出發

【奉天電話】滿洲國としては熱河省東地區に對する警備についても優良警官隊を派遣することになり、十九日奉山線で四十三名の特別警察隊が承德へ向つたが、何れも新京、高等警察の訓練を受けた優秀なる警察官である、これらは長城線の中北平等への交通の要所である古北口警察隊に何れも配置され、北支方面よりの往來その他出入支那人旅客に對する警察行政の徹底を期する方針である

今後の方針は着任後研究　田代憲兵司令官談

【安東電話】赴任途中の關東軍憲兵司令官田代皖一郞少將は十九日午前七時安東を通過新京に直行したが車中にて語る

滿洲には度々來てゐるが在勤するのは始めてだ、在滿憲兵機關の擴張問題は何處でも聞かされるが追々擴張することにならう何分今度始めて憲兵に飛び込んだのだから新京に着いてからよく研究するつもりだ

田代少將過奉

【奉天電話】田代少將は十九日午後二時十分の安奉線で來奉、貴賓室にて休憩井上司令官、齋藤大佐增岡憲兵隊長、水原守備隊長、立川奉天署長、宇佐美總局長、木下軍人分會長、黑崎遊兵隊長、滿洲國側于芷山司令、趙省長代理、徐實業、金井總務、三谷警務、各廳長その他多數官民の出迎への挨拶を受けたが

赴任の途中で全く白紙であり新京で前司令官と事務引繼をなす外今のところ何とも申上げかねる、憲警問題の如きも全く知らぬ、滿洲には屢々來たことはあるが單に視察のため素通りしたばかりで新任するのは今回が初めてだ何分各位の御指導御援助を願ふ

と極めて磊落に語り官民多數の見送りを受け新京に向つた、なほ菱刈全權の大連着に出迎へのため赴連することは新京の警備司令官の重責上赴連せぬと

佐は語る

滿洲事變も一段落ついて近く事變打切りが傳へられる際の赴任なので別に感想等無い、然し關東軍が國防の第一線にある事においては變りないので相當覺悟はしてゐる

給費生を募集

滿鐵獎學資金財團では每年度初に給費生を募集し學資の補助を行つてゐるが本年は特例を設け年度中途八月に境遇の激變により給費を要する事情ある者を募集詮衡の上中途より給費を行ふこととなつたこれに應募せる者四十四名で目下委員において詮衡中であるが給費を必要と認めた者には詮衡の上このうち若干名給費される筈

社員會幹事會　バス使用自制の件可決

滿鐵社員會では十九日午後一時十五分より社員俱樂部に於て第三回幹事會を開催、伊藤幹事長以下三十一名出席左記諸議案を附議午後七時半散會した

一、幹事會議題配付期日の件（鞍山聯合會提案）原案通り可決
二、軍司令官新任祝賀文決議案（幹事長提案）決議文を滿場一致可決、近日中に伊藤幹事長が赴京軍司令官に申達する事に決定
三、公務以外に社員バス使用自制に關する件（理事長提案）
四、社員の融合を一層效果的ならしむる件（撫順聯合會提案）
五、愛社心作興促進の件（本部提案）
六、滿鐵精神發揚維持に關し考慮方請願決議案（幹事長提案）
七、勤續表彰該當者を記念式の事前に通知せらるゝ樣會社へ請願の件（沙河口聯合會）
八、昇給基金制（特に雇傭員の）合理化研究の件（大石橋聯合會提案）
九、夏季大學（滿洲）に積極的に聽講生を多數出席せしむるやう會社へ請願の件（沙河口聯合會提案）
十、殉職社員遺族慰安方法の件（鞍山聯合會提案）
十一、消費組合特別割戾金合理化の件（消費部提案）
十二、會計制度改善大綱案承認に關する件（本部提案）
十三、撫順事件に關し殉職せる平島善作氏令孃滿子の修學費支給方請願の件（本部提案）

齋藤大佐榮轉

【新京十九日發國通】名古屋第六聯隊長に榮轉の齋藤大佐は今朝九時新京發赴任の途に就いた

【奉天電話】齋藤大佐は十九日新京よりはとで來奉瀋陽館に入つたが語る

塚田大佐着連

【うすりい丸にて國通特派員十九日發】齋藤大佐の後任として關東軍第一課長に補せられた塚田攻大佐が大連から直行して來るので事務の引繼を終へ第六聯隊が日露戰爭當時の奮戰地撫順軍屯を見學し二十一日午後二時四十分安奉線で朝鮮經由歸還する豫定である

記者試驗執行

去る十一日本社々告記者採用の應募者に對し本社は左の通り試驗を行ひます

一、日時（第一日）八月二十二日午後一時三十分試驗場到着、試驗は同二時開始、五時終了（第二日）同二十三日同刻
一、試驗場　大連市彌生高等女學校
一、注意　當日はペン及鉛筆携帶、靴又は草履のこと、本社編輯局の發したる通知書を必ず受付係に提示されたし

昭和八年八月二十日

滿洲日報社編輯局

分散配置警官人選完了

【新京十九日發國通】奧地分散配置の警察官の人選はこの程管下各署において殆ど完了したので、第一回派遣の警察官は來る二十二日頃までに奉天警察署に集結、二十五日から來月十五日間に熱河省、奉天省、吉林省の各地に分駐される筈である、新京署より奉天省西豐に派遣される中島警部外五名は二十一日奉天に向ふ事になつた

末光氏の新著

今や支那全土に亘り各階級の間に一大勢力を有する秘密結社が紹國家的狀勢を示して民族的大運動となつて現はれて來た、就中青幫、在家裡はその代表的なものであつて滿洲では最近大連を中心として之が組織の統一運動が擡頭して來た、現在支那の社會狀勢より見ても、歷史的見地からも是等秘密結社の動向を無視することは出來ぬ當面の民族問題である、この得難き研究資料は久しく各方面に渴望されてゐたところ今度滿蒙評論社から出版された末光高義氏著「滿洲の秘密結社とその政治的動向」と題する本書は讀書界の要求を滿して餘りあり、支那の政治運動を語る唯一の良著として俄然讀書子及び專門家間に歡迎されてゐる（定價五十錢）

栗原一等書記官

【奉天電話】天津總領事に榮轉することになつた新京大使館栗原一等書記官は二十日午後のはとにて過奉、大連經由にて赴任の途につく筈

關東廳辭令（十九日）

任旅順工科大學助手　嵯峨山實

人事

▲川口清次郞氏（滿洲國々務院興安總署會計科長）十九日午前八時着列車で來連
▲諾明阿氏（同興安總署政務處長）同上
▲小林順一郞氏（日佛對滿投資調査會代表）十九日はとで北行
▲伊藤賢三氏（陸軍々醫總監、關東軍々醫部長）十九日午後四時半急行で新京へ

小觀大觀

大きな物を集めて小さな物を作る、日本人の癖で甚だよくない小さな物を集めて大きな物を作らなけりアいかぬ▲今日來連の菱刈大將の言、甚だ味ふ可し▲五・一五事件陸軍側論告求刑の朝、匂坂檢察官齋戒沐浴して明治神宮に詣づ、一糸の私心を交へざるを神明に祈つたもの▲裁く者、裁かるゝ者、求刑する者、辯護する者、更に傍聽席にある者、すべて糸毫の私心なし、之れ精神聖な法廷は、古今東西其例なし▲部下の投身兵を救はんとして、伍長と軍曹、共に古井戶に入つて死す、皇軍の强きも故あるかな▲フランスの佛亞銀行總裁マスネ氏、ハルビンにて佛資投下の爲め、各方面に調査奔走中▲早くも滿洲國の治安を見通し、北滿の金鑛に目をつける、目が高く鼻が鋭い▲黃郛廬山に赴き、愈々蔣汪を說きおふせたもの、如く、此上は宋子文を說き伏せる段取り▲黃郛一世一代の大活躍、全支の安危否、全東洋の安危を双肩に擔つて立つ。

大連市公報を添ふ

奧地市況

▲奉天國幣對金票
現物 一〇一、〇〇　一〇一、〇〇
▲開原國幣對金票
現物 一〇一、一〇　一〇一、一〇
▲新京國幣對金票
現物 一〇一、一〇　一〇一、一〇
▲ハルビン國幣對金票
現物 一〇一、一〇　一〇一、一〇

市場電報

神戶特產
大豆現物	六二〇
先物	五二〇
豆粕現物	一六〇
先物	三四七
滿洲小麥	六五五
豆油現物	不申

	後場寄	後場引
大阪期米 限 八月	二五五	二五五
九月	二九一	二九九
十月	三九〇	三九八
神戶期米 限 八月	二一八	二一一
九月	二七二	二七九
十月	三一〇	三一〇
東京期米 限 八月	二三三	二三四
九月	二五九	二六一
十月	三一四	三二五

家庭

女性の服飾品にまで 趣味の古錢

身につけて縁起を祝ふ守り本尊 向ひ干支入りの繪錢

明治三年の菊桐一圓銀貨

▼▼…近年古錢趣味が勃興して日本内地は勿論のこと大連あたりですら泉友會（泉は錢の義）などいふ同好者の團體が出來て熱心に古錢の研究をつゞけてゐますが、この古錢趣味は一層普及して婦人たちの帶止や殿方の羽織の紐メダル等に古色蒼然たる東洋の古錢が一つの有力な流行とさへ形づくつてゐます。若しも皆さんのお宅の何處かの一隅に、苔蒸し錆朽ちた古錢が置き忘れられてゐましたら出してごらんなさい、思ひがけない珍貴な古錢を發見なさらないとも限りません、で御參考に泉友會坂崎忠三郎氏の東洋の古錢のお話を御紹介しませう

▼▼…俗に一文錢とか穴明錢とかいつてゐるうす汚い青錆のついた安つぽい青銅貨でも物によつては隨分高價なものがあります先づ日本の古錢で貴ばれてゐるのに皇朝十二文錢がありますこれは和同開珎、神功開寶、饒益神寶、長年大寶、隆平永寶、寛平大寶、萬年通寶、富壽神寶、承和昌寶、貞觀永寶、延喜通寶、乾元大寶の十二種で一枚でも最低二、三圓から高いのは數百圓もの價を呼んでをり、これを十二枚全部揃へたら實に大したものです

▼▼…元來古錢の値打はたゞ年代が古いからといふだけでは駄目で、その發行數の尠い卽ち世間に存在してゐる數の尠いものほど高値なのです。又同じ年號の同じ銘の古錢でも、その型、字型、銹のつき具合等によつて幾分その價値が變ります、青銅錢は支那、安南、朝鮮のものが古くから多數日本に流れこんでをり

▼▼…日本のものも澤山支那あたりに來てゐますが、支那の古錢で今日値の出てゐるのは應曆通寶、建炎元寶、大朝通寶、皇祐元寶、天建通寶、靖康元寶、統和元寶、後漢貨銖、乾亨通寶、皇慶通寶などで安いのでも一枚十數圓から高いのは七、八十圓もの値打があります、安南のは開泰元寶、大定元寶、大治元寶、廣政通寶などいづれも七八圓以上のものですが漢字で文字も割合にはつきりわかりますから素人にも發見出來ませう

▼▼…古錢とまでは行きませんが明治、大正時代の舊い銅貨や銀貨にも今日非常に珍重されてゐるものが少くありません、例へば大正七年發行の八咫烏の十錢（三四十圓以上）明治二年の半圓銀貨（四十圓以上）明治七、八、九、十、十三、二十五年發行の舊五十錢銀貨（二十圓以上）大正七年の八咫烏五十錢銀貨（五十圓以上）明治二年の一圓銀價（五十圓以上）など好事家の垂涎おくあたはざるものとなつてゐます

▼▼…婦人方が單に服飾品としてお用ひになるだけでしたら何も特に高價なものでなくとも型や字のよい、錆色の美しいもので充分でせうが、古い時代に發行された繪錢を利用されるのも面白いでせう、花柳界方面ではお守りとしてよくエロ錢を用ひてゐますが一般にはその守り本尊や向ひ干支の入つた繪錢などがよいだらうと思ひます、守り本尊といふのは子歳生れの人は千手觀音、丑と寅は虚空藏菩薩、卯は文殊菩薩、辰と巳は普賢菩薩、午は勢至菩薩、未と申は大日如來、酉は不動明王、戌と亥は八幡大神で、向ひ干支といふのはその反對の干支をさすので子の人なら午を、丑ならば未の繪錢を身につけて縁起を祝ふのです。

TOKYO TO HSINKING. (10)

N. T. Murad.

The Young Engineer

The man whom I happened to meet in the smoking room was a young engineer who was on his way to northern Manchuria for a certain company.

He was tall and well built. And he was peculiarly dark for an ordinary Japanese, appearing as if he had just returned from a trip to Africa.

It was indeed very delightful to talk with him, even listening to his big stories made me feel jolly pleasant.

"Listen," he said, "if I have 'sake' and woman I'll be satisfied wherever I go. But this trip I only have the instructions from my company. Isn't it lovely?" And he smiled which was more like a sarcasm.

As soon as I left him he began to sing wherein I heard "sake" in several places.

報國盡忠の我將兵に捧げた 淸き眞心と汗

本社並に滿日婦人團が募つた 慰問金品の決算報告

本社が曩に滿日婦人團と協力して軍隊慰問袋を募集するや、大連市を始め全滿各地に於ける讀者の大贊成を博し、或は物品を以て或は現金を以て續々本社に宛て寄贈せられ、豫想外の大成功を齎した事、並に滿日婦人團の諸子が折柄の炎暑を冒して連日慰問袋の大整理を爲し、實に一萬個以上に達する多數の

慰問袋を荷造りし、直に關東倉庫に引渡してこれが現地への輸送方を依囑した事等は當時本紙上で報告した通りですが、右一の中現金寄贈の分に對しては其後現金の取立て等整理に手間取つた爲め今日まで之れが決算の報告が出來ませんでしたところ、其の決算も頃日漸く出來上りました、其の結果によりますと寄贈の邦貨は合計三千二百八十三圓五十七錢でした

此の外に銀貨で一百五弗と四十三元とがありましたのでこれを邦貨に換算しましたところ一百四十六圓四十四錢となり、隨つて前記の邦貨と合計すると總計三千四百三十圓一錢となりました一卽ち

邦貨	三、二八三圓五七錢
銀（一〇五弗）	一〇四圓七九錢
同（四三元）	四一圓六五錢
總計	三、四三〇圓〇一錢

この内今日まで婦人團の手で支出したものが

袋布代及製作費	二九六・〇三
慰問袋一八五六個の中味代	一、二二一・八三
輸送運賃及荷造費	一七七・七七
計	一、六九五・六三
差引殘金	一、七三四・三八

でありました、就てはこの殘金を如何に處分すべきかについて今日まで軍部とも屢々愼重なる協議を重ねましたが、その結果左の通り處理することに決定しましたから寄贈者諸彦の御承知を願ひます

一、當分之れを滿日婦人團にて保管し（卽ち事實上滿日社會計部にて保管し）今後軍隊慰問の爲めに最も有效なる方法を考へて漸次支出する事

二、軍隊慰問の目的以外には一錢たりとも使用せざる事

三、支出し終りたる曉は更に其内容を新聞紙上に於て詳細發表する事

萩月式活花 無料講習會

一、時日　八月二十三日から三日間 ＝午前十時から午後三時まで＝

一、場所　大連紀伊町滿洲文化協會

一、申込　往復ハガキで滿洲日報社内滿日婦人團宛

一、締切　八月二十日

一、携帶品　切り花、花瓶、ハサミ、手帳、鉛筆

主催　滿日婦人團

後援　滿洲日報社

松林に探る 秋のかほり

ボツ／＼出初めた 初茸・どこがよいか

さわやかな秋の香をのせてボツボツ初茸が出初めました、今日の日曜を皆さんが初茸狩りに興ぜらるゝならば——

大連附近では老虎灘水産試驗場の奥の松林、寺兒溝の奥の山、彌生ケ池の左手の林、白雲山奥の小松山などにも相當獲物がありませう、一歩足を伸すならば旅家店、大西山の各貯水地附近の松林、龍王塘、王大道路の兩側の松林も初茸の産地です、旅順線附近の松林も初茸が多いが龍頭附近には初茸に混じつてコロ／＼と可愛らしい松露も澤山あります、其他松の密生したあまり乾燥のはげしくない場所ならば何處でも相當の獲物は得られませう

又同じ山にしても山の北面と南面では多少ちがひますし一般に北面の方が早期に發生し、南面の方はいくらかおくれて發生します、これは茸の發生するのにあまり暑くない一定の温度が必要なためで、從つて老虎灘や星ケ浦方面のやうに海の風の當る場所は一番早く發生するわけです、茸に濕氣の必要なのは申すまでもありませんが、適當な濕氣を與へられた茸の發育の速さには實に驚かされます、ですから茸狩りに一番よいのは雨の降つた翌朝です、それでなくても茸狩りは茸のつや／＼と光つてまはりの草が露に重たく垂れた朝のうちが一番茸を發見しやすいのですが、朝の

茸狩りは露で下半身ズブ濡れになりますからそのつもりで出かけないとひどい目に逢ひますですから家族打連れての遊山がてらの茸狩なら却て露がかわいてからの方がよいでせう、もつともあまり深々と草の生ひ茂つたところよりも、あまり草の丈の高くない枯葉などある松の周圍が概して茸が多いやうです（安東盛氏談）

連載漫画 ニッポン太郎ヨーヨーブユウ傳★一刀研二る 第卅五回

ドッコイ ギッポンツ？

マガルナッ！

ヒャッ！

キャッ！

家庭顧問

渡滿して再度の痔に惱む

【問】二十歳の青年で職業を持つてゐます、一昨年内地で痔を病み幸ひに全快しましたが昨年渡滿してから再度痔病になりました、別にがまん出來ないほどの痛みはありませんが孔があいてゐて運動が過ぎたり寒かつたりすると膿が出ます、薬も隨分用ひましたが一向效果がありません、どうしたらよいでせうか（惱む青年）

痔瘻ですから早く治療をうけなさい

【答】痔瘻です、放つて置けば段々深くなつて、膿がつくと又其處に膿瘍が出來たり、其創から丹毒に罹つたりしますからなるべく早く治療を加へることが必要です、病狀によつては至極簡單な治療法もありますが一度診察しないと程度がわかりません（辻慶太郎）

満日各地版

安東名物の鎮平銀 衰亡の運命迫る
國幣の信用徹底すると共に 中央では愼重考慮

【安東】安東柞蠶商組合が鎮平銀を排して國幣取引に改めやうさいふ運動や中央銀行安東支行が鎮平銀を新京總行に現送してゐるさいふ噂やまたは國幣統一の純理論等から近頃安東名物鎮平銀の存在が

論議 され日満財界人の注意を惹いてゐる、柞蠶商組合の國幣取引改正は協議の結果鎮平銀で取引してゐる他業者さも相談してもつさよく研究して見やうさいふことになつたらしいが柞蠶のほかに木材、河豆等の主特産物の取引はすべて鎮平銀で安東市場では鎮平銀は依然王座を占めてゐるが、鎮平銀は満洲國で唯一の國幣以外の現物通貨であり中華民國においてさへ過般廢兩改元を斷行したゐ日においては世界において

銀兩 の孤壘を死守して今るのは安東の鎮平銀がたゞ一つあるのみである、積極的時代の遺物であつて安東満洲國人の鎮平銀に對する愛著が如何に強いものがあるにせよ衰亡の運命は免れまい、況んや満洲國の國幣統一における唯一の異端者であり、取引の不便さ國幣の信用に對する認識が徹底すれば鎮平銀の衰運を加速するであらう、これについて中央銀行安東支行の城畦在員は語る

國幣統一さいふ點から觀ても鎮平銀の存在は好ましいこさではいへませんが今急に法律を以て廢止するこさは安東財界を混亂に陥れるので財政部でも中央銀行總行でもこの點を

愼重 に考慮してゐるのだらうさ思ひます、理想を言へば各種の取引が自然に鎮平銀から國幣建に移つて行くやうにしたいもので柞蠶商組合で國幣取引の意思があるさいふ話は結構なこさです、また實際に鎮平銀取引には不便不利が多い、たさへば田舎から柞蠶を安東に持つて來るさ代價を鎮平銀で受取るが鎮平銀は安東市内だけで地方には通用しないから受取つた鎮平銀を現大洋か小洋に替へて歸らなければならぬ、また日本人が柞蠶を買ふには圓を鎮平銀に替へなければならぬさいふわけで一つの商賣に

二重 に錢舖を利するこさになります、尤も逆に斷ふして鎮平銀の賣買で儲かるから安東が繁榮するのださいふ人もありそれは慥かに一面の理ではありますが、將來を大きく見るさ這んな煩瑣な取引は結局安東を利するものさは考へられません

匪賊漸く影を潜め 奉天省政に一轉機
金井廳長 今後の方針を語る

【奉天電話】匪賊の影は漸次薄くなり治安の確立に一轉機に向ひつゝある奉天省五十八縣の今後の問題につき金井廳長は語る

日本軍さ満洲警備軍の協力により匪賊は四散し各縣の治安は益々良好に向ひつゝあるは感謝にたへないがこれをもつて馬匪賊が根絶されるさかこの状況は今後の實際であるさ考へるこさは出來ない

何故 馬匪賊が影をひそめるにいたつたのか、原因を各縣においても仔細に調査し今後の對策を講じ十二分の準備をなさねばならぬさ覺悟してゐる、各縣でも治安の維持については最善の努力を拂つてゐる次第である、日本軍の分散駐屯により地方馬賊の掃蕩に可なり大集團の馬匪賊は困つてゐるらしい、少數團のものはこれは簡單に片づくものではないさ思つてゐる、現に角五十八縣に完全に縣長、參事官及び屬官を配置したこさは物語るもので軍當局のお骨折によるものさ

感謝 してゐるが奉天省は何さいつても治安恢復の點では他省より進んでゐる、各縣より財政的補助その他産業開發指導等の補助方を申請して來るものは多いが満洲國も建國匆々の際であるから入るをはかつて出づるを制し財政の自給自足をモットーさして餘裕のつくまで辛抱して貰つてゐる次第で要求には無理からぬ點あるも一時の忍耐によく縣政の善果を期待してゐる

唐聚五、鄧鐵梅等の發行した私票に對しては自然的整理が行はれ地方農村もその被害から漸く救はれ大同三年度から地方の金融も確立し農村の金融が圓滑になれば政治の運用もまた自ら解決するものさ確信してゐる、省さしては地方縣政の

刷新 さ民生の安堵に力を注ぎ西豐縣の如き最初から私票を認めなかつたため今では五十八縣中の模範縣さなつてゐる、これは財政的に確立した結果であつて金融財政が平靜に復せば縣政は自然に革新され眞の王道精神は民生に普遍化するものだ、唐聚五や鄧鐵梅の私票の如きも最初から地方民が完全なる融通貨さ考へてゐなかつたゝめ被害の程度も傳へられた程のものでなく今では大部分整理された、省公署さしては地方の財政金融政策に力を注ぎ確立に努めつゝある

金普バス開通 【金州】待たれた金州―普蘭店間の滿電バスもいよ〳〵今日から開通する、本月三十一日まで二往復、來月一日からは四往復さして往復四十三キロの白楊並木の幹道にあのスマートなバスが滑るが如く（寫眞は三十里堡經補の傍観）

營口航政局の招宴

【營口】營口航政局では二十二日午後六時より街市街滙海樓に日満官憲並に新聞關係者を招待して晩餐を供すべく局長名を以てそれ〴〵案内狀を發した

明年度豫算は積極方針で
約二千萬圓の新規事業費 撫順炭礦の提出案

【撫順】撫順炭礦昭和九年度事業費豫算編成に就ては最近漸く各採炭所、事業所、工場等現場當局さの打合を終り炭礦當局さしての提出案を得たので目下經理課に於て謄寫淨書中で本月末本社に提出の答である、聞く處に依れば明年度豫算は數年來の消極方針がガラリさ變つた當局案で試みにその主要なる新規事業だけを掲げてみても、大官屯發電所五十サイクル、發電氣二萬五千KM二臺新設費六百萬圓を筆頭に龍鳳大竪坑開鑿費三百萬圓オイルセール第二期擴張費約二百萬圓、蕎市街社宅移轉新築費二百萬圓、古城子採炭所粉炭水洗工場新設費八十萬圓等の巨費を要する大事業多々あり以上だけでも實に一千三百八十萬圓さいふ巨額に上り更に例年常例の古城子露天掘剝土作業費三百萬圓其の他を合すれば事業費が例年四五百萬圓であつた一躍その四、五倍に當る二千萬圓近くの近年稀なる大事業費さなる

右各新規事業を見るに石炭增掘、昭和製鋼所送電用の發電力增大、危険家屋の移轉、國策による製油增大、石炭品位改良等々何れも止むに止まれぬ事業であり殊に社宅移轉を除き各事業さも大いに利益があがるさいふ緊縮時代の滿鐵豫算編成方針に合致せる事業であるだけ何れも削除するさいふ工合にもゆかぬ性質のものであるが、重役會議に當り果して如何の程度までに修正が加へらるゝか事業が事業だけ又二千萬圓さいふ巨額の事業費だけ興味ある問題であらう

文化とはこれ怪奇
満博見物に出た旅順の百姓達 たまげ切つて歸る

【旅順】遣次三回に亘つて行はれた旅順民政署地方係主催の管内村落滿洲人博覧會見學團は無事大成功裡に終了を告げたが今回の催しで各會毎に八十名以上百三十名の多數に達し然も六、七十歳の高齢者、老婦人の多かつた事は意外中の意外、他の團體さ大に變つた團體であつた

更らに變つた事はその大部分が未だ大連を知らず汽車も初めて見る、又乘つた事も勝の緒切つて今回が初めてださ云ふのだからその驚きは大したものであつた、先づ第一の質問が

「一體博覧會さは何か……」

「何故に斯る大規模な設備をして人に見せるのか」

さ云ふので引率者が大に説明に努め漸く納得し感想はたゞ驚くばかりで「アイヤ〳〵」の連發第二日目は埠頭を見物させた處愈々老人連の頭は全く魔の世界に飛出した如くで數隻の巨船から煙が出る、丁度うらる丸が出港した際さて無數に張られたテープの光景、巨體が動き出すので益々吃驚する

最後に埠頭事務所で七階へのエレベーターの昇降で失神せんばかりに驚いて歸旅した、殊に電車はどういふ工合で動くのか最も不思議の一つさされてゐる樣であつた

採用者側に於ける現況にあり學校當事者も大いに滿足の意を洩らして益々意氣高潮堅固なる人物養成に努めて居る

旅順光華會員の麗しい軍隊奉仕
美しい日本女性の誇り

【旅順】銃後の花さしてあらゆる方面に目覺しい活躍をつゞけてゐる旅順の光華會は金行海務支局長夫人を始め各方面の婦人を以て組織されいづれも一致協力麗しい女性の奉仕團體でその獻身的活動さたゆまぬ傷病兵の慰問振りには白衣の勇士は勿論坪倉院長以下各係官も等しく感謝してゐるが十七日も砂川捨丸一行を招聘し百餘名の患者をして眞に歡樂境にひたらしめこの上なき慰安の目的を達成せしめた、なほ光華會員は殆ご連日病院内に赴き漸くうさんぜられ勝ちさなる傷病兵慰問には絶えざる奉仕を持續してゐる點誠に美しい日本女性さしての誇りである

鞍山神社の秋季大祭典
九月十五日から三日間に亘り 餘興も盛大に催す

【鞍山】鞍山神社氏子總會は十七日午後一時から地方事務所會議室で關係者出席のもさに開催せられた秋季祭典を九月十五、十六、十七の三日間さし昨年は時局に鑑み祭典のみを催したに反し今年は盛大なる祭典及餘興等をも催す、又本年は鞍山神社創立十周年に當るので記念事業さして大宮町の參道の改修工事を實施するこさになつた

商工都市奉天の各縣駐在特派員
十六ケ所から派遣

【奉天】商工都市の大奉天が將來全満の中樞地位を占め交通網完成から各地方への市場開拓に天然の形勝にありさの考へから内地各府縣市よりの駐在特派員は滿洲事變來著るしく增加し現在では名古屋、大阪、神戸其他朝鮮を含み十六ケ所より調査員又は駐在特派員を常駐せしめてゐるが其の氏名職別は左の如くである（括弧内の數字は設立年月日）

▲廣島縣駐在員奉天輸入組合板野六界（七、七、七）▲名古屋市立商品紹介所奉天加茂町五八神輔市（七、一〇、一）▲名古屋日滿通商協會奉天出張所奉天小西門外藤井丈太郎（八、七、一）▲神戸市商工課出張所奉天千代田通四〇日滿貿易館內野添儀（七、八、一五）▲朝鮮總督府勸業課奉天駐在員奉天總領事館內小田久一（六、六、一六）▲朝鮮貿易協會奉天浪速通三二太田常之助（八、五、一）▲朝鮮水產組合出張所奉天浪速通三三森山正三（八、二、一）▲福井縣駐在員奉天輸入組合內小泉進八（八、七、一）▲愛知縣商品陳列所千代田通四〇日滿貿易館內矢部德吉（六、四、一）▲岡山縣滿洲商況通信所輸入組合內松田傳藏（八、六、二）▲石川縣滿洲市場調查員奉天千代田通四〇日滿貿易館內矢部德吉（六、七、一）▲滋賀縣囑託奉天平安通二二森光太郎（七、五、三）▲和歌山縣貿易事務囑託奉天輸入組合內兒玉畢神（八、三、一五）▲大阪產業部囑託奉天商工會議所野添孝生（二、四、一）▲神奈川縣東亞輸出組合奉天商工會議所加藤孝（八、七、二五）▲神戶海陸產物大西滿門外貿易商業組合奉天出張所下條松齋（八、五、一）

富田サーカス被害調查

【奉天】奉天總領事館においては富田サーカス團の被害狀態調査中

安東神社の記念臨時大祭
創立卅周年記念を迎へて 明年盛大に執行

【安東】安東神社は明治三十八年安東大神宮さして創立明治四十三年現在の安東神社さ改稱されたが明年で創立三十周年改稱後二十五周年に當るので明年記念臨時大祭を執行する筈であるが夫までに中門も瑞垣を建てる事さなりその工費六千八百餘圓を一般から寄附を受けてゐる

同文商業學校 實務成績良好

【吉林】學校教育の實務化を計る目的を以て夏期休暇一ケ月間を利用し三年生二十四名を實務に當らしめた吉林同文商業學校では愈々十六日より後期授業を開始したが約一ケ月間の實務は何れも成績良好にして優秀なる足跡を印し中には感謝狀さへ授與されたるものあり、卒業未だ先長き今日に於て早くも就職口の確定見採用申込者殺到するが如き好評を博して既に

機械實演博

【奉天】滿洲機械陳列所にては九月二十六日から十月二十二日まで新高町滿鐵グラウンドに機械實演博覽會を開催するこさになり桝田所長は目下これが準備に忙殺されてゐるが實演には日本內地の一流機械製作所川崎造船所其の他多數の出品あり盛況を豫想されてゐる、尙は二十一日午前十時から地鎮祭を擧行するこさになつた

奉天の牛乳

【奉天】夏季牛乳需要期にある奉天署管內で供給されてゐる牛乳の量は一日六石五斗に上り牛乳營業者五軒中鮮滿牧場のみ奉天で搾取する一石五斗の牛乳を除く外全部沿線は鞍山、熊岳城、蘇家屯から移入されてゐる、現在牛乳一合の値段六錢であるので毎日三百九十圓の牛乳が奉天市民に飲まれてゐる譯で人口の增加さ生活の合理化に伴ふ牛乳の需要は益々增加するであらうさ云はれてゐる

二少女の醵金

【奉天】彌生小學校四年生中村敏子さんさ一年生文子さんの姉妹はこの夏休み中お母さんから貰つた小遣を全部貯蓄して置いた金一圓十八錢を「これは極僅かではござ いますが、びんぼうで困つてゐる人にあげて下さい」さ十七日奉天署に寄附して出たが、夏休みでおねだりする女の子がかうした尊い金を寄附したこさに對し奉天署でも感激してゐた

英驅逐艦更代

【營口】營口入港中の英驅逐艦ノニペトラムは東洋派遣隊よりの命令により十九日出港秦皇島に向ひ砲艦ホワイトゼット號十八日香港より入港の筈

鈴木院長歸營

【營口】滿鐵營口醫院長鈴木圭稅氏は脚氣病の爲め轉地療養を必要し郷里愛知縣に歸省中なりしが十八日午後五時二十二分着車にて家族同伴歸營せり

各地片々

◇錦州 谷縣長の後任さして過日着任した新任錦縣長馮廣民氏は十七日午後六時城內得味濟に坂本〇團長以下官民多數を招待し盛大なる披露宴を開催した一同着席するや馮縣長は渉夢縣なる者であるが前任縣長同樣宜しく今後皆樣の御指導を願ふ旨挨拶しこれに對し後藤領事は來賓者一同を代表して挨拶しそれより宴に移り盛會を極め午後九時散會した

◇金州 金州郵便局長鈴木悅之助氏は十七日の遞信局大異動により營口郵便局長に榮轉來る二十三日朝のハトにて家族同伴赴任の筈、氏は昨年五月金州局長を命ぜられ爾來一年餘遞信事務の刷新に盡力した功勞者であつて一般から離金を惜しまれてゐる、なほ後任さしては奉天局より大坪書記補が局長心得を命ぜられ近日中來任の筈

四平街天主教會の學校開く

【四平街】四平街鐵道東滿洲街天主教會においては巡回附帶事業さして商業中學校を設立し商業上の知識技能を授くるさ共に英語、日語、漢文をも授け以て健全なる實業實務家養成の目的にて十七日開校した、入學資格は十四歳以上二十歳以下の普通高等學力を有する者にして現在生徒約四十名あり、同教會寄宿舍に收容し學費一ケ月一圓、賄費一ケ月四圓である

賭博開帳中の八名一網打盡

【奉天】十八日午前三時頃市內住吉町一番地鐵力職松家三吉(三二)方において七、八人の邦人が賭博開帳中さの屆出により浪速通り淸葉町千代田通りの各派出所より警官が現場に赴き內部の樣子を窺ふさ松家ほか七名が車座さなり盛んに賭博を行つてゐるのを現認し直に玄關の開扉に迫るさ彼等は戸を堅くさぢて開けないので窓より踏みこまんさするや彼等は玄關から逃げ出さんさする處を內部に踏みこみ八名を一網打盡に逮捕し奉天署の留置場にブチ込み目下取調べ中

手も足も出ず 三角地帯の鄧鐵梅匪

劉景文匪も附近撹亂が關の山

【安東】日滿軍の徹底的討伐に遭つた三角地帯の匪魁鄧鐵梅は手も足も出なくなり目下岫巖縣大洋河子及び一面山附近に部下五百と共に窜伏してゐるが積極行動は全然不可能に陥つたのでわづかに密偵をして討匪軍の動靜を探らしめ一面北平の救國軍本部との聯絡に腐心しつゝある有樣であるまた劉景文匪も部下一千を引連れ岫巖縣哭隆山に蟠居し鄧鐵梅と聯絡し頽勢挽回の機を狙つてゐると傳へられてゐるが附近農村を撹亂する位が關の山であらう、李春潤李子榮兩匪團も板津支隊の痛剿に潰滅し武器彈藥を山間に隱匿し部下は解散したと

殿臣匪等討伐に 兩將軍出動

いよ／＼最後的討滅

【吉林】日滿軍警約六千名の決死的大討伐も馬の耳に念佛位に心得て暴行掠奪さては反日滿的行動を敢て行ひつゝある殿臣、宋國榮、毛作彬、紅軍等の合流匪約千二百名は今回の我が日滿兩軍最後的大掃蕩に早くも呼蘭街北方地區に於て包圍壓迫され彼等の悪運も漸く迫りつゝあり怨み重なる彼等の全滅を期せる中村少將、吉興司令官は此の掃蕩を徹底さす爲自ら陣頭に起ちて大いに我が日滿軍の威を發揮し王道樂土の實現に努むべく戰鬪司令部を○○に進め直接指揮の任に當ることゝなつた、尚滿洲國警備司令官吉興氏の出動は今回が最初で此の兩將軍自らの出動に依り旬日を出ですして匪賊の殲滅を期せらるべく十七日各々各部隊に訓示の上十八日早朝各警備隊を從へ出動した

王仁岐匪の討伐

密偵逮捕で事情判り 鞍山守備隊敢然出動

【鞍山】遼陽警察署員のために逮捕せられ取調べの口述により發覺した捕虜密偵梁殿武は王仁岐の命を受け去る十四日夕刻遼陽南方の鐵道爆破を決行すべく日滿軍警の警備の狀況の密偵に派せられたものので梁は日滿軍警の目を晦ます爲め茄子賣の行商人に化け込み十五日午前二時三十分の眞夜中に除住子に差蒐つた際突然張込み潛伏中の遼陽警察署員に逮捕せられたものであるが梁が擔ひたる茄子の中に挿入せる拳銃彈に依り企圖を發覺したものである、王仁岐以下五十八名の匪團は八卦頭の高粱畑内に新に掘撰せる洞穴七個に潛伏して居ることが判明した、斯くの如き報を遼陽警察から受けた鞍山守備隊では直に討伐隊の編成をなし同隊伊東大尉の指揮に及川部隊、大村部隊を編成伊東大尉は十七日午前十時三十分之を指揮し遼陽に前進し各方面からの情報蒐集に努め、一方羽山守備隊長は十七日夜遼陽に前進、鞍山守備隊主力及び遼陽警察署員、遼陽縣警察隊を糾合し之が總指揮官となり一擧にして王仁岐匪の剿滅を決行した伊東混成○隊は十八日拂曉を期して一齊に行動を開始した、伊東混成○隊情報第一信鞍便十八日午前九時二十分着我軍の隊形は十八日午後四時遼陽縣第一區自衛團及び遼陽警察隊を以て西干河子東方、縣警察隊は八卦頭西方地區、守備隊は兩隊の中央地區に展開し敵地に前進攻擊を開始す、午前五時守備隊は八卦頭東側地、遼陽警察隊は西干河子西南方に各々敵の洞穴に向ひ包圍圏を構成した、午前六時半洞穴の線に達す、洞穴を點檢せしも其の内部の情況により察して逃走せる模樣、討伐隊は午前七時西干河子に前進同部落を掃蕩不良分子檢擧中にて目下羽山守備隊長は八卦頭にあり

スポーツ使節歸る

スポーツ使節として日本を訪問して日本女子排球大會に出場し新興國女子スポーツ界のために萬丈の氣を吐いた新興滿洲國代表女子排球選手一行三十六名は十七日午後七時五十分着列車にて元氣にて歸京した【寫眞は新京驛着の一行】

鳳城縣下の匪賊

【安東】十七日午前三時ごろ匪首不明の三十餘名の匪團が鳳城縣大堡駐在所西方の西山部落を襲擊し反滿抗日を豪語しつゝ金品を掠奪人質二十九名を拉去した急報に依り安東署高橋巡査外七名は午前七時出動追跡討伐した

匪賊に浚はる

【四平街】本月十三日午後五時頃昌圖縣第五區[illegible]樹房住の米豪永源與こと周樹範の孫某(一七)は同店炊事夫某と外出の儘歸宅しないので諸方に手配捜査中去る十六日匪首如意より大洋一萬五千圓長銃八挺阿片百両を人質回贖料として伊通縣第七區[illegible]溝に速刻持參すべし

匪賊出沒 撫順縣下に

【撫順】撫順署では遼般來新揚堡管外地方面に屢々數名組の匪賊が出沒するので内偵中のところ賊の一味七名は新太河附近盧家溝の大松林を根據にして活動せる由が判明したので警戒中のところ賊の一名劉木匠(三五)が最近頭目王某の拳銃一挺及び彈丸百五十發を窃取逃走せるを探知したので先づ右を取押へ本格的活動に移るべく手筈して賊者を派し劉を生捕るべく努めてゐたが、日本警察の活動と聞いた劉は早くも觀念し窃取せる拳銃に彈丸九十九發を添へて賊者に引き渡し身を以て逃れた由であるが、賊團は目下新太河附近の山中を轉々としてゐると通報して來た

二名組強盜

【奉天】十七日夜八時頃城内第九警管内西塔約里胡同門牌[illegible]來永糧米店に二名組強盜侵入し家人を脅迫して現大洋三十五元小票二百四十元その他指環等を強奪逃走した目下犯人嚴探中

同道した女房が途中ゐなくなる

事實は汽車から墜死

【奉天】愛知縣碧海郡新川町生れ撫順居住萬達屋機械工作業板倉淺松(五〇)氏がその妻そう(四九)と共に大連滿洲博覽會見物を終へ十七日夜十時大連發新京行十七列車に乗りこみ蘇家屯まで歸つて來た處淺松氏はその妻女がゐないのに氣付いて早速手配捜査中そうは他山、分水間で無慘な轢死を遂げてゐることが判つたので淺松氏は直に現場に向つた、そうは二年前から神經衰弱にかゝり苦しめられたことあり十八日午前二時頃頭痛がするので列車の後部に行つて來ると稱し座を外したが淺松氏は之を氣にもせず眠つて仕舞ひ漸く蘇家屯で氣付いたものでそうは列車のデッキに立ち休んでゐる間に過つて墜死したか又病氣を苦にして進行中の列車から車外に飛び降り自殺を遂げたものであるか不明で目下取調中である

愈よ九月から開校の運び

撫順縣中學と師範校

【撫順】撫順縣中學校及師範學校は縣財政窮乏の折柄復活困難であつたが、教育局及地方有志の努力によりいよ／＼來る九月より開校の運びとなる模樣であるが、收容人員は中學校二班百名、師範學校一班六十名の豫定である

吉林神社用地 測量に着手

當分は神社のみか

【吉林】民會有志の努力と滿洲側の諒解に依つて神社其の他の建設用地約六千町歩は其の後紛糾した模樣で愈々十七日午前九時より概略實地測量に着手する事になり種々計畫の具體案を考究中であるが右に依り辻川副會長は語る

今回の土地商租は吉林神社建設を主眼として請願したもので之に準じて忠靈碑其の他の建築を出來得るならばしたいと思ふのみにて豫算其の他の關係上公會堂設置などは夢にも叢する事が出來ず神社の建設さへ一文の豫算なき當今にて全く有志の努力にまつより他になく今後の問題として商租價格を果してどの程度で許可さるかそれが一大問題である何れにせよ土地商租と商租價格の決定を見る迄は具體的進展は難しい

建設委員會

昭和製鋼所

【鞍山】昭和製鋼所の建設工事は至極順調に運び分塊工場並に製鋼工場の杭打ち及び基礎工事も豫想以上の好成績で進捗しつゝあり、來る十一月頃から着手すべき各種附帶工場、骸炭工場の擴張、敷地等は將來製造能力の變更等について重大な關係があり、全體的の合理統制及び連絡の點を充分考慮すべきを以て建設委員會では慎重研究討論を重ね丁度高橋課長が十八日夜出發東上の途につくので其の以前に各工場附屬建物等の位置選定を決定すべく十八日午前十時から建設委員會を社長室に於て開催し種々討議し大體決定したとのことである

納入税金に 僞造紙幣

犯人嚴探中

【安東】去る十四日安東商埠地東發祥商店から安東税捐局に納入した税金中に滿洲中央銀行券五角(五十錢)僞造紙幣六枚が混入してゐるのを發見し直に中央銀行支行に鑑定を求めたところ機械を用ひ一見眞僞を見受けられぬほど精巧に出來た僞造紙幣と判り安東憲兵分隊では金融撹亂の重大性に鑑み各警察機關を督勵して出所犯人の嚴探に努めてゐる

安東支部を 設置決定

大滿洲正義團

【安東】大滿洲正義團は安東に支部を設置すべく會員募集中であつたが約三百名の會員を得たので愈々支部設置に決定し近く發會式を擧行する筈である

正義團支部

【四平街】大滿洲正義團四平街支部開設は既報の如くなるが其の後同事務所に於て擴張に努めたる結果去る十六日入團者總數四百九十七名に達し支部開設最低人員四百名を既に超過せるを以て愈々發會式を擧ぐべく之れが準備着々進捗しつゝあるが目下同團主監酒井榮藏氏、内地歸還中なれば歸滿を待つて發會式擧行の豫定であると

怪失踪事件 漸く眞相判明す

全く本人の意思から

【奉天】既報、誘拐か、人攫ひか十七日午前十一時頃「安はたばこんがつれて行くからさがさなくてもよい」と紙片に書き殘して行つたまゝ不明となつた加茂町七番地奉天居留民會副理事朴樂秉氏の子守安順愛(一〇)に關しては奉天署で捜査中十八日朝安は加茂町大同アパートにゐることが判り本署につれ來り保護を加へてゐるが安は朝鮮には四歳のとき死別し兄弟もない不幸な身の上で朴氏方で子守として働いてゐるうち大同アパートにゐる鮮人少女で春ちやんといふ子守と仲よしになり元某カフエーで女給として働いてゐた有夫の婦人が子守が欲しいといふところへ安も充分な待遇を受けてゐないところからこれに誘はれて大同アパートに行つた事が判明した、係官は安に對し懇々論したが朴氏のところへはどうしても歸らないといふし身寄りのところもないのでその處置につき考究中である

運轉手募集

【撫順】撫順炭礦では今回古城子露天掘電氣機關車及び電氣ショベル運轉手約三十名を募集中であるが八月下旬體格を主として考査が行はれるので希望者は二十一日まで古城子採炭所へ書式の願書を提出すべしと尚資格は小學校卒業程度身體強健なるもの二十一歳より三十歳まで

關市長一行

【奉天】日滿實業懇談會に來滿した關大阪市長一行は十九日來奉撫順を往復し奉天一泊、商工會議所主催で輸入組合を中心とし經濟調査會員と共に座談會を開催

旅順放送

▲西山、林前兩局長、御影池前課長、山村砲兵大佐、黒岩少佐に對する在旅官民有志の送別宴は十七日午後六時三十分から偕行社において開催、會する者各方面官民百七十餘名、米岡市長發起人を代表し送別の辭を述べ盃を擧げ五氏の前途を祝福し西山左内氏一同に代つて謝辭を述べ在旅官民の爲め乾盃、紅裙酒間を斡旋歡談數刻、日下内務局長の發聲にて五氏の爲め萬歳を三唱するや林長官又官民の爲め萬歳を唱へ盛況裡に八時四十分散會した

▲旅順重砲兵大隊では來る二十五日午前八時から模珠礁砲臺より一萬五千米の海正面に向ひ十五糎加濃砲及び十糎高射砲の實彈射擊演習を行ふ

▲大連民政署長に榮轉した御影池辰雄氏は十八日午前九時三十五分驛發家族同伴正式赴任せるが驛頭には官民多數盛んなる見送りがあつた

▲旅順署勤務巡查篠原仁藏、同山川富次兩氏は今回精勤證書を授與され十九日午前八時本署講堂に於て署員禮裝立會の下に授與式が行はれる

▲今回の定期異動に依り大阪衛戍病院へ轉任した順山藥劑正、山口衛戍病院へ轉出した木村藥劑官は二十日午前九時三十五分發列車にて出發赴任する

▲大阪府商業學校見學團十三名は十八日午前九時十分着列車にて來旅即日離旅

▲平壤教育視察團二十名同上

▲千歳町二ノ一植村美人氏方笠原卯吉(六七)翁は十六日死亡

けふの放送

大連 JQAK 八月二十日

▲午前六時 ラヂオ體操第一
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前十時 新譜レコード(コロンビヤ)
▲午前十一時五十分 講演(新京より)ニュース
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時 ニュース
▲新内(六時三十分)「一の谷嫩軍記組打の段」彈語り富見たか
▲怪談「提灯河内屋」櫻川宇太助
(以下内地中繼)
▲舞踊劇(七時三十分、大阪より)「伊勢音頭戀寢刃」(古市油屋十人斬の場)福岡貢(中村福助)藍玉屋北六實は徳島石次(實川延郎)今田萬次郎(市川玉太郎)徳島石次實は藍玉屋北六、(中村政之助)料理人喜助(中村政治郎)粋の次郎吉(中村福三郎)油屋お紺(中村福太郎)女郎おきち(中村政男)同おちか(中村福昇)仲居千野(中村福笑)同萬野(市川莚女)はやし連中二葉會社中

東京 JOAK 八月二十日

▲ニュース▲氣象通報
(以下大連放送居より)(八時三十一分)
▲舞踊劇(六時三十分)「身替音頭」場(一)永井右馬頭屋敷の場(二)同奥庭音頭の場 齋藤太左衛門(坂東三津五郎)奧方花園(澤村源之助)局三芙(坂東竹三郎)局一子若君(尾上眞琴)永井一子鶴千代(坂東簑之助)永井の臣源吾(坂東薪蔵)同左近(坂東飛鶴)腰元若葉(坂東八重蔵)同皐月(坂東八重之助)永井の臣(同新富)竹本連中太夫竹本音女太夫、三味線竹澤八重造長唄はやし連中柏伊三郎社中

普通號並の五十錢で豪華版の別册附錄つき大賣行の九月號
主婦之友
△大評判のお子様画報贈呈
△縮緬の定紋つき風呂敷千五百枚を贈呈
お客料理の作方と作法を知らねば恥をかきます!!
二度と得られぬ此の特別附錄を見よ!! これさへあれば恥をかく心配はない!!!
一目でわかる寫眞畫報式大別册附錄
お客料理の作り方
日本料理の客膳の作り方
西洋料理の客膳の作り方
儀式料理の客膳の作り方
お客と主人の作法寫眞畫報
一流名人が秘傳を公開
和服裁縫の苦心を語る座談會
(母よ見よ!! 娘よ讀め!!)
年頃の娘の結婚問題
文豪德富蘇峯先生夫妻に結婚五十年の想出を聴く
(牧逸馬 牧和子)
總理大臣から表彰された禁酒の村を訪ふ
山田わか
▲夫婦共稼ぎで五百萬圓の富を作つた勤勞の家庭
▲關東軍司令官菱刈大將を育てた母堂の苦心談
放送局の内證話
(大辻司郎)
坪内美子の落胤秘話
(石上欣哉)
肺病患者の家庭看護法の座談會
姙婦がキット安産する方法の座談會
滋養劑の簡易製造法を公開
寫眞小說 愛の氣象台
水谷八重子主演 (中野實先生作)
地上の星座 (牧逸馬先生作)
▲直木三十五先生 女心双情記
▲沖野岩三郎先生 いづこへ行く
▲田中西條合作 職業婦人美
蛭で病氣を即治した實驗
▲住宅を新築した人々の座談會
▲日ヤケを早く治した實驗發表
▲新案婦人働き着の作方七種
▲良人の躾方秘訣十ヶ條
▲名流婦人の信仰に入つた動機
▲簞笥代りの便利な入れ物
▲夜具の手輕な仕立直し方
東京神田 主婦之友社
五十錢 (送料六錢) 別册附錄つき

童話 ポッポ一等兵

山田健二

……1……

安奉線の山の向ふ側は三角地帯と云って今でも澤山匪賊がゐて、時々山を越えて驛を襲ったり、走ってゐる汽車を射ったりします。

本溪湖に近い小さい驛の守備隊に山下といふ一等兵がゐました。入營した時の歡迎會でみんな勇ましい軍歌を歌ひましたが山下一等兵だけは「鳩ポッポ」を歌ひましたのでそれから「ポッポ一等兵」といふあだなをつけられました。

……2……

ポッポ一等兵は鳩が一番好きでした。それで暇さへあれば「鳩ポッポ」ばかり歌ってゐます。上官が軍歌を教へてもなかなか覺えません。

「ポッポ一等兵、ついて歌って見ろ……こゝはお國の何百里……」

「こゝはお國のポッポポッポ……」

「バカッ！お國のポッポポッポとはなんだ！」

「あゝ滿洲の大平野……」

「あゝ滿洲のポッポポッポ……」

あまりポッポポッポばかり歌ってゐるので或日隊長さんに呼ばれました。

「お前は本當に鳩が好きなのか」

「ハイッ！猛烈に、絶對に、斷然好きであります」

「アハ……そんなに好きなら傳書鳩の世話をしてみろ」

「ハッ！嬉しいであります、萬歳！」

「ハハハ…そんなに嬉しいのか」

ポッポ一等兵はそれから一生懸命に鳩のお世話をすることになりました。夜中に雨でも降ってくると飛び起きて小屋に見に行きます鳩が病氣にでもなると側に附きりで看護しますので鳩もポッポ一等兵を見ると御馳走のやうな眼をクル〱させて喜びました。

……3……

火が燃えてゐるやうな暑さになって高粱が背の高さほどに伸びました、匪賊が時々山を越えて驛を襲ふので守備隊ではいよ〱三角地帯の匪賊を討伐することになりました。

みんな重い背嚢を背負ってゐますがポッポ一等兵だけは五羽傳書鳩の入った籠をかついでゐました

木一本生えてゐない山を幾つも越えヤッと岩陰を見つけて休めばアブや毒蟲がさすので少しもヂッとしてゐられません。何里歩いても泥水の溜りさへないので、腰にさげた水筒の生温かい水が寶の山より尊い「生命の水」でした。兵隊さん達はその水を時々すゝるやうに大事に飲んで元氣を出しては又行軍しました。

……4……

ちやうど四日目の晝、低い岡の上に登って四方を眺めてゐた隊長は「伏せーッ！」と突然號令をかけました、皆焼き付くやうに地に伏して前方を見ると、大勢の支那人が馬に乗ってこちらに走って來ます。

隊長は双眼鏡をあてゝ見ました

「いよ〱來たな、大部なるぞ」

双眼鏡には味方の何十倍か分らないほどの匪賊の姿が寫りました

「オイ！直ぐ傳書鳩をやって本隊に報告しろ！」

「ハッ！」

ポッポ一等兵はもう一羽きり殘ってゐない鳩に狀況を書いた手紙をつけて放しました。

「おい…氣をつけて行くんだよ」

鳩は二三度圓を描いてゐましたが守備隊の方向が分ったと見え、一直線に敵の方に飛んで行きました。

「アッーあぶない！」

ポッポ一等兵は思はず叫びました。

……5……

それから二、三時間たちました激しい戰ひは漸く終り、匪賊は澤山の死骸を捨て逃げて行きました。夢中で戰ってゐたポッポ一等兵はフト我にかへってあたりを見ますと敵も味方もありません。肩から顔から足から黒い血が流れ喉が燒付くやうに乾きます。ポッポ一等兵は血だらけの手で腰の水筒をさぐって、振ってみました。かすかな水の音。

「ム……未だあるぞ」

一等兵は嬉しさうにセンを抜いて一息に飲まうとした時……クク……と直ぐ近くで聞き覺えのある鳴き聲……

「オヤ？」

一等兵は聲のする方に這って行きました。

「あゝ鳩だ……僕の鳩だ」

其處にはさっき離した傳書鳩が小さい胸を射たれて斃れてゐました。

ポッポ一等兵はあわてゝ鳩を抱くと、飲まうとしてゐた水筒の水を鳩の嘴に入れてやりました。

……6……

翌日應援に來た兵隊さんは高粱畑の蔭に鳩を抱いて戰死してゐるポッポ一等兵を見付けました。兵隊さん達はポッポ一等兵と鳩を取巻き眼に一ぱい涙をためて捧げ銃をしました。

こどもの考へ物 第六十回

やあこれは 見た事があるゾ プロペラーかナ

皆さんこゝに出した寫眞の品物はどこかで見たことがあるでせう、飛行機のプロペラーでもなし、お船の推進機でもないらしい、さて何でせう？わかった方は來る八月二十七日までにハガキで、大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附録係」あてお答へください、正解者にはいつもの方法で二十名に限りご褒美を差しあげます

第五十八回の答 菱刈大將です

なくなられた武藤元帥の後をひきついで滿洲においでになる方は菱刈大將でした、皆さんはよく先生のお話をきゝ、お父さまやお母さまたちのお話を覺えてゐるので、こんな考へ物が出ても間違はずに殆ど全部の人がお答へすることが出來たのでせう、今度も籤をひいて左の方々にご褒美をあげることにしました

當籤者

▲大連深澤益▲同宮田よし子▲同坪井敏夫▲同茂木昇▲同三宅秀和▲同安富孝一郎▲同武田泰忠▲同窪田信子▲同山賀治夫▲同中村正枝▲同竹内順二▲同佐貫順夫▲同龜本安子▲鞍山春田壽子▲鐵嶺梁觀鎬▲海城佐々木節幸▲新臺子安部康彦▲立山原口久二男▲遼陽篠木義信▲普蘭店平山泰

なほ當籤者で大連市内の方へは新聞社から當籤通知のハガキを出しますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りしますから、樂しみにそれまでおまちください。

唱ひお話する珍らしい犬

英語のほか獨逸語も

犬が人間のやうにお唱歌をうたったり、お話をしたりするといったら、みなさんはほんとうにしないでせう、ところがイギリスのロンドンに住んでゐるマーク・シラーといふ人が飼ってるアルサス種で八つになるパシーといふ犬はシラーさんのおばさんを「ママー（おかあさん）」と呼び、このママーの彈くピアノにあはせてイギリスの國歌「ゴッド・セーヴ・ザ・キング」を一節でも間違はずはっきりうたふといふのです、そしてシラーさんのお話によりますと、このパシー君は小さい時ドイツのベルリンから買って來たものですが大へん覺えがよくイギリスの國歌のほかに、たくさん歌を知ってゐて、またパシー君は英語のほかにドイツ語もお話するといふから大へんなものです。

模型飛行機 新記錄

二十八分十八秒

みなさんは模型飛行機が大好きですね、これはアメリカのお話ですが、ついこの間ニューヨークのルーズヴエルト・フィールド飛行場で全米模型飛行機大會が開かれました、この大會で一等になったのはフィラデルフィヤのマック・ウエル・パセットといって、パセット君の愛機は、皆さんのゴムの飛行機と違ってガソリン付の模型飛行機ですが廿八分十八秒を飛んで世界の新記錄をつくりテキサス・トロフィをもらひました

アリの住家——サナギと子虫を見まもるアリ

情け深く親切者 陸の智惠者『蟻』の話
人間につぐ文明生活者

私たち人間の偉いところは大勢あつまつてお互に助けあつて共同生活をしてゐることです、ところが今地球上に八十餘萬種の動物が生きてゐるうちでもわれ／＼人間についで文明な生活をやつてゐるのは、いたづら坊主をチクリとお尻の針で刺す蜂と甘いものに眞つ先にたかるあの小つぽけなアリです

アリには女王（メス）王（オス）勞働者（卵をうまないメス）の三種類があつてそれ／＼違つた役目をもつてゐるのです、このうち王樣は數十匹ゐますが、女王は大てい一つの社會に一匹ときまつてゐます、そしてこのアリたちは子孫をふやす役目をもつてゐます、ところが勞働者といふのは名前のやうにアリの社會で一ばんの働きもので、一つの社會のうちに少いものでも二、三百匹、多いものだと何萬匹とゐて、朝から晩まで一生懸命にはたらきます、ですから若しこのハタラキアリがゐなかつたならアリのお國はきつと亡びてしまふに違ひありません

アリの國の議會　暑いところにゐるアリはときどきかうして集まつてアリのお國の相談をするといひます

大工さんになつたり こどもを育てたり
一生懸命稼ぐ勞働者

そ　こでハタラキアリについてお話いたしませう

ハタラキアリは第一に巣をこしらへます、アリの巣は地面を掘つてトンネルのやうになつてをります

ハタラキアリはその丈夫なアゴで土をほつて、細い土の塊りをくはへていち／＼外へ運びます。何しろあの小さなからだで運ぶのですからなか／＼大變ですが、ハタラキアリは大勢で力をあはせて一生懸命働きます。アリの巣は地下十數尺も深くトンネルになつてゐることがありますが、こんな大きなお家をいつのまにかこしらへてしまふのですから全く驚く外はありません。それればかりでなく

ア　リの巣は全體が數階の階段になつてゐて、たくさんの部屋にわかれてをりますが、その部屋は食物をしまつておくところ、卵を入れておくところ子供の部屋といふ風にみな別々になつてゐるのです。アリによつては地上に高い塔をこしらへてお家としたり、枯れた木に穴を掘つてそれを巣としてゐるのがありますが、それもみんなハタラキアリがこしらへるのです。それからハタラキアリは子供を育てることもいたします。まづメスアリが卵をうみますと

ハ　タラキアリがすぐその卵を別の部屋に運んで大切にそれを守つてをります。卵は二週間位すると可愛らしい子蟲が生れますが、ハタラキアリは自分の胃袋からお乳のやうなものを出してそれで育てるのです。そして毎朝日光が出るとその子蟲を口でくはへて巣の外につれてゆき暖かい日光にあてゝやります。やがて子蟲はマユをつくつてその中でサナギになり、それから十日もすると始めて一人前—ではありませんが一匹前のアリになつてマユから出てまゐりますが、ハタラキアリはなほ五六日の間は食物をわけてやつたり、いろ／＼の面倒を見てやるのです。ハタラキアリは食物をさがす役目もいたします。大きなミミズをたくさんのアリでひきずつて行つたり

お　砂糖にたかつたりするのはみなハタラキアリです。そのほか敵が押寄せてくると、それと戰爭をして自分の巣を護るのもこのハタラキアリの役目です。皆さんなんと感心なアリではありませんか。

おもしろい蟻の職業

ア　リがお互に助け合つたり愛し合つたりすることは人間以上です、たとへばお友だちが疲れて仕事が出來ないのを見ると、そのおてつだひをやつたりします、お友だちに代つて働いてやつたりします、もしお友だちが大へん忙しくて食事をするひまがないとわざ／＼食物を運んで行つてお友だちにたべさせますし、けがをしたものでもあると、それを助けて巣に連れて歸つたりしますけれども、皆さん自分の仲間にはこんなに友情にあつく、親切ではありますが、他の巣のアリとは大へん仲がわるく、喧嘩をすることが度々あります

喧　嘩は大抵食物のうばひ合ひからはじまるのですが、何百何千といふ澤山のアリが入りみだれて戰ふこともあります、アリは非常に勇敢で、一たび敵に喰ひついたら首がちぎれてもはなれぬ程でいざとなると命を捨てゝたゝかひます、それで、何千といふ澤山入りみだれてたゝかつてゐる時でも敵と味方はちやんと知つてゐるさうです。南アメリカにゐるオルミカサンギアといふアリは大へん戰爭ずきで、よく戰爭をしますが、もし勝敗がつかない時は一時互にある一定の線まで退いて休戰するといふことです、こんなところは人間の戰爭とおなじですね

な　ほアリについて不思議なことをお話しいたしますと、キノコをつくつてそれを食物としてゐる南アリや、アブラムシを飼つて巣のなかにおいて、その蟲から出す甘い汁をのんでゐるアリや、敵の巣を大勢でおしよせて、卵やサナギを敵からうばつてかへり、それを育てゝ家來にしていろ／＼な用事をさせてゐるさむらひアリや赤山アリなどがあります、またメキシコやテキサス地方にゐるアリのうちには「蟻の米」といふ植物だけを殘し、周圍の雜草を刈りとつて「蟻の米」だけを護つてその實をとつて食べてゐる農業アリといふのもあります

そ　して面白いことにはこの種類では勞働アリにも雌にも目がなくて、目あきはたゞ雌だけなのです。しかしたとひ目はなくても觸角が大へんよく利くので不自由しないといふのです、そのうへキラ／＼光る太陽が嫌ひで、夜か曇つた日に働くといふ變りものです、このほかアノマの軍隊アリといふのがありますが、これはトカゲや大蛇などゝ戰つても決して負けないばかりか、カモシカなどを呑んでウツカリお晝寢でもしてゐるうはばみがゐると、たちまちこれを取りかこんで刺し殺してしまふといひます、そしてまたこのアリの大群にかゝつてはけものの王樣の

ラ　イオンやゴリラなどもコソ／＼逃げ出してしまひ、一頭の馬なら二時間ぐらゐで骨ばかりにしてしまふといふことです

アリの子虫　アリも小さいときはこんな白いウジです

ヘビをおそつた兵隊アリ

テキサスの農業アリ

てうちんアリ　これは別の名を蜜蟻といつてお腹にたくはへたところ

うはゞみやライオンもかなはない
アフリカの軍隊アリ
馬なら二時間で骨だけにする

こ　れまでに大分アリの生活についてお話しましたが、最後に一つ面白いアフリカの軍隊アリのお話をしませう

このアフリカの軍隊アリは、きまつたお家をもたず、いつも大きな群をつくつて、アフリカの山や林や野原を別にあてもなく歩きまはり、けふは石の下、あすは木のほらと、その時の都合次第で、どこでゞも休んで、食べ物のあるところへ移つてゆくといふジプシーのやうな生活をしてゐます、この軍隊アリのうちでも一ばん有名なの

剃刀女王

イギリスに「剃刀女王」とみんなから呼ばれてゐる二十一歳の娘さんがゐます、この娘さんは小學校を卒業すると同時に、理髮屋さんをやつてゐるお父さんの手助けをして來ましたが、大へん仕事が早くて、上手で、このごろでは一人の顏剃にはわづかに三十秒しかかゝらないといふから驚くではありませんか、この早さだと一時間に百二十人の顏がそれるわけです

小學六年生の力試し室
お答は來週出します

國語

（一）次の詩を普通の文になほしなさい

生れて潮に浴して
浪を子守の歌と聞き
千里寄せくる海の氣を
吸ひてわらべとなりにけり
浪にたゞよふ氷山も
來らば來れ、恐れんや
海まきあぐるたつまきも
起らば起れ、驚かじ

（二）次の言葉の意味を書きなさい

1、溫和な人となり
2、才氣のひらめく驚壓の壯年
3、研究を大成す
4、我國文藝の上に不滅の光を放つ
5、凡ての物に感謝の念を持ち得る人は幸福だ
6、學識非凡

（三）1、次の言葉を組合せて意味のはつきりした文にしなさい

イ、空がだん／＼
ロ、なつてきた
ハ、時が立つに
ニ、くらくなり
ホ、雨が降りさうに
ヘ、今にも
ト、つれて

2、次の□の中に適當な漢字を入れなさい。

本居宣長は絕えず□□して滿洲の□を受け□□の□□は日一日と□□の度を加へたが□□の□□は松阪の一夜□□さう／＼來なかつた。

（四）1、次の漢字の讀方を書きなさい

イ、上座の老僧（　）
ロ、赤銅（　）
ハ、行燈（　）
ニ、百尋千尋（　）
ホ、波打際（　）

2、次の文字に誤りがあれば正しなさい。

イ、斎音欄（　）
ロ、辨護士（　）
ハ、貸幣（　）
ニ、知職（　）
ホ、全滅（　）

（五）次の言葉を使つて短文を造れ

1、すごく
2、さながら
3、しきりに
4、今にも
5、用を辨ず

前週の答　算術

（1）$\frac{7}{24}$
（2）35錢5厘セバヨイ
（3）10人增セバヨイ
（4）15圓25錢
（5）9人
（9）1時間40分
（7）9：10
（8）26個
（9）300個　200個　150個
（10）甲110個　乙44個

灼熱地獄

鑄物工場　キューパラーの中の鐵が熔解されつくすと、鐵は火花を散らしてレードルに移し込まれる、鐵道工場の中でも一番暑いのは鑄物工場だらう、レードルの鐵が砂の鑄型に流し込まれると眞白い水蒸氣が部屋一ぱいに立ちこめる、屋外に鑄物作業者休憩所といふさゝやかな日陰がある、こゝに僅かに流れる風が鑄物工達に千兩の價を知らしめるのだ、非常時工場は火花の中に活躍を續けてゐる

スチーム ローラー　アスファルトは敏感だ水銀柱の高さに正比例してかたくもなり、又軟かくもなるその上をスチーム・ローラーがガッタン、ゴットンと鈍い音を立てながら往復してゐる、八月の人生をシムボライズするに最もふさはしいものはスチームローラーだらう

機關室　一萬噸級の大汽船の心臓部、限りないメートルをにらみつけながらハンドルを握ると、燒けたゞれるやうなあつさを感じる、通風管を通して僅かに流れ込む涼風、外は涼しからう大海原だ、唯待たれるものは交替の來る時間そして更に待たれるものは上陸の日だ

ボックス　入場人員毎夜千名近くなる映畫常設館、その舞臺には人の活氣と熱氣が全部集まる、解説者も、樂師も皆汗みどろだ、汗ににぢんだ「ダニューブの小波」がナニ涼しかろ、オールトーキーの映畫は樂師と解説者の骨休めだ、だがオールトーキーばかりでは缺の問題、八月はあついゾ、何れにしてもつらい暑い職賣だ、映畫館従業員に幸あれ……

料理場　一日に三度出現する熱氣地獄、ホテルの食堂料理場はやけ切つた瓦斯の臭と湯氣で充たされてゐる、釜や鍋をあげる度にボーッと燃えあがる焔が眞白いユニフオームに反射する、風通しの好い、日陰の食堂でフオークとナイフを動かす人々に、料理場の苦しさは想像がつかないだらう

入場券賣場　博覽會の入場券賣場、バラックのトタン屋根に直射する八月の太陽は火のやうな熱氣を小さな部屋中に立ち罩めさせ體中に汗を湧き出させる、この汗ばんだチケット嬢の手から渡される入場券に一萬圓の券が乘つてゐるのだ、殘暑さはいへ暑苦るしすぎる……

ボイラー室　海にゐて、海の涼風に接することが出來ない、こゝは大汽船のボイラー室だ、石炭粉とススと汗と、そして白熱化した焔と、たゞそれだけのボイラー室だ、鐵、鐵、鐵、ぶッつかりあふ鐵の音が、神經をかき立てゝ狂ひ出しさうになる…

講談　伊達娘恋の緋鹿子　邑井貞吉

上

天和の頃本郷駒込願行寺門前に青物渡世の久兵衛といふ正直者があった、此の人は以前加賀家の足輕であったが、僅かな扶持を貰ひ奉公して居ればとて先づは出世の目的も無い。いつそ町人になつて氣樂に世を渡らうと暇を取つて娘のお七を伴れおみさといふ寡婦の許へ入夫したのです、ところがおみさが考へたのはお七に婿をとれば久兵衛は自分の婿にかゝるのだから都合がいゝが、此方はあかの他人、末は邪慳に扱はれるだらう己れの身内を入れて置けば、何にかの時に勝手が利くと、在所の二合半から甥の武兵衛を伴れて來てお七と縁を纏めやうとしたが、これは不可能です、お七は天人娘と噂される美人武兵衛は誠に醜男でそれに大分低能です、此の配合は些と無理、それでも叔母の言葉を信じ、末はお七と夫婦になれると思つて一生懸命働いて居ります。

時に天和元年正月十二日の夜の十時過ぎに、本郷丸山徳榮山本妙寺の普請小屋から出火し、折柄の烈風に煽られ駒込願行寺門前まで燒け延びて來た。八百屋久兵衛は驚いて、おみさと武兵衛と荷を纏めに片付けて居る所へ刺子を被て手鍵を腰へ佩し頭巾を深く冠つて飛び込んで來たのは、加賀家の火消で傳吉といふ男です

傳「どうも騒々しい事でございます」

久「是れは傳吉さん能く來て下すつた。どうでせうな此の火事は」

傳「左樣ですれえ、恁う煙が來るやうでは助かられえ、早く荷をお出しなさい、後から友達が二三人來ますが、傳吉から聞いて來たと云つたら安心をして荷を渡して宜うがす」

久「有難うございます、そこで傳吉さん、大切なものをお前さんに頼み度いが、それを持つて行つて下さいまし」

傳「宜うがす、此方へお出しなさい」

久「此の葛籠には大切な物が入つて居ります、指ケ谷町の圓乘寺樣は私の菩提所で和尚の日榮さんとも懇意の仲だから、荷物を運んで貰ふ序にお七も一緒に伴れて行つて下さい、お七やお前傳吉さんと圓乘寺樣へ立退きな」

七「それではお願ひ申します」

傳「此の葛籠の上へ乘つて私の肩へ足を掛けて頭へ確り捉まつて居ておくんなさい、手を引いて伴れて行く譯にはゆきませんから、まごついてでも居やうものなら踏み殺されてしまふ」

傳吉は其儘土間へ下り葛籠の連尺へ兩の腕を入れて

傳「サ、お七さん此の葛籠を跨いで足を此方へ出して、頭へ捉まつて」

お七は縮入の上に白地の浴衣を着て手拭で姉さん冠り傳吉の云ふ通り葛籠を跨いで頭巾へ確り捉つた。

傳「もう少し手を上へやつて、それでは目を押へていけれえ、デハ久兵衛さん確にお七さんは預かりましたよ」

と、舁いで飛び出した、二際で是れを見付けた武兵衛が

武「待て〱俺も一緒に行く」

とヨタ〱飛び出したが、服裝が大變、布子を三枚其の上へ長半纏そこへ普通の半纏を着て小倉の帯を胸高に締め、紋羽の股引を穿き、足袋は黒と白の片跛、足が碁を打つてるやう、濃淺黄の手拭で頬冠り、その上から鉢巻をしたが兩端がぶらりと下りと紹の垢すりが附いて居る、如何いふ考へか棕櫚箒を腰に佩し、お七やアーいと飛び出した。傳吉は圓乘寺へ來て見ると墓場は荷物でいつぱいです當寺の別室に預けられて居るのが神田お玉ケ池に邸宅の在る旗本小堀源十郎の嫡左門といふ美男子でした。そこへ傳吉が來て

傳「若樣、お出でになりますか」

右「オ、傳吉か、火事は如何なつたな」

傳「未だ消えませぬが此方は風上ですから大丈夫でございます、就きましては此の娘は豫て御話をしておきました本郷願行寺門前の八百屋久兵衛の娘、お七と申します者ですが、立退所に困つて伴れて參りました、御迷惑でも今晩だけお寺へお置き下さいまし」

左「ア、宜しい共悠然休息して、葛籠は其處へ置いて行け」

傳「お願ひ申します、お七さん今に阿父さんが伴れて來るから此處に居ておくれ、どうぞお願ひ申します」

と傳吉は引返した、これが悪縁の結ぼれとなつた。

中

諸て久兵衛は家は燒けたが、幸福にも怪我はなかつた圓乘寺へ來てお七に會ひ

久「自宅は灰になつたが傳吉さんのお友達が十人も來て異れてすつかり品物は出して下すつた、燒いた物は物置の隅にあつた澤庵の空樽位な物だ。マア幸ひだつた、早速普請にとりかゝる、出來上るまで當分御厄介になつておいで、出來次第迎ひに來てやる」

七「それは結構でした。家が燒けて宜い事があるものですかい」

久「お前變な事お云ひだれ、燒けて」

七「イ、エ御兩親が無事で斯んな芽出度い事はありません。武兵衛さんは生きてゐますか」

久「之れも怪我はない」

七「マアあの人こそ家と一緒に燒けてしまへば宜いものを、助かつたとは生意氣な」

何が生意氣な事があるものですか、家の燒失を幸ひにして普請が出來上つてもお七が歸らない、久兵衛も伴れて行かう模樣も見えない、その内に誰から聞いたか左門との仲が知れた、サア武兵衛が堪らない、久兵衛の媒妁役家主重兵衛の許へ來て委細を話し

武「私も男一日でも二日でもお七を女房にしなければ一分が立ちません、どうか智慧を貸して下さい」

重「困つた男だな、泣く程口惜しければ何とか考へてやらう、何しろ相手のお七がお前を嫌つて居るんだからな、事が仕難い、仕方がないから此上は荒つぽい事をやるんだな」

武「荒つぽく」

重「恁うするんだ、出刃庖丁を呑んで、圓乘寺へ行き、差し逕ひになつて居る處を突き止めて、間男見付けた動くなと飛び込むんだ、向ふの身體へ疵をつけると此方が悪くなるから、出刃庖丁を上の方で振り廻して痛くないやうにちよいと自分の腕へ疵をつけて向ふが斬つたと拵へてお奉行樣へ訴へるんだ」

武「ヘヱ」

重「それで左門の家は立たなくなる、さうするとな、圓乘寺でも世間の手前があるからお七を逐ひ出す、據なく久兵衛さんが俺の所へ内濟にと頼みに來る、その時に思ふ樣油を搾つた上三日でもお七と夫婦にして乾度一分はたてさせてやる、うまくやれ」

と煽つた。悦んでその日の夕方又物を懐中し濃淺黄の手拭を唐茄子冠りにして、圓乘寺の本堂へ沿つて後へ廻ると左門の別室、時は四月の初旬卯の花が咲いてゐる、武兵衛は竹垣の崩れから腰を落して手を突き、夕立の跡で飛び出した蟹のやうな形で中の樣子を見て居ります、とは知らずお七に左門は睦じく

七「マア御覧遊ばせ、卯の花がよく咲いたではございませぬか、それに木の葉も大分青々として參りました」

左「オ、初夏の景色はよい物だな花を送ると又青葉を迎へ、鶯では時鳥も啼くであらう、久兵衛は未だ戻らぬか」

七「もう歸るでございませう、ア、若樣私は永くお手許に居り度う存じます」

左「わしもお前を置き度い、併しお預け中の身の上、それもなるまい」

七「逢ふは別れの初めとは能く申したものでございます、若しお別れ申すやうな事が出來ますれば私は生きては居りません」

聽いた武兵衛が逆上上つた、滿身の血液がカーと一度に頭へ押上つた、垣を打毀しまたと見つけたと左門を望んで突きかゝつた、コレ何をすると拂つた機みに右の手へ輕傷を負ひました、武兵衛は自分を斬る事を忘れて暴れ廻る、お七は驚いて「誰か來て下さい、氣狂ひが來ました」と救ひを呼ぶと寺男が聞きつけて飛んで來ると、持合せた竹箒で出刃庖丁を叩き落し武兵衛の顔を下から上へ撫で上げた、竹だから痛い、ヨロケて縁から庭に落ちる、納所の小坊主がかけて來て無法者めとポカ〱なぐり裸體にして縛り上げた。サア圓乘寺で承知しない、町奉行沙汰になつたが、式を擧げた譯ではなし、只一緒にしてやると云ふ話しに止まつて居る。そこで此の訴訟は無論武兵衛に理がない、武兵衛と重兵衛はお叱り「寺院へ若き男女を一ツ部屋に差し置く放縦な間違ひを生ずる、コレ久兵衛お七を伴れて早々寺を引拂へ、左門には手當を致して遣はせ」と島田出雲守が洵に穏かな裁斷、誰にも瑾をつけない、之れが爲に久兵衛はおみさと別れ、お七を伴れて本郷四丁目に青物商を營んだ。一方若者達の戀は益々燃え立つて來た。

下

或る夕刻お七が洗湯へ行かうと七ツ道具を手拭に包み裏口を出て來ると、擁籬の陰から頬冠りをした男が出て

男「お七さん、一寸顔を貸して下さい。あつしです」

顔を突き出したのを見ると、左門とお七の文使ひをしてくれる植木屋の吉三郎です

七「オヤ吉さんですかい」

と言ひながら傍つて來た

吉「若樣から御傳言がありましたから――」

七「毎度濟みません、お手紙ですかい」

吉「マア、其處へ蹲んで下さい」

己れも腰を蹲めて

吉「扨お七さん、遂々若樣のお家は立たないさうです」

七「アラ左樣なことになりましたか」

吉「昨夜私をお呼びなすつてそのお話さ、で若樣の思召はお家の騒動で死んだ方が大分ある、其の菩提の爲めに高野へ登つて菩提を弔ふ積りだ、それに就てお七に頼みたき事がある、何うか呼び出して此の事を話してくれと仰しやいました」

七「それでは如何いふ御用かこれから直ぐに圓乘寺樣へ伺つて」

吉「それはいけれえ、跡が面倒だ」

七「デモ伴れて來てくれとお前さんに頼みなすつたではございませんか」

吉「それは仰しやつたがアノ本妙寺の火事が縁で、若樣とお前さんが夫婦約束をして、そこへ武兵衛が飛び込んであの騒ぎ、それが基で御奉行沙汰、云はば御奉行樣のお叱りで二人は離れたんだ、今お前さんがお寺へ行けばお上へ濟むまい」

七「デハ如何しませう」

吉「サア火事でもあればだが、それもお前さんの家が燒けなければ如何にもならない。非常の時なら行つたところでお咎めはない筈だ、他人の家を通り抜けたつて誰も叱言は云はない。仕方がないから他人の家では面倒だから、お前さんの家へ放火をするんだれ、もう十六歳だ、十六歳と云へば子供ぢやアない、氣狂ひではございませんさ、若し間違つたならばお役人樣の前で言ひ通すんで、立派に申開きは立つ、世間でも眞逆にお前さんのした事とは思ふまい、さうすれば左門樣に會へるのだが、マア能く考へてごらん」

と悪い智慧を附けた。お七は最早夢中です、其夜家内の寝靜まるのを待つて焜爐へ火を熾し、それを臺十能へ取つて二階へ上り、戸棚から空葛籠を引き出して、綿や襤褸を入れて上からサーと火を入れ團扇で煽ぎ初めた。是れではたしかに火事になる、見事に成功した、戸棚から火を噴き出して、忽ち天井へ移つた、開けて置いた北の窓から吹き込む風に屋根へ燃え抜けた、お七は二階へかけ上り

七「阿父さん火事ですよ、二階から火事が始まりました」

久兵衛は目を覺し梯子を上るとドッと火に煽られて轉げ落ちた。

久「大變だ〱、火事だ、サア皆起きろ、家が火元だから箸一膳、下駄一足出しちやアならねえ、早く逃げろ」

と先祖代々の位牌を懐中し、お七の手を引いて表へ出た

久「怪我はしないか」

七「怪我はしません、大層燃え出しましたねえ」

久「ア、飛んだことをしてしまつた」

七「これから圓乘寺樣へ立退きませう」

久「イヤお奉行樣から云はれて居るから圓乘寺へは立退けません」

七「デモ非常の時にはお咎めはないさうです」

久「何でもお寺は行けない、サア皆さん火元は八百屋久兵衛です、何うぞ消して下さい」

と名主へ訴へた、放火を勸めた吉三郎は暴動不審の廉で中山勘解由の手に召捕れ舊悪が露見した、つてお七の放火も表向となつた、放火の罪は火焙りの刑と定まつて居ました、御奉行の御憐愍もあつたがお七の納めた谷中感應寺の額面が證據となり天和二年十月江戸引廻しの上鈴ケ森で火刑に處せられた、吉三郎は打首の上獄門となる、お七の遺骸は久兵衛が貰ひ受け小石川指ケ谷町南縁山圓乘寺へ葬り、秋月妙榮信女と諡しました。左門は後僧となつてお七の菩提を弔ふ、寶永三年正月大阪の俳優嵐三右衛門が江戸へ來た時に、若女形の嵐喜代三がお七に扮し頗る人氣を取りました（完）

マダム!!
すみませんが
御遠慮願いますヨ
海があふれて
子供が溺れると
困りますから

幸

一年前の回顧

畏し大御心 （八月二十日）

天皇陛下には農山漁村振興資並に日本學術研究振興會補助資として二十日内相、拓相、文相に對し畏くも御下賜金御沙汰があり、三相は午前九時半宮中謁見所に伺候、一木宮相を經て御沙汰書並に御下賜金を拜受、陛下に拜謁御禮を言上して退下しましたが、御下賜金は内務省に三百萬圓、拓務省に三十萬圓、文部省に百五十萬圓で、これは震災御救恤金につぐ巨額のものでありました

わが軍縮全權更迭 （同二十一日）

賜暇歸朝の途にある軍縮陸軍側全權松井石根中將は八月末歸京しますが、同中將はそのまゝ歸任せず軍縮會議休會明けをまつて軍縮首席隨員の建川美次中將と更迭、聯盟總會には帝國代表顧問格で活躍することになりました

第三次臨時議會 （同二十二日）

沸くやうな殘暑のうちにいよ〱第六十三議會が開かれました、二十二日召集日の院内は白扇と白服に彩られて時局匡救臨時議會とはいへ各控室ともに座談會といふ圖柄、前議會からタッタ二ケ月の間に政界に描かれた大波紋、國民同盟の誕生と國家社會黨と社會大衆黨の出現に控室も一變し、舊第一控室は國民同盟に占領され、いはゆる第一控室組の無産中立團は第二天國へ……かくて十時振鈴、九本の氷柱も一向の效めなく、議長氣をきかせて議事はタッタ五分で終了といふ夏らしい議會風景を呈しました

滿鐵殉職社員慰靈 （同二十三日）

滿鐵の殉職社員慰靈祭は毎年十月下旬に行つて過去一年間の物故者の遺族を招いて盛大な儀式を行つて來ましたが、これを約一ケ月繰上げて九月十八日の柳條溝事變當日に行はうといふ議が社内に起るに至りました

雄基、羅津間私鐵 （同　上）

豫て滿鐵から出願中の雄基―羅津間十五キロ三分の私鐵敷設は八月十日附で許可されましたが、同線は廣軌、工費四百四十萬圓でこれによつて多年の問題であつた終端港問題も解決されたわけです

調査報告起草了る （同二十四日）

ジュネーヴよりの入電によりますと、聯盟事務局はリットン卿から二十四日をもつて調査報告書の起草を完了した旨の電報に接しましたが、右報告書はタイプライターで打つた二百ページの本文と七百ページの附屬書から成つた浩瀚なものだといふことでした

排日テロの横行 （同二十五日）

血魂除奸團の排日テロが虹口路方面の邦人にも及ばうとする形勢であるため、わが陸戰隊は一個小隊を日本電信局に配置すると同時に巡邏兵を増加し、邦人に對する暴行勃發すれば徹底的手段を執ることになり、陸戰隊では萬一の場合徹底的手段をとる用意をなし、兵の配置を整へ、支那側の停戰協定違反を監視してゐる故邦人は安心されよと聲明しました

武藤全權入滿 （同二十六日）

日滿兩國の期待を一身に集めて陸路赴任の途にありました初代の駐滿特命全權大使武藤信義大將は、小磯參謀長以下幕僚隨員を帶同して、小雨降る朝霧の中に浮ぶ鮮滿國境を越えて二十六日午後一時着列車で無事奉天につきましたが、驛頭には日滿官民多數の出迎へあり、殊に滿洲事變以來十有一ケ月戰塵にまみれた本庄將軍との對面は歴史的意義を有する劇的シーンでありました

朝　晝　晩

齋藤喜美惠

	朝	晝	晩
日	フルーツサンドウイッチ　ポイルドエッグス　牛乳	人參と[illegible]の白和　燒竹輪[illegible]	すき燒蒸し　白瓜の三杯酢　[illegible]隠元の胡麻和へ
月	里芋味噌汁　鹽昆布	鶏肉と[illegible]　春菊の[illegible]	貝柱と三葉の清汁　豚カツレツ　トマトと胡瓜のサラダ
火	豆腐の味噌汁　辛子漬	あぢの[illegible]　胡瓜酢[illegible]	マカロニスープ　胡瓜とハムの山吹和へ　莢いんげんのから煮
水	小蕪の味噌汁　昆布佃煮	卯の花[illegible]　燒かま[illegible]	とろろ汁　鮑の胡瓜の三杯酢
木	南瓜の味噌汁　燒海苔	茄子の[illegible]　胡瓜も[illegible]	すずき黄味燒　蛤の汐汁　つまみ菜のしたし
金	莢いんげん味噌汁　はぜの佃煮	甘藷の[illegible]　白瓜の[illegible]	かまぼこと春菊の清汁　コーンビーフ　野菜サラダ
土	キャベツの味噌汁　煮豆	里芋で[illegible]　金平牛[illegible]	はもの洗ひ　蟹と三つ葉の卵とぢ　鮪山かけ

家庭滿洲語紙上講座

第廿二課

一 (1)學堂　(2)功課　(3)放假　(4)沒有

二 (1)先生　(2)學生　(3)明白

前週の答

(1)甚麼時候兒起來　(2)我不出門兒　(3)他沒出門兒　(4)你早回去罷　(5)早起來麼　(6)晚上來　(7)已經完了　(8)還沒回來　(9)我要回去　(10)現在在家

【問題】次の言葉を支那語に

(1)學堂が有る　(2)學堂が有る　(3)休みに成らぬ　(4)先生は讀書(勉强)する　(5)判るか判らぬか　(6)學校へ行かない　(7)讀書をせぬ　(8)勉强せぬ　(9)家へ歸つて來る　(10)未だ解ない

滿洲日報
八月十九日發行
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

對日外交政策變更と北支安定の各案承認
黄郛更に宋子文を說得

【天津特電十九日發】黄郛が廬山會議に提議した對日政策の變更、北支部財政の樹て直し、北支軍隊の整理など北支安定各案は承認され、又北支の軍政案は黄郛に一任することゝなつた、而して國民政府の對日方針革新について廬山會議以來奔走中なる黄郛は近く歸國する宋子文を上海で待ち受けて對日方策及び北支那の問題について意見を述べ、宋子文の反省を促すことゝなつたが、この兩巨頭の意見が果して一致をみるや否や頗る注目されてゐる

對日方針轉向を協議
汪外交部長要人を集めて

【上海特電十九日發】外交部長に兼任した汪精衛は十八日羅文幹と事務引繼を行つた後國民政府首腦部の林森、戴天仇その他四十餘名及び西南派の代表陳濟棠と對日外交方針について協議したが難局打開のため從來の如き成行き主義の外交を改めて一定の方針を確立するところあつたが、今次の汪の外交部長就任と共に中央外交方針は重大なる轉換の醞釀あり、これが最後的決定は一に宋子文の國際情勢報告を俟つて行はれる事になつて居り既に廬山會議において蔣、汪、黄の具體的交涉あつたと傳へられ今後數ケ月の中央外交方針の轉向は極めて注目さる

宋の報告を待ち決定か

【南京十九日發國通】汪精衛は十八日午後三時外交部に初登廳、羅文幹の紹介で各部員を引見訓辭を與へることゝなつた

對滿諸政策は性急ではいかぬよ
方針は議定書に明記してある
うすりい丸船中で　菱刈將軍漫談

【うすりい丸にて加藤特派員十九日發】明日の大連上陸を前にして航海三日目の菱刈軍司令官は十九日早朝より例の白絣にタオルなぶら下げたざツくばらんな態度で甲板の籐椅子の上にのけぞり煙管ですぱ〳〵やつてゐる、どこから見ても「おやぢ」の感が深い

若たちは八郎馬といふのを知つてるか、知るまい、八郎馬とは痩せた馬に重荷を負はせるこさぢや、よろ〳〵するぢやろ即ち

八郎馬　ぢや、わし等なんか引つぱり出すのはまさにその感が深い、もつと若手の人が來るべきぢや、滿洲の治安問題？いゝぢやないか、いざとなればどうにでもなる、駐屯軍問題なごでは別に打合せて來なかつた對滿經濟問題、さう性急にはいかぬ、一日が二十四時間である以上二年やそこらでそんなに多くを期待してはいけない、日本が今日になつたのは七十年かゝつてゐるんだ、判つたか、日本は兎角大きなもの寄せて小さなものをつくる、たとへば大阪城のやうなものだがそれではいけない、小さなものを集めて大きなものを造り上げればならぬその點萬里の長城の如く小さな石を集めてあんな大きなものを造る

心意氣　があつて欲しい、經濟政策もこの眞意をよく呑み込むべきだ、附屬地の還附問題は還すべしさいふのと、還さないさいふのと二つの說があるが共に理窟がある、しかし一番男前を見せるか、何れにしても日滿議定書で日本の進むべき途がはつきり記されてゐるわしに入滿の辭を求めるなら武藤前全權の入滿の辭をそのまゝ出すよ、アハ……、兎に角日清、日露の役當時中心になつてやつたものはみんな若かつた、だから今度もみんな若達若いものが一生懸命になるんぢやな

俺は飽まで若い者本位
朗らかな將軍

【うすりい丸にて加藤特派員發】菱刈將軍はすつかり旅の疲れを忘れ早朝から得意の磊落な笑聲が朗かに聞える、波は穩かに向ひ風で涼しい、うすりい丸船長が將軍に五・一五事件の辯を聽く
「五・一五なんてあまり問題にするな、日本人は兎角一寸した事に神經をつかひ過ぎる、そして新聞などが囃し立てゝいけない、三原山でも有名にしたのは新聞ぢや、然しあまり老人を働かしておくといけん、そんな事が若い血氣の者が動かしたんぢやろ、兎に角俺はあくまで若い者本位ぢや、今度も長男の隆教が心配して俺に附いて來るがあ奴俺をすつかり老人に扱つてゐる」
頗る機嫌好く何服目かの煙管をさる

着任當日の埠頭警戒

待ち兼れる我等の菱刈將軍は愈々二十日午前七時半滿外着豫定のうすりい丸にて來連するが、この日埠頭は歡迎に混雜を極めるであらうが、一般警戒に當る水上署員は非常招集をなし御影池民政署長、岡本海務局長、土屋水上署長を始め關東廳局長級少數と記者團は水上ランチにて定刻前三十分出迎へ一方要塞司令部よりもランチを出し警戒に當る筈、又一般出迎への人々は當日に限り埠頭廣場の馬車詰所より進むことを禁ぜられ、ヴエランダには各團體代表者のみ入場を許され、うすりい丸船客の一般出迎人は同船三等乘降口以外差止られることになり、斯くして水上署は埠頭警戒に萬全を盡し大連署はこれと連絡を保ち市內要所の警戒に當ることになつた

日本の社會的不安
人口と就職の不均衡
太平洋會議で上田博士演說

【バンフ十七日發國通】十七日の太平洋會議圓卓會議において東京商大教授上田貞次郎博士は日本の人口問題に關し左の如く演說した
日本の人口問題は出産率の減少によつて解決するものではない、一九五〇年における勞働人口總數は一九三〇年のそれよりも一千萬の增加を見るであらう、從つて年々尠くともこの半數の新就職口が用意されればならぬ、産兒制限は問題を解決しないであらう、蓋し來るべき二十年間の勞働人口は既に生れてゐるからである、日本の社會的不安はこの人口と就職口の不均衡に原因する、日本の如き人口增加の過程にある國民を狹隘な國土に押し込んで置く事は不合理である（寫眞は上田博士）

世界不戰大會
英米佛代表到着

【上海特電十九日發】世界不戰大會は九月三日より上海で開催されることゝなり英米佛代表は十八日當地に到着した

國策協定の效果
非政友系閣僚は多く期待せず
首相側近者も冷淡

【東京十九日發國通】齋藤首相は鈴木總裁との第一回會見に先だち二十二日の閣議席上、鳩山文相よりの進言以後の經過並びに鈴木總裁と會見すべき顛末に關し報告し諒解を求むる筈であるが、政友系閣僚を除く他の閣僚間には一般に齋藤首相が如何なる意味において會見するものであるかの點に關し疑義を持つものが多い模樣で、殊にその效果については悲觀說が多く早くも右會見の成行きに關し多大の危惧が拂はれるに至つた、卽ち鈴木總裁を中心とする黨首腦部においては政府との政策協定を極力具體化せんとするに對し、首相並びに側近者においては政策問題については全く冷淡なる態度を持し、會見に際しては單に「現下の非常時局に對する認識を深める」を以て第一となし、政友會が政策問題を提へて政府に迫る場合には第二次、第三次の會見の如きは益々困難となるかも知れぬ氣色を示してゐる

第一回會見では政策を提示せず
政友會側の態度決定

【東京十九日發國通】鈴木總裁は齋藤首相との第一回會見においては單に首相の話を聽きおく程度に止め鈴木總裁より政策を提示することを差控へ、若し政友會の實行せんとする政策を聽かれた場合は一應黨幹部共相談の上、何れ御挨拶する旨を述べて直に長老會議を招集し會見顛末を報告して協定に提示すべき政策について意見を聽取し諒解を求め、更に幹部會の議を經て自から齋藤首相を訪問しその際政策を提示して協定を開始することに方針を決定した、而して政策協定の範圍については鳩山文相を始め黨首腦部が成るべく大綱に止めんとしてゐるに反し、鈴木總裁は今なほ頑として當初の意思を枉げず十八日朝來鳩山、安藤、中島氏等が相次いで總裁の心境緩和に努めてゐるが、依然として政府が曩に發表した十三政綱とか我黨の中間報告をなした三大指導精神とか十大政綱とかは單なる抽象論であつて、何人も異論のある筈がなく、從つて只これだけを協定したのでは全然無意味であると稱し、未だ心境が緩和せられ居る模樣なく、此儘の狀態で進む時は如何なる暗礁に乘あげぬとも限らずとて憂慮されてゐる

蘇聯代表に誠意無く北鐵交涉續行は無用
滿洲國側愈よ最後の肚

【東京特電十九日發】北鐵問題交涉はソウエート側が讓渡價格五千萬ルーブルを減額し問題は金ルーブルの換算率協定に集中された如く見えて會議の前途を樂觀されたが、これはソウエート側の會議引延し策の現はれで、十七日の會議において滿洲側が各自の最後案を持ち寄つて一擧に決定せんと提議したに對し、ソ聯側は更に本國より專門委員の派遣を求めて協定せんと述べ誠意なきのみならず、盛に宣傳政策により日本、滿洲兩國の輿論攪亂を企て日本の實業界に向つては若し問題が有利に解決せば賣却代の半ばは日本商品購入に充てると稱して側面運動をなしつゝある事實があるので、滿洲國代表は相手國が何時までもかゝる無誠意の態度をとる以上この上會議を續行する必要なしといよ〳〵最後の肚を決めるにいたつた

滿鐵囑託將校增員

滿鐵では事變後鐵道營業の擴大に伴ひ從來の如く囑託將校二名では到底關係筋と軍事輸送、鐵道警備等に關して圓滿な連絡を保つことは不可能であるため、實際上總區司令部その他の關係において滿鐵事務をその他の將校に囑託してゐたが、今回正式に十九日附の社報を以て左の三將校を囑託將校として發表した、なほ左記三氏は鐵道部、鐵路總局、建設局の運輸關係事務を掌る筈で、今回の增員により滿鐵の囑託將校は會社全般の政策に參與する後宮大佐をはじめ運輸關係五名の多數となつた

陸軍步兵中佐　佐藤要
陸軍步兵少佐　三原修二
陸軍步兵大尉　市田一貫

會社事務を囑託す（各通）

地方事務所長異動

滿鐵地方部では山岸四平街地方事務所長の海外留學に伴ひ十九日附を以て地方事務所長の異動を發表したが遼陽地方事務所長には沖體育係主任が拔擢された

四平街地方事務所長　山岸守永
地方部勤務を命す
遼陽地方事務所長　石岡武
四平街地方事務所長を命す
學務課體育係主任　沖彌作
遼陽地方事務所長を命す
學務課圖書館係主任　下田一夫
體育係主任兼務を命す

中村軍司令官歸津

【天津十九日發國通】停戰後の戰區視察のため山海關方面に赴いて居つた中村駐屯軍司令官は本日午後八時歸津の筈である

人事

うすりい丸　二十日午前七時半大連滿外着豫定
▲福本義亮氏（神戶商議會頭）十八日はとで來連
▲大阪教育會見學團一行二十名十九日出帆たこま丸で內地へ
▲佐藤敬三氏（青島海務協會事務理事）十九日入滿の青島丸にて青島より來連
▲杉浦忠雄氏（關東廳高等法院長）十九日午前八時着列車で來連
▲下田勝久氏（同檢察官長）同上
▲久下沼英氏（同監察官）同上
▲古川達四郎氏（北鮮鐵道管理局次長）十八日午後七時五十分列車で着連
▲孫輔忱氏（吉林省實業廳長）十九日朝はとで北行
▲石本鏆太郎氏（大連市會議員）同上
▲大河戶宗治氏（東大敎授）同上
▲坂田修一氏（滿電人事課長）同上
▲松崎直人氏（陸軍中佐）同上
▲青木一男氏（大藏省外國爲替管理部長）同上
▲神成季吉氏（前周水土地建物會社專務）二十二日離連歸國につき十九日暇乞の爲め各方面訪問
▲賀田直治氏（京城商工會議所會頭）日滿實業懇談會出席の爲め滯連中の處十九日歸京
▲伊藤正懿氏（同所理事）同上
▲太田弘氏（仁川商工會議所副會頭）同上

產業視察團
けふ平壤へ向ふ

【安東電話】本社主催滿鮮產業視察團一行は十餘日に亙る新興滿洲國の產業經濟狀態の視察を滯りなく終へ豐富な認識をお土產に十九日午前八時滿洲に別れて平壤に向つた

全國商業學校長一行

十八日午前八時三十分鄭總理を訪問し決議文を賀辭を呈した（寫眞は賀辭を述べる學校長連）

滿蒙素描（2）
安岡（？）　文並に書

鷄冠山驛に來たときには雨が降りやみ、雲が晴れて、涼しい夕風が車窓から流れ込んで、あたりの山々のみごりはやはらかに潤かつた。

驛舍をめぐつて、掩堡と、その掩堡を圍む鐵條網が張り廻され、そして武裝の警官と若い兵士と、驛員たちが立つてゐた。

「滿洲に來たのだ——」

異樣な空氣がヒシと胸に來る。

馬賊の襲來に備へたものである。

馬賊——馬賊——馬賊——滿洲の癌だ。その癌がまだ幾らか殘つてゐる、その馬賊が蠢動する高粱の繁茂期に近づきつゝある。

また、低い高粱は、そよ〳〵と風に吹きなびいてゐた。

ふと、驛舍の方を見ると、十六七の內地人の美しい少女が、たつた一人、鐵條網の外側に立つて、浴衣の袂を夕風に飜らせつゝ、じいつと列車を眺めてゐた。

このあたりは小馬賊、大馬賊の各産地だ。もしも、驛の背面のこんもりと茂つた林の中から馬賊が現れて來たら、少女よ、お前はどうなる——私はそんなことを考へたりした。

大空の星はキラキラに輝いて來た。

少女の瞳はその星にそゝがれたらしく、白い顏を上向けにしたとき列車は發車してしまつた。

食堂車へ入つて行くと、そこにはシヤツ一枚になつた連中が、ビールの泡を吹きながら、大きな聲で滿洲をどうする——さういつた議論をそこ、ここで交してゐた。

初めて來たものが多いらしく、たゞ、夢に滿洲を描いてゐた。

滿洲景氣に煽られて、無目的にやつて來た連中が五分と見てよからう。——やがて、十日もたゝないうちに、失望してルンペン職しかさりつくことのできない哀れさを知るであらうと私は考へた。

滿洲は徒らに大言壯語をさせるための滿洲でないのだ。けれど、彼らはたゞ大言壯語の世界としか考へてゐない風にある——そこへ七八人の娘子軍一隊がどか〳〵と入つて來た。

腰かけるところがなかつた。それでも、通路に立ちふさがつてボーイたちを面喰はせてゐる。中には浴衣の裳をめくり、すこし紅いものを平氣でチラつかせてゐる。

無言裡に「滿洲」を笑ひの中に呑み込んでしまふ戰士らしさがある。

やがて、一隅の席が空くと、そこへ目白押しに腰かけて

「ビール」

「小豆アイス」

と叫んだ。

「アイスクリームならございますが、小豆アイスは食堂車にはございませんので」

ボーイはペコリとお叩頭した。

小豆アイスが最上のものとしか知らない日本の女たちであつた。笑ふに笑へない哀れさがある——

蛇㐧

◇いよ〳〵あす、菱刈全權入滿、巨星、新に滿蒙の空に輝く。

◇その全權の「州內」……におもしろし。

◇百の議論より一の……空論家、將軍の前に……

◇五・一五事件、陸……秘は、法の峻嚴さ……

◇裁く者、裁かる……心なきを喜ぶ。

◇看守長がスリを……そ直接取引きの見本……

東天紅（175）
田中純一三書　林

父の心（二）

松波老人が箱根の宿に歸つて行つた時、晶子はまだ舞踏會から歸つてゐなかつた。宿の女中に訊くと、彼女は富士屋ホテルに行つてゐるとのことだつた。憤懣と嫉妬と汽車旅とに疲れ果てた老人は、その上、舞踏會などに行く勇氣もなく、その儘風呂に入つて床に就いたが、そこへ、晶子が、今夜の發見に顚倒して、歸つて來たのである。

「ねえ、あなた、わたし今夜、えらいものを見つけて來ちやつたわよ」

松波の姿を見ると、晶子は、老人がどうして、今夜此處に歸つて來て居るかを訊くのさへ忘れて、いきなり、そんな風に話し出した

「ふむ、何ぢやれ、それは？」

老人は、今夜、潤子のところへ寄つたことを、晶子に話さうか話すまいかと迷つて居るところだつたので、彼女がそんな風に、自分の話しに夢中になつてるのを、むしろ好都合だと思つた。

「それアもう、えらいこと。でも、あなたなんぞ、想像もつかないことだけど……」

言ひながら、晶子は、着物を着換へないで、松波の寢床に摺り寄つた。

「何ぢやれ？わしに關係があることかれ」

「それア何處でだれ」

老人の聲には、驚きも何もなかつた。

「ホテルの舞踏會で」

「ふむ、それなら別に、不思議でも何でもないぢやないか。今頃の若い娘ぢやもの。舞踏會くらゐ行くぢやらうし、鎌倉まで來て居れば、箱根に來るのはわけのない話だし……」

「ところが、そのパアトナアが誰だと思し召して？あの、うちの鮎子の相良だから、驚くぢやありませんか」

「ほう、相良され……」

木彫の面のやうな老人の顏に、初めて、輕い驚きの表情が現れた

宅のお孃さん、どうしてらして？何か樣子をお聞きにならなかつた？」

「うむ、あれかね。あれは、この十日ばかり、鎌倉か何處かへ行つてるさうぢやよ」

「誰にお聞きになつた？」

「女中がさう言ふとつたよ。鎌倉へ行くと言うて、出て行つたつて」

「まア、呑氣なお父さんだこと。そんなことでは、誰に何を騙されたつて、屹度、お氣附きにならないわれ」

「そんなことがあるものかれ」

その言葉で、はしなくも、今夜の潤子の家でのことを思ひ起させられた松波は、われにもなくむつとして言つた。「それでは、鮎子が鎌倉以外の、何處ぞへ行つとるとでも言ふのかい？」

「勿論よ。しかも、それが、この箱根の宮ノ下なんだから、驚いたでせう」

「しかし、それアお前さん、こなひだも、さう言ふとつたぢやないか。自動車の中から、鮎子らしい娘を見たとか見なかつたとか」

「ところが、今夜は、ぱつたりと會つたのですもの。而も、一緒にお茶まで飲んだのですから、人違ひでも幽靈でも、何でもありませんわ」

陸軍側被告全部に禁錮八年を求刑
陸刑法第廿五條第二號を適用 けふの軍法會議で

【東京十九日發國通至急報】昨昭和七年五月十五日突如帝都を鮮血に彩り恐怖日本を現出せしめた五・一五事件の陸軍側被告元士官候補生後藤映範(二五)外十名に對する軍法會議は去る七月二十五日以來西村裁判長係りの下に靑山第一師團軍法會議法廷において前後七回に亙つて開かれ、白日下に事件の全貌を露はし來つたが十九日午前八時より開廷された第八回公判で匂坂檢察官より全被告に對し峻嚴なる論告の後、陸軍刑法第二十五條第二號後段に依り全部禁錮八年を求刑された、時に九時三十七分この日百二十名を容れる傍聽席は一名も餘さず埋められ滿廷息づまるやうな緊張の裡に各被告とも嚴然として法廷に臨み檢察官の論告求刑に對し深淵の如き沈着な態度を示してゐた

【東京十九日發國通至急報】反亂罪を以て公訴を提起された五・一五事件陸軍側被告後藤元士官候補生等十一名に對し十九日午前九時三十七分第一師團軍法會議法廷にて匂坂檢察官より左の如く陸軍刑法第二十五條第二號後段に依り全部禁錮八年を求刑された

元士官候補生 後藤映範 禁錮八年
同 中島忠秋 同
同 八木春雄 同
同 篠原市之助 同
同 石關榮 同
同 金淸豐 同
同 野村三郞 同
同 西川武敏 同
同 菅勤 同
同 吉原政巳 同
同 坂本兼一 同

陸軍刑法第二十五條

【東京十九日發國通至急報】本日の反亂罪求刑に於て適用されたる陸軍刑法第二十五條は左の如し

第二十五條 黨を結び兵器を執り反亂を爲したる者は左の區別に從つて處斷す

一、首魁は死刑に處す
二、謀議に參與し又は群衆の指揮を爲したる者は死刑若しくは五年以上の懲役又は禁錮に處し(以下後段)その他諸般の職務に從事したる者は三年以上の有期の懲役又は禁錮に處す
三、附和隨行したる者は五年以下の懲役又は禁錮に處す

論告要旨

【東京十九日發國通至急報】今日の陸軍側反亂被告事件に關する第一師團軍法會議檢察官法務官匂坂春平氏の論告は午前八時開始され九時三十七分に終了したが右論告要旨は半紙十八枚に謄寫されたもので緒言を始めとし左の項目に別れてゐる

緒言
第一 事實論
一、公訴事實に關する證明に就いて
二、本件事犯の重大性に就いて
三、本件事犯の動機に就いて
四、本件事犯の目的に就いて
五、本件事犯の原因に就いて
第二 法律論
一、被告人等の身分と陸軍刑法の適用に就いて
二、被告人等の行爲と反亂罪の成立に就いて
三、被告人等の反亂罪狀の地位に就いて
四、被告人等の行爲と反亂罪以外の罪名との關係に就いて
第三 情狀論
第四 求刑

尙情狀論と求刑は前に謄寫に附せずして論告を傍聽新聞記者に筆記せしめたが其他の調書は一切廷內の筆記を許さずして嚴重に憲兵をして警戒せしめた

證人申請を行ふ 井上日召は動かぬ處 廿三日の海軍側公判

【橫須賀十九日發國通】海軍軍法會議は二十三日の第十七回公判で全被告の事實調べ終了となるので辯護人團は十八日午後橫須賀水交社に證據申請に關する協議をなした結果、二十三日の訊問終了の直後證人申請を行ふことに決定した、その內容は極秘に附されてゐるが殆ど全部の被告と關係を持ち然も各被告から信頼されてゐる血盟團の井上日召が申請される事は先づ動かぬものと見られてをり、この他にも被告等を最も憤激せしめたロンドン條約關係で當時活躍した豫備役の將官や被告の同窓等が申請されるものと觀測されてゐる、日召は故藤井少佐と共に事件に重大關係を持ち五・一五事件の先驅をなしただけにこれが證人に採用となれば各被告と法廷で相見える劇的シーンとなるべくその採用如何は最も注目さる、尙證人申請全部却下となれば二十八日證據調べに入る筈である

心も千々に亂れ 新婚の夢傷し
失職した悲しみを打明け得ず 罪を重ねて鐵窓へ

【新京電話】新婚の夢まどらかな日も一瞬にして消え失職に伴ふ生活苦から遂に全滿を股にかけた大詐欺團の群に投じ滿洲國官吏の名譽を僅かに新妻の前につくろつてゐたものの天命のいたすところ一切を明るみに曝け出され今では鐵窓の奧深く人生の果敢なさを嘆いてゐる男がある――原籍大分縣中津上宮永町四、當時新京旭通京都旅館止宿天ケ崎六郎(二七)といふ滿洲國被服廠の元官吏であるが、性來放縱な彼は月々の給料では使ひ足らずふとしたことから遂に本年六月十日需要處の官吏と詐稱し森野書店から九十五圓餘の釣錢詐欺を働くにいたり、その後一時被服廠には病の保養と稱して歸國し當局の目を逃れ鄕里において現在の妻花子(二二)=假名=を娶り七月三日再び任地新京に歸來し前記京都旅館に止宿してゐたが成績不良の故で七月十日附職を免ぜられるにいたつた、彼としては新妻の手前打明ける勇氣もなく悶々として日を送るうちふとしたことから山田某と知り合つた、この山田某こそは昨年末以來大連、奉天、新京その他全滿を股にかけて惡事の限りをつくし當局の目を巧に逃れ新京に潛伏中のもので天ケ崎は山田と結託し七月二十八日大和藥房、同三十日船越商店、バレー洋服店などから滿洲國官吏と詐稱して二百五十圓の釣錢詐欺を働き最後に池畑自轉車店から同樣詐取せんとしたところ失敗し遂に惡運つきて新京署の手に逮捕されるに至つたものである、共犯者山田は逸早く逃走し行方を晦ました 當局では目下嚴重捜査中である

殆んど賣約濟み 各特設館の出品物 人出盛なけふの滿博

數日來の熱風影をひそめ尾ケ濱より訪れる爽やかな涼風に加へて曇空と土曜とに惠まれて十九日午前の滿博はかなりの人出を見た、開會以來二十數日各特設館の出品物は殆ど賣約濟みとなり打續く種々の催し物の素晴らしい滿博景氣に煽られて氣を好くした各特、私設館は餘すところ十二日最後の宣傳に必死の陣を張つて係員一同大童である

子供の國のカメラデー あすの日曜

滿博內本社主催の「子供の國」では開催以來一般入場者への奉仕として日曜毎に各種デーを催し好評を博して來たが更に明二十日の日曜日には入場子供のため「さくらカメラデー」を催す事になつた

この「さくらカメラデー」は大連初めての催しで寫眞の好きな坊ちやん孃ちやんの爲め午前十時から午後四時までの間開催し希望の者に限つて會費三十錢を支拂へば子供汽車乘車券共通の參加章を渡す事になつて居りこれと引換にフヰルム四枚撮を貰へるから備へ付けてあるさくらカメラの貸與を受け國內好きな場面を思ひ思ひに撮影する事が出來るのである、この催しには西通り木村洋行支店が多大の犧牲を拂ひ右さくらカメラ三十個を備へ附けこれを參加者へ貸與するのみならずどんな素人の子供でも完全に撮影出來るやう係員が手を取つて懇切丁寧に敎へて呉れ、而かもこれを係員に渡して子供列車に乘り子供の國を一周して歸る間に無料で現像も燒き付けもして出來上つたものを寫した坊ちやん孃ちやん方へプレゼントする事になつてゐる、寫眞を習ひ度い坊ちやん寫眞の好きな孃ちやんには絕好の機會であり、且つ父ちやんや母ちやん方にとつても又と得られない好いチヤンスである

飛行機に乘つてゐる無邪氣な子供達、汽車に乘つた樂しい集ひ、また無料休憩所の一家團欒などこれをカメラに收めて置く事も滿博永久の記念となるから是非この機會をのがさず利用して貰ひたいと

スポーツ一束

硬球庭球戰 州內對州外對抗の 明廿日中央公園內

本社盃爭覇の州內對州外對抗硬球庭球戰は二十日午前九時より中央公園滿鐵硬球部コートに於てシングルス七組、ダブルス四組出場の上擧行するが兩軍メンバー交換の結果出場選手左の如く決定した、尙オーダーは當日朝交換の筈

州內軍 小寺、伊藤、吉田、小林、新井、茶岡、櫻井(以上滿鐵)

州外軍 中村、野田、村田、藤田、平田、菅原(以上奉天)則生、福間、白石(以上新京)

市民射擊會 明二十日開く

大連市民射擊會では二十日午前八時より春日池同會射場において第二十八回拳銃射擊大會を左記規定の下に擧行する

▲受附時間 午前十一時限り ▲姿勢 立姿 ▲距離 三〇米 ▲射彈 五發連射 ▲使用銃 射擊用コルトを除き他は隨意(但しモーゼル一號は臺をのぞく) ▲射票料 會員二十錢會員外四十錢(但し彈藥は自辨とす) ▲再射料 初射と同額

土中に埋めて毆る蹴るの虐待
海賊に捕へられて七十日間 第一桂丸船長歸る

去る五月二十二日黃河々口において海賊のために拉致され死線を彷徨すること七十日其の間身代金を强要生埋めされたり或は目前人質三人の殺害される血を見ながら幸運にも支那官憲のため救出された漁船第一桂丸船長山下嘉一氏は身柄引取の爲めに靑島に赴いた船主田中矩一氏に連れられ十九日午前十一時入港の靑島丸で歸連した、埠頭には三ケ月ぶり奇蹟的に歸つて來た夫を迎へるすみ子夫人と一人息子の澄男君が喜びの顏を輝かし待ち設けてゐた、眞黑に陽やけした山下船長はおそろしかつた遭難話を語つた(寫眞は歸つた山下船長)

捕へられた人質は日本人私一人と支那人が二十三人でした、我々を連れた賊は黃河上流の淺瀨ばかりを引廻しかくれてゐたのです、河の深いところへ行けば支那官憲に發見されるので極力避けたらしく七十日間頭目の名前は遂に敎へてくれませんでした、この間食物と云へば徹頭徹尾粟飯ばかりで鹽一つくれず毆る蹴るの虐待で遂には步けない程疲勞しました、最初賊は二萬圓の身代金要求をなし主人にこれを書けと責められ遂には肩まで土中に埋めて虐められましたが、百圓も金はないからと頑張りました、後で靑島總領事館で聞くと賊の手で書いた四千圓身代金要求文が來てゐました、我々の幽囚中人質二人の支那人は河中に叩き込まれ斬殺され六十餘歲の老人は毆り殺されましたが、それを見て生きた心地はしませんでした、幸ひ八月二日に支那官憲が來て三十分餘の遭遇戰の後助けられましたが當時は步く力もない程弱つてゐました

間もなく船が岩壁に着けば親子三人無事の顏をみて喜びの淚を滲ませ乍ら友人等に圍まれ歸つて行つた

二名窒息絕命 投身兵を救はんとし 大村聯隊の古井戶で

【大村十八日發國通】大村四十六聯隊第二中隊一等兵山川淸治(二三)は十八日午後二時頃行方不明となつたので行方捜査中聯隊より數町先の深さ三十尺の古井戶に投身せしことを發見、伍長井上政治(二三)が救助に這入つたが出て來ぬので軍曹長好富朗(二二)が這入つて行つたがこれも上つて來ぬので聯隊は大騷ぎとなり漸く三名を引揚げたが毒瓦斯充滿してゐた古井戶に這入つたゝめ窒息絕命してゐた、小川一等兵は病身のため世をはかなみ投身自殺したものらしく他の二人は全く部下の犧牲となつた譯である

師匠間の暗鬪に內紛漸く深刻
あと四名の老妓出演承知せず その後の紅燈異變

大連老妓連の一部が依然博覽會演藝館に出演を肯んぜず爲めにこれが裏面の策動者と目されてゐる女紅場師匠西川照松師に對する非難の聲が高まり、いよいよ近く組合員有志の手で女紅場臨時總會を請求し西川師解職案を叩きつけることゝなり、內紛はますます深刻化さんとしてゐる、卽ち女紅場役員會では猪森理事長の辭表を保留し西川師を通じ出演せぬ九名の老妓連に對し十八日朝以來出演方を交渉中であつたが、同日五名のみ漸く出演し、あと四名の老妓は頑として出演せず、これが爲め一部組合員は「市及び協贊會に迷惑を及ぼし、また多大の費用を投じてわざわざ內地から師匠、顧師衣裳まで取寄せた大掛りな計畫は水泡に歸した、しかも出演拒絕の直接原因は師匠間の暗鬪に基くもので私憤による影響を市の事業にまで波及させた西川師の責任輕からず」となし俄然排斥の手が揚げられたものであるが、西川師の裏面にはダンスホール反對派の有力者が控へてをり、紛糾の擴大を豫想されてゐる

三軒に對し營業停止 滿博內遊戲場

滿博內遊戲場は營業許可以來未だ日淺きにもかゝはらず續々取締命令違反者が現れ、遊戲場本來の趣きを全然失ひ、夜間の如きはあたかも一大賭博場を現出するの感があり、一般市民中にも非難の聲が高いが所轄沙河口署においても嚴重調査を行つた結果、遊戲場の許可を得て一種の利權として他人に讓渡してゐるもの或ひは營業取締規則第三條に依る命令條項に違反して純然たる賭博行爲を行ひ、或は規定時間後までも營業を續ける者のある事を確めたので遂に斷乎たる處置に出ることゝなり十九日午後市內元町四四松村音三、濱町四丁目佐々木藤吉、聚德街三丁目天野ツギノ外七軒の遊戲場に對し營業停止を命じ更に營業權を讓渡してゐるもの三軒の營業許可取消を命ずることゝなつた

母國訪問の青年劍士 廿一日着連

北米武德會々長の主宰する在米同胞第二世教養團靑年劍士の母國訪問武者修行の一行は去る七月六日橫濱入港の大洋丸で歸國、內地各地を訪問交歡し十七日朝鮮經由新義州より滿洲に入り奉天、新京を歷訪し來る二十一日十九時五十分着はとで着連することになつた、滿鐵運動會劍道部では來る二十二日午後三時半より大連道場に一行を迎へて歡迎稽古を行ふ由一行のメンバー左の如し

團長中村藤吉 ▲男子部 二段助金早大(二〇歲)ワツソンヒル高等學校學生、初段今田辰雄(一七歲)サクラメント高等學校學生、初段原秋雄(一八歲)フロリン高等學校學生、初段松宗正行(一七歲)サリナス高等學校學生、初段山下正喜(一七歲)センタビル高等學校學生、初段中野次雄(一八歲)メンロパーク高等學校學生、一級龜井一(一五歲)サクラメント高等學校學生、三級田中武利(一六歲)サクラメント高等學校學生 ▲女子部 初段樋口芳子(一八歲)モントレー高等學校學生、初段眞壁カオル(一九歲)オーブン高等學校學生、三級田村末子(一七歲)サクラメント高等學校學生、二級脇田マリ子(一八歲)サクラメント高等學校學生、少年初段岡本フチエ(一三歲)サクラメント女學生

柔劍道教師 選任決定す 滿鐵運動會

滿鐵運動會では昨年四月各支部囑託の柔劍道教師を解職し大連本部、奉天、撫順兩支部より專任武道教師を派遣の上稽古にあたつてゐたが何分廣範圍と專任教師少人數のためかなりの不便を生ずるので再び各支部においてそれぞれ武道教師を委囑することになり本部で種々人選中のところ左記の如く決定それぞれ發表した

▲沙河口道場 星野仙藏(劍道五段)吉田四一(柔道五段) ▲瓦房店道場 楠原金一(劍道三段)瀨之口長春(柔道三段) ▲大石橋道場 菱川裕一(劍道四段)柔道は目下人選中 ▲遼陽道場 淸水庸三郞(劍道敎士)橫山政雄(柔道三段) ▲鐵嶺道場 橫山信太郞(劍道五段)佐々木武三郞(柔道五段) ▲開原道場 竹下桑治(劍道四段)阿部育三(柔道五段) ▲四平街道場 佐藤彌作(劍道四段)長澤榮太郞(柔道四段) ▲公主嶺道場 田代敏行(劍道三段)通山峻突(柔道四段) ▲新京道場 佐藤倉之助(劍道五段)內海賞雄(柔道二段) ▲本溪湖道場 淵田兼光(劍道五段)今里新吾(柔道四段) ▲安東道場 三浦四郞(劍道三段)吉岡正隆(柔道三段) ▲鞍山道場 增田六郞(劍道五段)山浦新治(柔道五段) ▲營口道場 目下人選中

漕艇大會を開く 九月三日埠頭構內で

昨秋復活第一回の漕艇競漕を擧行した滿鐵運動會漕艇部では既報の如く來る九月三日第二埠頭構內內地定期船發着點前に於いて第二回漕艇大會を華々しく擧行するが主催者たる滿鐵運動會漕艇部では今春オリンピック派遣選手早大出の酒井を始め日大出の高木、大出の外崎、東京帝大出の金子、齋藤の東都學生漕艇界名選手を迎へたので昨年大會より一層盛大にくすでに諸準備を完了し大阪商船の好意に依り當日碇泊中の定期船を觀覽席として開放することになつた

又千米の選手競漕土肥盃爭覇の傍系會社競漕並びに色別け競漕等に出場する各クルーは愈々本格的練習に依り時ならぬ活氣を呈して居るが本年は特に今秋東京隅田川に於いて擧行される明治神宮體育大會漕艇大會に滿洲代表チームを派遣することに決定し來る大會を第一豫選として同大會優勝の滿鐵漕艇部クルー、滿鐵色別優勝クルー、招待レース、優勝實業クルーの三クルーを以て更に十日決勝レースを擧行して代表クルーを決定することになつて居るので異常なる興味をもつて迎へられて居る

尙競漕種目左の如し

▲選手競漕(六人固定艇) 距離 千米
▲一般競漕 (イ)各寮對抗競漕 距離千米 (ロ)一般競漕 距離七百米
▲招待競漕 (イ)傍系會社及びその他官廳銀行、會社 距離千米 (ロ)專門學校以上競漕 距離七百米 (ハ)中等學校競漕 距離七百米
▲色別競漕 距離千米

日滿美術協會展

日滿美術協會では豫てから內外知名士の書畫を蒐集してゐたが今回一般の希望に添ひ十九日二十日の兩日毎日午前八時から午後六時迄市內伏見臺南滿洲工業專門學校內に於て日滿知名士二百餘名の筆蹟展覽會を開催してゐるが當日特に北平胡東曉畫伯の作品をも併せて展覽してゐるので來觀者を喜ばせてゐる入場隨意

全國中等野球 平安勝つ 對松山中學校

【大阪十九日發國通】中等野球準決勝平安中學對松山中學は十九日午前十時平安中學先攻で開始結局四對零で平安勝つスコア左の如し

平安	000	030	100	4
松山	000	000	000	0

聖愛醫院の醫藥集談會

聖愛醫院醫藥集談會八月例會は二十一日(月)午後四時より本院講堂において開催すると
一、腰椎穿刺後頑固なる「メニンギスムス」の一例(桑野松)一、急性化膿性疾患の非觀血的療法に就て(牛久昇治)一、再歸熱に原因せる急性漿液性腦膜炎二例(城野寬)(松岡杏太郞)一、慢性モルヒネ中毒に「イスモリジン」療法を奏效す(西川寛)

大連實業團 市旗を返還

大連實業野球團は十九日午前十時市役所に小川市長を訪問市長應接間に於て過般都市對抗野球試合に貸與を受けて行つた代表市旗の返還を行つた

常安寺坐禪會

天神町常安寺では來る二十日午前六時より當例の坐禪會開催せられる由

藥學會總會

滿洲藥學會にては來る二十日午前九時より市內敷島町靑年會館にて第二十五回總會並に學術講演會を開催するが尙講演終了後中央公園內西園亭にて懇親會を催す筈

二十日

南西の風驟雨模樣後晴れ

滿潮(午前 一〇時一〇分 午後 一〇時二〇分)
干潮(午前 三時一〇分 午後 四時四〇分)

各地溫度(十九日午前十一時)
大連 二五 奉天 二四
旅順 二四 新京 二三
營口 二四 新義州 二六

けふの小洋相場(九時) 金百圓は一二七圓七五錢

善鬼惡鬼 (172)

平山蘆江作
刈谷深隍繪

轟道場 (三)

武者窓には何もの、かげも見えなかつた。

「さあ、かゝれ」

五郎兵衛は泰然として弟子たちに催促する。

「はい、かかります」

エイ〳〵と又、一しきり、素早い不意打ちと、はげしい突込みがあつて、五郎兵衛の片手劍法鮮かに切つぱらつた時

「五郎兵衛、其方は不愍な奴だ」

武者窓から又しても聲があつた憎らしいほど落付いた聲だ。

「卑怯もの、面を出してものをいへ」

五郎兵衛は武者窓に向つて一喝をくらはした。

門弟たちが五六人、ばら〳〵と武者窓に向つて走つた。

「捨てゝ置くがよい。相手は判つて居る」

ぴたりとゞまつた。

エレキテール、さはるものは、何者たりとも黒焦に燒き捨てる怖ろしいエレキテール。門弟の若侍たちは、ハツとして立ちすくんだ。五郎兵衛一人、悠々と窓際に立つて

「重太郎。これへ出い」怒鳴つた

「ふん、道は五郎兵衛だ、エレキテールの怖ろしさを知つて居るな」

瀧樂齋の蒼白く骨ばつた顔が、窓の向ふにあらはれた。

「怖ろしいものか、それしきのもの、よけるにはよける法がある」

「何とでもいへ。不愍千萬な馬鹿ものめ」

「不愍とは何だ、いはれを聞かう」

「よし、手短に教へてつかはす、兄弟のよしみと思つてありがたく聞くがよい」

五郎兵衛は云つた。

「併し――」

「かまはぬ〳〵、隣に住んでゐる馬鹿ものでなくて、あのやうな卑怯な眞似をする奴が外にあるか。捨てておけ〳〵」

「はい」

「さあ、どうした、そつちから掛からなければこつちから行くぞ」

「はい」

「轟五郎兵衛を叩きのめして了へ」

武者窓が又叫んだ。

「増長慢の鼻ばしらをへし折つて了へ」

つゞけさま云つて、から〳〵と笑つた。

門弟たちはもう我慢が出來なくなつた。

「先生、打ちのめして來ます」

門弟たちは一緒になつて武者窓に向つた。半分は窓から、半分は表へまはつて、一齊にばら〳〵と進む。

其時、五郎兵衛は、窓際に立ちふさがつて一喝した。

「不用意千萬、相手は幻術の力を持つて居る。迂濶な眞似をすると思ひがけない不覺をとるぞ」

幻術といふ聲に弟子たちの足が

一「早くいへ」

「其方の女房おぎんとやら申す女其方の目を忍んで、不義密通いたして居るわい。判つたか」

「ははは、たわけた事を申すな、おぎんはそのやうな不仕だらな女ではないぞ」

「左樣なと思つて居るから不愍な奴だと申すのだ。人非人の弟だが、兄弟のよしみなればこそ教へてやる。ありがたく承はるがよい」

「汚らはしい、さがれ〳〵」

「はははは、くやしいか。くやしければよく聞け、其方の女房は、船頭長吉とか申す下司下郎と密通して居るぞ」

「馬鹿ッ」

五郎兵衛はあたまごなしに叱りつけた。

窓を隔てゝ問答する兄弟の態度に、いら〳〵した門弟たちは、もはやたまりかねた。

一緒に道場の外へまはると、二三本の竹刀が、投げ槍のやうな鋭さを以て、宙へ飛んだ。

一本は的をはづれたが、殘る二本は、瀧樂齋の小鬢のあたりと、二の腕とに、がんと當つた。

不意を打たれて、瀧樂齋には之れ

……「アッ」と一聲、大地の上へ尻餅をつく。

五九郎來る 廿四日から

滿博演藝館に出演を傳へられてゐた喜劇界の第一人者曾我廼家五九郎丈はいよ〳〵來る二十四日から毎日晝夜二回開演することになつた、晝間は午後一時より夜間は六時より何れも開幕してお客さんに爆笑サービスをすべく特に上演種目も五九郎十八番の(一)戯れに生むな赤ちやん(二)二對半(三)自力更生(四)屋上のグランドと決定、なほ入場者全部に洩れなく電車往復乗車券を贈呈すると、入場料大衆席金五十錢

パテー倶樂部例會

大連パテー倶樂部例會は二十日夜七時半より連鎖街連鎖ホールにて左の如く開催する

新作映畫紹介、滿洲大博覽會倶樂部撮影會々員作品互選、新發賣品紹介、新發賣ミモザフキルムに就て下山美登里氏

本社特選 新棋戰 (其二)

平香交 七段 △溝呂木光治
香落番 六段 ▲渡邊東一

【圖は四二銀迄の局面】 △溝呂木氏持駒ナシ

△一六歩 ▲一四歩
△三六歩 ▲五二金右
△四八銀 ▲九二飛
△五五歩 ▲同歩
△三五歩 ▲同歩
△六五歩 ▲九六歩
△同歩 ▲同飛
△六四歩 ▲同歩
△五九金左 ▲七四歩
累計三十八手

【土居八段講評】溝呂木君は二八玉の構へでは單に中央より攻勢を採るにとゞまり妙味が薄いので、三八玉のまゝで譜の如く三六歩とついて敵の玉頭を狙ふ意味に指したのは好い、渡邊君の九二飛は手緩く且つ味のない指手である、九六歩、同歩、同香と走り、敵九七歩打なら同香成、同桂、九二飛にて好い、又九六同香に對し敵五五歩、同歩、六五歩なら八六歩、同角、七四歩にて敵角の活動を束縛してある故有望。

【荻原七段解説】溝呂木氏の三六歩は、玆で四五銀と攻めては敵に三三銀と出られ五四銀、三一角と引かれては端を窺はれて惡いので三六歩と指したのである、續いて五五歩は、九八飛を受けては防禦に傾き、初めの四六銀と中央より攻勢に出た作戰に矛盾するので五五歩と攻め次に三五歩も絢の働きを圖ると共に玉頭の攻撃を窺つてゐるのである、渡邊氏の五五同歩以下三五同歩の受けも端を攻めても三、五兩筋に位負けをしては面白くないので同歩と取つたのである、續いて九六歩の攻めは飛車を捌き敵の中央の攻撃に對抗する意味である、溝呂木氏の六四歩は、次に六三歩の打込みや又角の交換の後の打ち場所を作る意味である、次の五九金は絢の聯絡を圖つた五五角の決戰の用意である

對滿佛國投資 漸次具體化せんか

リ代表等十九日赴京

滿鐵では可及的援助方言明

世界に先んじて新興滿洲國に投資する意思あることを發表したフランス資本團の意を受けて設立された日佛協同對滿調査會では、いよいよ具體的調査に乘出すことになり、フランス側代表ド・リヴイエ氏は十二日來連ヤマトホテルに滯在中だつたが、日本側代表小林順一郎氏も十八日來連、顏觸れが揃つたので十九日午前九時發列車で新京へ赴いた、一行はフランス資本團が滿洲に投資する餘地ありや投資するとすれば如何なる物件に如何なる條件でなすべきや等について具體的な基礎調査をなすを目的とし、大連においては既に山崎滿鐵理事その他と會見、調査に關する便宜取計らひ方を申込んだが主たる打合せは新京において日滿兩國機關との間に行ひ、其の後再び來連して滿鐵當局とも正式の打合せをなす豫定で、フランス資本の滿洲に對する最初の働きかけとして其成果は注目されてゐる、出發に當つてド・リヴイエ氏は語る

フランス資本家中には滿洲に投資の希望を持つものが段々あるが、それに先立つて十分の調査を行ふために、來滿したので仕事はこれからである、新京には約二週間滯在して各方面の人々と會見し、それが終つてから再び大連に來て滿鐵その他とも打合せしたいと思つてゐる

合理的な投資は大に歡迎する

山崎滿鐵理事語る

ド・リヴイエ、小林の兩氏の訪問を受けた山崎滿鐵理事は左のごとく語つた

兩氏ともいづれも白紙の狀態で滿洲の經濟調査を行ひ、投資する場合の資料を得るのが目的だとの事で、外務省を通じて便宜供與方の申出があつたから十分援助する旨答へて置いた、滿洲も目下資本を要する時であり、門戸開放の原則上よりも外資を拒否する何らの理由はないから合理的な投資は大いに歡迎するだらう、滿鐵自身がフランスで佛債を募集する意志はないか?滿鐵はまだそこまでは考へてゐない

鞍山に 製氷會社新設

豫て鞍山においては製氷會社設立が計畫されてゐたが、諸準備進捗、去る十四日創立總會を開催、社名は南滿機械製氷株式會社、資本金十五萬圓内三萬七千五百圓拂込みで一日製氷高五噸の計畫で同社役員は左の通り決定した

（代表取締役）加藤政人（取締役）加島重太郎▲三宅玉次郎▲相谷彦三郎▲神田藤兵衞（監査役）長田吉次郎▲伊藤益太▲末宗安吉

大汽が低金利 借替を畫策か

増田專務十九日急遽東上

大汽專務増田義男氏は十九日朝の上り旅客機で急遽東京に赴いた、用務は單に金融問題だといふにあるが仄聞するに會社が有する借入金一千三百萬圓は先年低利借替を了したのであるが、最近に於ける低金利時代の實勢に善處するため更に低利借替を折衝するのだといはれてゐる、又内地沿岸航路の特許申請に當り外船輸入問題の紛擾を契機として遞信當局が航路別に特許し、更にその期間も三ケ月といふ短期であるために配船上頗る不便を感ずるので、これが緩和方の折衝もあり、旁々北鮮、新潟間の定期航路の開設についても拓務省を通じてこれが實現促進運動を講ずるものと觀られてゐる、右の如く諸種の重要案件が存在してゐるので滯京期間は目下の處未定であると

綿糸期近高で 逆鞘擴大

十九日前場大阪三品市場の綿糸は米棉五、六ポイント安米日爲替三十七仙高を入れ期近物は依然高値を呼び寄鼻一圓四五十錢高、先限一圓躍み安引は當限更に四圓高と急騰し、當先は二十七圓二十錢の逆鞘をつけた、これは現實的に極端に品薄なるも先物には二十番手の增産が見越されてゐる關係であるが當市は一般氣迷ひマバラの小口手合せのみで閑散であつた

緬羊協會案提唱 滿鐵へ補助交渉

必要なしと拒絶の意向

日英經濟の利害不一致が痛感されると共に最近原料を濠洲に仰ぐ羊毛工業についても種々なる不安を喚び起し羊毛對策が熱心に討究されるに至つたがその一方法として内地官民中に緬羊協會設立の議が起るに至つた、同協會の計畫では滿洲にも同樣の協會を設立させて兩者相提携して日滿經濟ブロック内において羊毛自給をなさんとするもので、これが經費の一部を滿洲國及び滿鐵の補助に仰ぐべく東京支社を通じて滿鐵に申込むところがあつた、これに對して滿鐵側の意向は

緬羊は棉花と異り特に滿洲に獎勵的機關たる協會を設くる餘地なく、改良獎勵については滿鐵自身で已に十數年前より年々十數萬圓の經費を投じて實施してゐるので、改めて内地の緬羊協會に補助するに當らずといふもの、ごとく大體拒絶することに決定した、なほ滿洲における今後の羊毛政策としては滿鐵は公主嶺試驗場と錢家店種羊場の改良試驗の改良種の蕃殖を繼續し、更に滿洲國實業部では海拉爾に大種羊場を設けて兩者相提携して當ることになつてゐる

中旬貿易

出超千二百萬圓

【東京十九日發電】中旬貿易は左の如く一千二百三十六萬九千圓の出超である（千圓單位）

輸出	五一、七八三
輸入	三九、四一四
出超	一二、三六九

砂糖先高豫想

需要頗る旺盛

需要期の接近に從つて當地砂糖の荷動きは頗る旺盛となり、滯貨減と相俟つて相場も現在七圓六十五錢を賣唱へ二十錢見當の昂騰を呈してゐる、市中滯貨は現在二萬五千袋程度であるが、需要いよいよ旺盛となる模樣で、尚先高を豫想されてゐる

內地洋灰業脅威

滿洲セメント買收計畫

【東京特電十九日發】セメント聯合會は滿洲におけるセメント會社濫立の形勢をみて内地及び滿洲の市場が攪亂されることを憂ひ、過般谷口大阪工業セメント常務が實地視察の結果により、滿洲セメント會社を買收して調節せんことを企てゝゐるが、若し滿洲セメントがこれに應じないときは競爭會社を設置する計畫であるといふ

滿蒙の資源に就て

日滿實業懇談會席上講演 (二)

滿洲國實業總長 張燕卿

滑石は大石橋地方に年四五萬噸を産出し、全部日本に輸出しつゝあるが、油母頁岩は撫順において炭層の上部を取り崩し採取してゐるが、これは埋藏量四十五億噸現在は年約五萬噸の重油を産し、重要なる給油財源である、金及び砂金、砂金中の主なるものは吉林、黑龍江の兩省内及び興安嶺一帶、コロンバイル北部地域等である、金鑛では奉天省、東山地方、吉林省、間島地方、熱河省等の地域である、從來の年産額は二千萬圓程度であり、至く幼稚な狀態であるのがあるが、石油は一二有望視せられてゐるも存在するや否や不明である。

◇

以上述べた事は資源の概略であるが、抑々滿洲の鑛山には遼、金時代を除き清朝の末期に至るまで何等開發の見るべきものなく、今日鐵及び石炭を除いてその他は殆ど處女鑛山土地として放任せられある有樣である、これが開發に當つては、資金の事業化さ、而も合理且つ有利なる開發をなすべきである、これに對する必要な智識と資本の前に、これ等資源を開放し事業の急速なる發達を期する考へである、無論國家の存立上より、又産業開發の相互的關係乃至國民全般の利益上より見て、特殊のものに對しては國家的統制を加へて企業の合理化を計ることはあるべきも、要は近く發布せらるべき鑛業法により、國家は力めて廣く企業の機會を與へ、事業の發達を獎勵せんとするものである。

◇

鑛山資源の次に、日本に關係する天然資源は森林である、滿洲の森林は鴨綠江、圖們地方、松花江、牡丹江、拉林川流域地方、大小興安嶺一帶に鬱蒼たる森林を有してゐる、これが面積及び材積を見るに、鴨綠江流域面積九十萬町歩、材積一億立方メートル、松花江において面積百四十萬町歩、材積二億四千萬立方メートル、牡丹江流域六十萬町歩、材積一億二千萬立方メートル、圖們河流域面積八十萬町歩、材積一億二千萬立方メートル、大興安嶺一帶千四百萬町歩、材積十五億五千萬立方メートル、小興安嶺一帶一千萬町歩、材積九億七千萬立方メートル、その他面積八百三十萬町歩、材積一億五千萬立方メートル、即ち大約三千五百萬町歩四十一億立方メートルの材積を有してゐる、而して現在採伐せられたる鴨綠材吉林材及び北滿材は一年約五十萬立方メートルに過ぎないが、これ等森林資源は從來の誤れる森林行政のため、著るしく荒廢せしめられて居たものが多く、今日これが行政を行ふにあらざれば悔を千歳の後に貽すに至るべく、今後國民の要する木材は無論日滿需用のパルプ原料等は最も適切なる方法を講ずる要がある、殊に森林の如き若しこれに合理的の管理保護を加ふるにおいては、永久の生命を領得せしめ得る性質の資源に對しては專ら國家の統制ある管理の下にこれを置きこれが採伐經營に對しても森林原野の如きも治林の事業に必要な制度を設け、官許採伐又は立木の短期拂下の許可等により從來の如き無定見なる採伐權許可を爲さゞる方針である。（つゞく）

七月中卸賣物價 續いて昂騰步調

前月對平均一分一厘高

大連商工會議所調査＝前月一分七厘方騰貴を示した大連卸賣組合物價は、七月に入るも騰勢熄まず、調査品目七十六品中前月に比し騰貴二十四品、低落十五品、保合三十七品と平均一分一厘の騰貴を見た、これを前年同月に比すれば二割二分二厘の騰貴に當り、昭和五年一月に比すれば指數九五、七を示し、なほ四分三厘の低落である即ち前月に比し

◇騰貴＝二十四品
押麥、粟、麥粉（外國粉、日本粉）砂糖（一級品、二級品）椎茸、牛肉、豚肉、鷄肉、ハム、鷄卵、鹽鮭、綿布、蒲團綿、綿糸、毛糸、丸鐵、銅塊、銑鐵、疊表、木炭、酒精、豆油

◇低落＝十五品
白米（滿洲特等、同一等）大豆、小豆、高粱、野菜、麥酒、干瓢、モスリン、羅紗、亞鉛引平板、洋釘、石油、豆粕

◇保合＝三十七品
味噌、醬油（内地、地物）食鹽、清酒（内地、地物）煙草、茶、鰹節、梅干、澤庵（内地、地物）昆布、筍、牛乳、煉瓦、綿糸、四本綿、ネル、セメント、石灰、煉瓦、瓦、板硝子、木材（紅松、白松）塗料、石炭、コークス、薪、ガソリン、燐寸、石炭酸、苛性曹達、塵紙、洋紙

更に類別に依る騰落を示せば左の如くである

類別	前月基準	前年同月基準	五年一月基準
穀菽及蔬菜（十品）	九九・四	一三三・二	八〇・二
調味及嗜好品（十二品）	一〇〇・二	一一三・二	八七・七
雜品（食料）（七品）	一〇〇・八	一〇九・六	八七・四
肉類及び魚類（八品）	一〇六・六	一三七・九	一〇四・三
衣料品（九品）	一〇一・五	一三一・六	九六・九
建築材料（十四品）	一〇一・七	一三〇・五	一〇〇・六
燃料（七品）	九九・二	一〇五・五	九三・〇
雜品（九品）	一〇〇・一	一三一・八	一一〇・七
總平均	一〇一・一	一二二・二	九五・七

滿鐵對大汽間の ケイソン船渠貸與問題

近く重役會で決定の筈

大連汽船では海軍から借用使用してゐた旅順船渠が明年三月を以て契約更改期となり、海軍側に返却することに内定してゐるので、これが補充として現在濱町に滿鐵が所有してゐるケイソン船渠を改造し大汽側に貸付されたい旨を滿鐵に交渉中であつたが、滿鐵々道部でも大汽側の申込を諒とし、その後港灣課で設計豫算等總ての準備を急いでゐたところ二十五萬圓の豫算を以て同ドックを改造する案を樹て、九年度鐵道部事業費の一部に加へてこれを經理部に申請することゝなつた、從つて重役會議の決裁を得次第工事準備に着手の筈であるが、重役會議も大體無難に通過するものと見られてをり大汽への貸附料金は年三萬圓前後に落付く見込である

今回の懇談會 效果は絶大

高田商議會頭感想を語る

滿博協贊會主催の日滿實業懇談會は日滿兩國實業界の巨頭並に在滿諸機關首腦者四百餘名を總動員し連日熱心な討議を續け、滿洲國の實體につき、より深き認識を把握すると共に、日滿經濟提攜に一段の拍車を加ふる特殊機關設置、滿洲國の經濟建設協力の二大決議、更に日滿實業協會創立といふ豫想以上の大收獲を納め十八日大成功裡に閉會したが、右懇談會の閉會に際して高田協贊會長は左の如く語つた

日滿實業懇談會は時節柄誠に意義深い試みであつた、豫想以上の大成功を收めたに對し主催者として喜びに堪へない、かくも多數參加していたゞいたことに對し衷心感謝すると共に指導していたゞいた關東軍、滿鐵、關東廳、滿洲國各關係要路者に對し深甚の謝意を表する、今回の會合によつて各出席者各位は滿洲國の實體についてより深い

認識 を會得されたことゝ信じる、懇談會の内容に就て感想を申上げれば二つの流れ、即ち産業方面に就て滿洲國本位で進むべしといふ考へ方と、日本本位で行くべしといふ二つがあつたやうに思はれる、しかし乍らこの二つの流れは何れも一方にのみ偏してはならない、日滿議定書にあるやうに、日滿兩國が相互依存の精神によつて互に相提携して進んで行かなければならぬ、その結果として二つの決議が行はれた、即ち日滿兩國政府に對し經濟提携に關して根本方針審議の特殊機關を設置してもらひたいといふ請願と、滿洲國の經濟建設協力決議、その具體的現れとしての日滿實業協會の創立決議がそれで共に滿場一致可決された、日滿實業協會は即日委員の選任を見、目下創立の運びにある、これに對し滿洲國の實業家は熱烈な贊意を表し出來るだけ多くの會員を

勸誘 しやうと非常な意氣込みを示してゐるが、日滿兩國官憲もこの趣旨に對し双手を擧げて贊助していたゞけることゝ思ふ

滿洲國線の 發送と在貨

【奉天電話】鐵路總局所管の滿洲國有線發送並に在貨數量は左の如くである（十三日現在單位噸）

線	發送	在貨
吉長吉敦線	二、〇三一	二、一九一
吉海線	一四〇	一
四洮線	四、八〇六	一、〇一六
洮昂線	六、三六〇	三三三
齊克線	一、四〇二	三三六
洮索線	三五五	一三〇
瀋海線	二、三七九	一、三二七
呼海線	五、八〇四	五、七九九
奉山線	三、四一〇	一、六〇八
計	三七、七〇七	三、六三〇

甘 塵

◇…甘井子一帶が大連郊外の工場地帶化する、多年商工會議所邊で提唱して來た關東州内の工場地區設定がヤッと實現されるわけだが、これも明かに滿洲國建設の副産物であるその第一に工場地を下した滿洲化學工業は二十日起工式を擧げるが、この所要地坪はザッと八萬坪、これに同社が滿電と共同して建設する五萬キロワットの大發電所も出來ることになつてゐる。

◇…さらに近くは資本金五百萬圓の滿洲石油會社も同地に工場を建てられて行く、北鮮羅津の擴張に脅威されかけてゐる大連として甘井子には次ぎ次ぎに大工場が建設することに決めた、かくて

◇…全國業者に不意打ちを喰はした大阪三銀行合併後の名稱は三和銀行といふのだが三・和といふ字はコンクリートの漢字名で、從つて銀行名としてはこよない縁起のイ、名前だ、たゞし固まり過ぎてあまりに融通の利かぬのでは困るが。

全滿農作物 第二回調査施行

前年對四割八分方增加

【新京十八日發國通】本年度第二回全滿農作物作柄調査は、去る七月二十三日現在を以て全滿に亘り施行、目下滿鐵經濟調査會にて取纏め中であるが、南北滿洲を通じ前年より約四十パーセントの增收は確實と觀らる、即ち第一回調査は六月二十三日現在にて行はれたが、それによると本年度の農作物收穫豫想は南滿、豆類、穀類合計二百四十一萬六千六百四十四キロ噸（前年二百十四萬九百九十九キロ噸）北滿豆類穀類合計二百四十二萬五千十キロ噸（前年百四十一萬五千七百九十キロ噸）南北滿洲合計四百八十四萬四千百八十九キロ噸で、前年に比し三十六パーセントの增收と云ふ成績である

對滿纖維工業品 躍進的激增

本年上半期に 二千六百十萬圓

【東京特電十九日發】わが對滿輸出貿易は漸次增加の趨勢にあるが特に纖維工業の躍進著るしく、八年上半期の纖維工業品輸出額二千六百十七萬圓、前年に比して約三倍、六年同期に比して四倍乃至五倍の激增を示し、特に毛織物は七倍してゐる、内譯左の如し

綿布	一九、四七〇
絹織	一、四四〇
莫大小	四五三
綿糸	二、〇〇八
毛織物	二、七九一
綿毛布	八
計	二六、一七〇

合併三銀行 支店現狀維持

【大阪十九日發電】既報三十四、山口、鴻池の合併は全國一齊にこれを發表したが、合併後の支店其の他の營業所二百七十二ケ所は當分現狀維持とし五千名の行員は其儘引繼ぐことゝなつた

三井物産 過燐酸投賣り

【東京十九日發電】三井物産が多木肥料より買入れた過燐酸三千噸は輸出不引合のため内地で投賣を始めた、これがため組合の對策も利かず一叺八十二錢に反落した

物價市況

味噌醬油凡調

地物の醬油、味噌は今年上半期は總體的に活況を呈し、昨年同期に比し約二割以上の取引を見たが、七月に這入つてからは荷動き緩み所謂夏枯の鈍況を呈して居る、市況は凡調、九月に入り秋冷の候ともなれば漸次上向き歩調を辿るものと豫想される、相場は醬油四斗五升詰樽上物二十圓、並物十五圓下物（支那人向）四圓見當で瓶詰は一升入上物五十五錢、並物四十五錢内外である、味噌は百目最上七錢、並物六錢見當である

市況（十九日）

特産

大豆低落 奥地筋の賣に

今朝の定期は大豆は奥地筋の賣に低落を辿り豆粕は閑散保合、豆油は邦商の賣物ありて軟調を示し高粱は買氣薄に大豆安を入れて低落商狀を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（低落）單位厘 ▲豆粕（保合）單位厘 ▲豆油（弱保合）單位錢 ▲高粱（低落）單位厘 [illegible]

◇現物前場（銀建）

混保（袋込 四五六〇 四五六〇）大豆（裸物）出來高 八十車、普通大豆（袋込 四四七〇 四四七〇）出來高 一車

豆粕	一四〇〇	一三九〇	出來高	一萬三千枚	
豆油	一三五五	一三五〇	出來高	二千箱	
高粱	二〇一〇	二〇一〇	出來高	三車	
包米	二三七〇	二三七〇	出來高	二車	

豆粕生産高　十九日 六、〇〇〇枚 三軒　二十日 七、〇〇〇枚 三軒

定期喰合高（十八日帳入）前日對比△印減　大豆 三七八〇車 三二車

豆 けさ大豆は奥地筋の賣物あり銀高關係が拍車を加へて低落を辿つた▲豆粕は買氣なく僅かに新甫一月ものが出來た▲豆油は邦商の賣物ありて軟調を示し高粱は一般買氣薄の折柄大豆安を眺めて一氣に低落した▲昨場歐洲高の報を入れて邦商の大豆買が優勢だつたので市場内では種々のデマが飛んだらしい▲現に記者の許にも大豆の輸出税が十月一日から變更されるとのことだが眞否如何との電話があつた▲雜貨の兩輸出の場合の輸入税が免税になつたので混同したものかも知れぬ

銀 今朝銀塊は紐育一仙急騰、倫敦、孟買も小緩りだつたが▲標金は銀塊の引け安を眺めて軟りを報じ爲替も亦堅調を入れた▲そこで當市伸惱んで二十錢安の百七圓五錢に寄り▲安値は六圓十五錢があつたが引際七圓二十錢に反騰して高値止めした▲錢信取締役神成季吉氏の内地引揚げは同氏が錢信や錢鈔市場の育ての親であり非常の功勞者たるがために錢鈔界から深く惜しまれるのみならず▲廣く大連や滿洲財界から云つても氏の如く人格高く識見、手腕ある第一流の重鎭を失ふことは非常な損失といはねばならぬ

株 けさ北濱は諸株共ボンヤリ東京短期の東新は寄鼻軟弱なりしも引は百九十一圓ドタと引締り▲當市もこれにつれて東新のみ硬りで地場株は孰れも氣乘薄閑散▲滿鐵の增資も好成績を示し化學工業や電信電話會社其他の諸事業續々勃興され之等の事業資金が放出されることになると滿洲もいよいよ大インフレを迎へる譯であり▲殊に地場株の如きは値嵩が低いので好個の投機乃至投資株となるべき資格を有しながら人氣のないのは實に不思議である▲これを賣買する取引市場そのものへ氣構へに何等の缺陷があり或は不利な點があるのではないか市場人は研究の必要があらう

錢鈔

高粱	一〇七五車	△四車
豆粕	三九九千枚	四千枚
豆油	六八五百箱	―

銀塊强調 當市弱保合

今朝銀塊紐育一仙高、倫敦八分の一高、孟買十六分の三高と一齊に昂騰を入れしも標金は軟り、爲替

も日米八分の一高、米日三十七仙高なりしため當市は小緩む、滬申九十七圓四十五錢、大洋九十五圓三十錢、滙烟九十六圓五錢

◇定期前場（單位錢）寄付 高値 安値 大引　期近 [illegible]　出來高 期近百九十一萬圓

◇現物前場（單位錢）銀對金 銀對洋 金對洋 [illegible]　出來高（銀對金 七萬圓 銀對洋 二萬六千圓）

株式

東新株引軟り 當市保合

北濱定期の前場寄は大株六十錢安、大新八十錢安、鐘紡三十錢安、新五十錢安、東京短期の東新は四十錢高に寄り歩みは呆りであつたが引際百九十一圓臺と昂騰し當市の五品は二十錢安、新豆、錢鈔保合、東新は一圓方安に寄つたが引は一圓六十錢高に引締つた

前場 ◇定期（單位十錢）

銘柄		當限	先限
東新	寄	―	一九〇三
	引	―	一八〇
五品	寄	二七七	二八〇
	中	―	―
	引	二七六	二七九

◇延取引

滿鐵株（弱保合）　東短前場 滿鐵新株 六十五圓二十錢　大阪短期 滿鐵舊株 六十六圓六十錢

商品

綿糸當限高 麻袋軟り

麻袋 産地鐵四分の一高、青四分の一高、爲替四分の一安と小戻し商狀を傳へ紐銀一仙高、米日二十五高、クロス四分の一安、地場は頃日來上げ贊成に加へて鈔票軟りで氣配は頗る强張つて居る、現物當限三十五錢七厘、九月三十錢一厘、十月三十六錢四厘、十一、十二、一月三十六錢五厘見當

綿糸 米棉現物五安、先限六安と小緩く印棉三留比高、紐銀一仙高、米日二十五高、クロス四分の一安、大阪三品は近物依然として高値を呼び當先寄り二十四圓と鞘開きを演じ期近物一圓四五十錢高、先限一圓躍み安と寄付きあと當限四圓高と急騰せるも先限同事、當市マバラの買で小手合せあり

麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
鐵筋	九月末	三六一	二〇
出來高	二萬枚		

綿糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
福助	十月限	二〇五五	二〇
同	同	二〇五七	一〇
同	十一月限	二〇一三	一〇
同	同	二〇一八	二〇
同	十二月限	一九九一	二〇
出來高	九十梱		

上海爲替情報

【上海十九日發】銀塊と英米クロスの引け卸つて安きため標金上離れしも戻りは買人氣にて恒興よく賣りしため突込む、弗は住友賣り投機筋の買にて强し、磅は閑散にて外商サッスンの輸入あるも其割に强くなれず圓は大連筋見送り神戸日米小高きも買物薄にて强含み

上海標金　寄値 八四九元五　高値 八五〇元〇　安値 八三七元二　止値 八四三元五

爲替相場

鮮銀 倫敦向電賣（一圓）一志二片一六分三　紐育向電賣（金百圓）二六弗八分一　同上海電賣（百弗）一〇四圓三〇　同 電賣（銀百圓）七〇圓三〇　日本向電賣（同）一〇六圓七〇　同 十五日拂買（同）一〇七圓五〇

奥地相場

錢鈔　金票對奉天票（現物）五、一四　國幣對金票（現物）一〇一、〇〇 一〇一、〇〇　金票對國幣（先物）九六、八〇 九六、七五　開原國幣對金（現物）一〇一、一〇 一〇一、一〇　新京國幣對金（現物）一〇一、一〇 一〇一、一〇　安東鎭平銀（當限 一、四四三 ― ／先限 一、四四四 ―）　哈國幣對金票（現物）一〇一、一三 一〇一、一四

特産 ▲大豆 寄付 大引　哈爾濱 九月限 九六五 九六五　十月限 九六〇〇 九六〇〇　十一月限 九六二〇 九六〇〇　▲小麥 哈爾濱 九月限 九二五 九二五 十月限 九三三 九三〇〇 十一月限 一、三〇〇 一、三〇〇

各地特産發送高　▲開原 大豆 三車 高粱 五車　▲公主嶺 大豆 一車 高粱 二車 [illegible]

市場電報（十九日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片八分七
同 先物	一六片八分〇
紐育銀塊	三六仙八分三
孟買銀塊	五五留比〇分二
スチール	五弗八分七
アナコンダ	一七弗〇分
英米爲替	四弗四九仙二分一
米日爲替	二七弗三仙
米支爲替	一六弗六二仙

神戸日米

第一回	二六弗八分五
第二回	二六弗八分五
第三回	二六弗八分五

棉花 ●米棉

現物	九仙三〇
十月	九仙四〇
十二月	九仙五二
一月	九仙六一
三月	九仙七五
五月	九仙八三
七月	一〇仙〇六

●印棉　ベンコール 一八八留比　ブローチ 二〇四留比　オムラ 一七四留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇六七〇	一〇六八〇
大新	一〇七二〇	一〇六八〇
新紡	一三四〇〇	一三四一〇
鐘紡	一〇二〇〇	一〇六八〇
日糖	一〇四二〇	八四八〇
郵船	―	四三八〇
滿鐵	―	六〇〇
東株	―	―
東新	一九一八〇	一九一八〇

（短期）大新 寄値 一〇八六〇 一八九〇 高値 一〇八七〇 一八九七〇 引値 一〇八五〇 一八九〇 安値 一〇八三〇 一八九二〇

東京株式

銘柄 前場寄 前場引 [illegible]

大阪期米・神戸期米・東京期米

當限 中限 先限 前場寄 前場引 [illegible]

大阪綿糸・大阪棉花・横濱生糸・印度麻袋

[illegible]

家庭

女性の服飾品にまで趣味の古錢

身につけて縁起を祝ふ守り本尊 向ひ干支入りの繪錢

明治三年の菊桐一圓銀貨

▼▼…元 来古錢の値打はたゞ年代が古いからといふだけでは駄目で、その發行數の尠い即ち世間に存在してゐる數の尠いものほど高値なのです。又同じ年號の同じ銘の古錢でも、その型、字型、鑄のつき具合等によつて幾分その價値が變ります、青銅錢は支那、安南、朝鮮のものが古くから多數日本に流れこんでをり

▼▼…日 本のものも澤山支那あたりに來てゐますが、支那の古錢で今日値の出てゐるのは

應曆通寶、建炎元寶、大朝通寶
皇祐元寶、天建通寶、靖康元寶
統和元寶、後漢貨銖、乾亨通寶
皇慶通寶

などで安いのでも一枚十數圓から高いのは七、八十圓もの値打があります、安南のは開泰元寶、大定元寶、大治元寶、廣政通寶などいづれも七八圓以上のものですが漢字で文字も割合にはつきりわかりますから素人にも發見出來ませう

▼▼…古 錢さまでは行きませんが明治、大正時代の舊い銅貨や銀貨にも今日非常に珍重されてゐるものが少くありません、例へば大正七年發行の八咫烏の十錢（三四十圓以上）明治二年の半圓銀貨（四十圓以上）明治七、八、九、十、十三、二十五年發行の舊五十錢銀貨（二十圓以上）大正七年の八咫烏五十錢銀貨（五十圓以上）明治二年の一圓銀價（五十圓以上）など好事家の垂涎おくあたはざるものとなつてゐます

▼▼…婦 人方が單に服飾品としてお用ひになるだけでしたら何も特に高價なものでなくとも型や字のよい、鑄色の美しいもので充分でせうが、古い時代に發行された繪錢を利用されるのも面白いでせう、花柳界方面ではお守りとしてよくエロ錢を用ひてゐますが一般にはその守り本尊や向ひ干支の入つた繪錢などがよいだらうと思ひます、守り本尊といふのは子歳生れの人は千手觀音、丑と寅は虚空藏菩薩、卯は文殊菩薩、辰と巳は普賢菩薩、午は勢至菩薩、未と申は大日如來、酉は不動明王、戌と亥は八幡大神で、向ひ干支といふのはその反對の干支をさすので子の人なら午を、丑ならば未の繪錢を身につけて縁起を祝ふのです。

▼▼…近 年古錢趣味が勃興して日本内地は勿論のこと大連あたりですら泉友會（泉は錢の義）などいふ同好者の團體が出來て熱心に古錢の研究をつゞけてゐますが、この古錢趣味は一層普及して婦人たちの帶止や殿方の羽織の紐メダル等に古色蒼然たる東洋の古錢が一つの有力な流行をさへ形づくつてゐます。若しも皆さんのお宅の何處かの一隅に、苔蒸し錆朽ちた古錢が置き忘れられてゐましたら出してごらんなさい、思ひがけない珍貴な古錢を發見なさらないとも限りません、で御參考に泉友會坂崎忠三郎氏の東洋の古錢のお話を御紹介しませう

▼▼…俗 に一文錢とか穴明錢とかいつてゐるうす汚い青錆のついた安つぽい青銅貨でも物によつては隨分高價なものがあります先づ日本の古錢で貴ばれてゐるのに皇朝十二文錢がありますこれは

和同開珍、神功開寶、饒益神寶
長年大寶、隆平永寶、寛平大寶
萬年通寶、富壽神寶、承和昌寶
貞觀永寶、延喜通寶、乾元大寶

の十二種で一枚でも最低二、三圓から高いのは數百圓もの價を呼んでをり、これを十二枚全部揃へたら實に大したものです

TOKYO TO HSINKING. (10)

N. T. Murad.

The Young Engineer

The man whom I happened to meet in the smoking room was a young engineer who was on his way to northern Manchuria for a certain company.

He was tall and well built. And he was peculiarly dask for an ordinary Japanese, appearing as if he had just returned from a trip to Africa.

It was indeed very delightful to talk with him, even listening to his big stories made me feel jolly pleasant.

"Listen," he said, "if I have 'sake' and woman I'll be satisfied wherever I go. But this trip I only have the instructions from my company. Isn't it lovely?" And he smiled which was more like a sarcasm.

As soon as I left him he began to sing wherein I heard "sake" in several places.

報國盡忠の我將兵に捧げた清き眞心と汗

本社並に滿日婦人團が募つた慰問金品の決算報告

本社が 曩に滿日婦人團と協力して軍隊慰問袋を募集するや、大連市を始め全滿各地に於ける讀者の大贊成を博し、或は物品を以て或は現金を以て續々本社に宛て寄贈せられ、豫想外の大成功を齎した事、並に滿日婦人團の諸子が折柄の炎暑を冒して連日慰問袋の大整理を爲し、實に一萬個以上に達する多數の**慰問袋**を荷造りし、直に關東倉庫に引渡して之れが現地への輸送方を依囑した事等は當時本紙上で報告した通りですが、右の中現金寄贈の分に對しては其後現金の取立て等整理に手間取つた爲め今日まで之れが決算の報告が出來ませんでしたところ、其の決算も頃日漸く出來上りました、其の結果によりますと寄贈の邦貨は合計三千二百八十三圓五十七錢でした

此の外 に銀貨で一百五弗と四十三元とがありましたのでこれを邦貨に換算しましたところ一百四十六圓四十四錢となり、隨つて前記の邦貨と合計すると總計三千四百三十圓一錢となりました

即ち

邦貨	三、二八三圓五七錢
銀（一〇五弗）	一〇四圓七九錢
同（四三元）	四一圓六五錢
總計	三、四三〇圓〇一錢

この内今日まで婦人團の手で支出したものが

袋布代及製作費	二九六・〇三
慰問袋一八五六個の中味代	一、二二一・八三
輸送運賃及荷造費	一七七・七七
計	一、六九五・六三
差引殘金	一、七三四・三八

でありました、就てはこの殘金を如何に處分すべきかについて今日まで**軍部と**も屢々愼重なる協議を重ねましたが、その結果左の通り處理することに決定しましたから寄贈者諸彦の御承知を願ひます

一、當分之れを滿日婦人團にて保管し（即ち事實上滿日社會計部にて保管し）今後軍隊慰問の爲めに最も有効なる方法を考へて漸次支出する事

二、軍隊慰問の目的以外には一錢たりとも使用せざる事

三、支出し終りたる曉は更に其内容を新聞紙上に於て詳細發表する事

萩月式活花無料講習會

一、時日 八月二十三日から三日間
＝午前十時から午後三時まで＝

一、場所 大連紀伊町滿洲文化協會

一、申込 往復ハガキで滿洲日報社内滿日婦人團宛

一、締切 八月二十日

一、携帶品 切り花、花瓶、ハサミ、手帳、鉛筆

主催 滿日婦人團
後援 滿洲日報社

松林に探る秋のかほり

ボツボツ出初めた初茸・どこがよいか

さわやかな秋の香をのせてボツボツ初茸が出初めました、今日の日曜を皆さんが初茸狩りに興ぜらるゝならば――

大連附近 では老虎灘水産試驗場の奥の松林、寺兒溝の奥の山、彌生ケ池の左手の林、白雲山奥の小松山などにも相當獲物がありませう、一歩足を伸すならば旅大道路の兩側の松林、龍王塘、王家店、大西山の各貯水地附近の松林も初茸の産地です、旅順線附近の松林も初茸が多いが龍頭附近には初茸に混じつてコロコロと可愛らしい松露も澤山あります、其他松の密生したあまり乾燥のはげしくない場所ならば何處でも相當の獲物は得られませう

又同じ山 にしても山の北面と南面では多少ちがひます、一般に北面の方が早期に發生し、南面の方はいくらかおくれて發生します、これは茸の發生するのにあまり暑くない一定の濕度が必要なためで、從つて老虎灘や星ケ浦方面のやうに海の風の當る場所は一番早く發生するわけです、茸に濕氣の必要なのは申すまでもありませんが、適當な濕氣を與へられた茸の發育の速さには實に驚かされます、ですから茸狩りに一番よいのは雨の降つた翌朝です、それでなくても茸狩りは茸のつやつやと光つてまはりの草が露に重たく垂れた朝のうちが一番茸を發見しやすいのですが、

茸狩りは 朝の露で下半身ズブ濡れになりますからそのつもりで出かけないとひどい目に逢ひますですから家族打連れての遊山がてらの茸狩なら却て露がかわいてからの方がよいでせう、もつともあまり深々と草の生ひ茂つたところよりも、あまり草の丈の高くない枯葉などある松の周圍が概して茸が多いやうです（安東盛氏談）

家庭顧問

渡滿して再度の痔に惱む

【問】 二十歳の青年で職業を持つてゐます、一昨年内地で痔を病み幸ひに全快しましたが昨年渡滿してから再度痔病になりました、別にがまん出來ないほどの痛みはありませんが孔があいてゐて運動が過ぎたり寒かつたりすると膿が出ます、藥も隨分用ひましたが一向效果がありません、どうしたらよいでせうか（惱む青年）

痔瘻ですから早く治療をうけなさい

【答】 痔瘻です、放つて置けば段々深くなつて、膿がつくと又其處に膿瘍が出來たり、其創から丹毒に罹つたりしますからなるべく早く治療を加へることが必要です、病状によつては至極簡單な治療法もありますが一度診察しないと程度がわかりません（辻慶太郎）

連載漫画 ニッポン太郎ヨーヨーブユウ傳★一刀研二ゑ 第卅五回

ヒッドイコッタネ? ヘイサ
メガマワルッ!
ヒャッ!
キュッ!

滿日各地版

安東名物の鎭平銀 衰亡の運命迫る
國幣の信用徹底すると共に 中央では愼重考慮

【安東】安東柞蠶商組合が鎭平銀を排して國幣取引に改めやうさいふ運動や中央銀行安東支行が鎭平銀を新京總行に現送してゐるさいふ噂やまたは國幣統一の純理論等から近頃安東名物鎭平銀の存在が論議されて日滿財界人の注意を惹いてゐる、柞蠶商組合の國幣取引改正は協議の結果鎭平銀で取引してゐる他業者さも相談してもつさよく研究して見やうさいふことになつたらしいが柞蠶のほかに木材、河豆等の主特産物の取引はすべて鎭平銀で安東市場では鎭平銀は依然王座を占めてゐるが、鎭平銀は滿洲國で唯一の國幣以外の現物通貨であり中華民國においてさへ過般廢兩改元を斷行したる日においては世界において銀兩の孤壘を死守して今るのは安東の鎭平銀がたゞ一つあるのみである、窮極舊時代の遺物であつて安東滿洲國人の鎭平銀に對する愛着が如何に強いものがあるにせよ衰亡の運命は免れまい、況んや滿洲國の國幣統一における唯一の異端者であり、取引の不便さ國幣の信用に對する認識が徹底すれば鎭平銀の衰運を加速するであらう、これについて中央銀行安東支行の城駐在員は語る

國幣統一さいふ點から觀ても鎭平銀の存在は好ましいこさゝはいへませんが今急に法律を以て廢止するこさは安東財界を混亂に陷れるので財政部でも中央銀行總行でもこの點を**愼重**に考慮してゐるのだらうさ思ひます、理想を言へば各種の取引が自然に鎭平銀から國幣建に移つて行くやうにしたいもので柞蠶商組合で國幣取引の意思があるさいふ話は結構なこさです、また實際に鎭平銀取引には不便不利が多い、たさへば田舍から柞蠶を安東に持つて來るさ代價を鎭平銀で受取るが鎭平銀は安東市内だけで地方には通用しないから受取つた鎭平銀を現大洋か小洋に替へて歸らなければならぬ、また日本人が柞蠶を買ふには圓を鎭平銀に替へなければならぬさいふわけで一つの商賣に**二重**に錢舖を利するこさになります、尤も逆に斷ふして鎭平銀の賣買で儲かるから安東が繁榮するのださいふ人もありますが、これは僅かに一面の理ではありませんか、將來を大きく見るさ這んな煩瑣な取引は結局安東を利するものさは考へられません

匪賊漸く影を潜め 奉天省政に一轉機
金井廳長 今後の方針を語る

【奉天電話】匪賊の影は漸次薄くなり治安の確立に一轉機に向ひつゝある奉天省五十八縣の今後の問題につき金井廳長は語る

日本軍さ滿洲國警備軍の協力により匪賊は四散し各縣の治安は益々良好に向ひつゝあるは感謝にたへないがこれをもつて馬匪賊が根絶されるさかこの状況は今後の實際であるさ考へることは出來ない

何故 馬匪賊が影をひそめるにいたつたのか、原因を各縣においても仔細に調査し今後の對策を講じ十二分の準備をせねばならぬさ覺悟してゐる、各縣でも治安の維持については最善の努力を拂つてゐる次第である、日本軍の分散駐屯により地方馬匪賊の掃蕩に可なり大集團の馬匪賊は困つてゐるらしい、小數團のものはこれは簡單に片づくものではないさ思つてゐる、兎に角五十八縣に完全に縣長、參事官及び屬官を配置したことは地方が平靜に歸したことを物語るもので軍當局のお骨折によるものさ

感謝 してゐるが奉天省は何さいつても治安恢復の點では他省より進んでゐる、各縣より財政的補助その他産業開發指導等の補助方を申請して來るものは多いが滿洲國も建國匆々の際であるから入るをはかつて出づるを制し財政の自給自足をモットーさして餘裕のつくまで要求には辛抱して貰つてゐる次第で要求には無理からぬ點あるも一時の忍耐によく縣政の善果を期待してゐる

唐聚五、鄧鐵梅等の發行した私票に對しては自然的整理が行はれ地方農村もその被害から漸く免れ大同三年度から地方の金融も確立し農村の金融が圓滑になれば政治の運用もまた自ら解決するものさ確信してゐる、省さしては地方縣政の

刷新 さ民生の安堵に力を注ぎ西豐縣の如き最初から私票を認めなかつたため今では五十八縣中の模範縣さなつてゐる、これは財政的に確立した結果であつて金融財政が平靜に復せば縣政は自然に革新され眞の王道精神は民生に普遍化するものだ、唐聚五や鄧鐵梅の私票の如きも最初から地方民が完全なる融通貨さ考へてゐなかつたゝめ被害の程度も傳へられた程のものでなく今では大部分整理された、省公署さしては地方の財政金融政策に力を注ぎ確立に努めつゝある

金普バス開通【金州】待たれた金州—普蘭店間の滿電バスもいよいよ今日から開通する、本月三十一日まで二往復、來月一日からは四往復さして行程四十三キロの白楊並木の幹道にあのスマートなバスが滑るが如く（寫眞は三十里屯鐵橋の偉觀）

營口航政局の招宴【營口】營口航政局では二十二日午後六時より舊市街滙海樓に日滿官憲並に新聞關係者を招待して晩餐を供すべく局長名を以てそれぞれ案内状を發した

明年度豫算は 積極方針で
約二千萬圓の新規事業費 撫順炭礦の提出案

【撫順】撫順炭礦昭和九年度事業費豫算編成に就ては最近漸く各採炭所、事業所、工場等現場當局さの打合を終り炭礦當局さしての提出案を得たので目下經理課に於て議案淨書中で本月末本社に提出の筈である、聞く處に依れば明年度豫算は數年來の消極方針がガラリさ變つた當局案で試みにその主要なる新規事業だけを掲げてみても、大官屯發電所五十サイクル、發電氣二萬五千KM二臺新設費六百萬圓を筆頭に龍鳳大竪坑開鑿費三百萬圓、オイルセール第二期擴張費約二百萬圓、舊市街社宅移轉新築費二百萬圓、古城子採炭所粉炭水洗工場新設費八十萬圓等の巨費を要する大事業多々あり以上だけでも實に一千三百八十萬圓さいふ巨額に上り更に例年當例の古城子露天掘剝土作業費三百萬圓其の他を合すれば例年四五百萬圓であつた事業費が一躍その四、五倍に當る二千萬圓近くの近年稀なる大事業費さなる

右各新規事業を見るに石炭增掘、昭和製鋼所送電用の發電力增大、危險家屋の移轉、國策による製油增大、石炭品位改良等々何れも止むに止まれぬ事業であり殊に社宅移轉を除き各事業さも大いに利益があがるさいふ緊縮時代の滿鐵豫算編成方針に合致せる事業であるだけ何れも削除するさいふ工合にもゆかぬ性質のものであるが、重役會議に當り果して如何の程度までに修正が加へらるゝか事業が事業だけ又二千萬圓さいふ巨額の事業費だけ興味ある問題であらう

文化とはこれ怪奇
滿博見物に出た旅順の百姓達 たまげ切つて歸る

【旅順】過去三回に亘つて行はれた旅順民政署地方係主催の管内村落滿洲人博覽會見學團は無事大成功裡に終了を告げたが今回の催しで各會毎に八十名以上百三十名の多數に達し然も六、七十歳の高齡者、老婦人の多かつた事は意外中の意外、他の團體さ大に變つた團體であつた

更らに變つた事はその大部分が未だ大連を知らず汽車も初めて見る、又乘つた事も臍の緒切つて今回が初めてだと云ふのだからその驚きは大したものであつた、先づ第一の質問が「一體博覽會さは何か……」

「何故に斯る大規模な設備をして人に見せるのか」さ云ふので引率者が大に説明に努め漸く納得し感想はたゞ驚くばかりで「アイヤ〳〵」の連發

第二日目は埠頭を見物させた處愈々老人連の頭は全く驚の世界に飛出した如くで數隻の巨船から煙が出る、丁度うらる丸が出港した際さて無數に張られたテープの光景、巨體が動き出すので益々吃驚する

最後に埠頭事務所で七階へのエレベーターの昇降で失神せんばかりに驚いて歸旅した、殊に電車はどういふ工合で動くのか最も不思議の一つさされてゐる樣であつた

鞍山神社の 秋季大祭典
九月十五日から三日間に亘り 餘興も盛大に催す

【鞍山】鞍山神社氏子總會は十七日午後一時から地方事務會議室で關係者出席のもさに開催せられた秋季祭典を九月十五、十六、十七の三日間さし昨年は時局に鑑み祭典のみを催したに反し今年は盛大なる祭典及餘興等をも催す、又本年は鞍山神社創立十周年に當るので記念事業さして大宮通の參道の改修工事を實施するこさになつた

商工都市奉天の 各縣駐在特派員
十六ヶ所から派遣

【奉天】商工都市の大奉天が將來全滿の中樞地位を占め交通網完成から各地方への市場開拓に天然の形勝にありさの考へから内地各府縣市よりの駐在特派員は滿洲事變來著るしく增加し現在では名古屋大阪、神戸其他朝鮮を含み十六ケ所より調査員又は駐在特派員を常駐せしめてゐるが其の氏名縣別は左の如くである（括弧内の數字は設立年月日）

▲廣島縣駐在員奉天輸入組合内板野六男（七、七、七）▲名古屋市立商品紹介所奉天加茂町五八神精市（七、一〇、一）▲名古屋日滿通商協會奉天出張所奉天小西門外藤井丈太郎（八、七、一）▲神戸市商工課出張所奉天千代田通四〇日滿貿易館内野添愼（七、八、一五）▲朝鮮總督府勸業課奉天駐在員奉天總領事館内小田久一（六、六、一六）▲朝鮮貿易協會奉天浪速通三二太田善之助（八、五、一）▲朝鮮水産組合出張所奉天浪速通三三陰山正三（八、二、一）▲福井縣駐在員奉天輸入組合内小泉達八（八、七、二）▲岡山縣滿洲商況通信所輸入組合内松田傳藏（八、六、二）▲愛知縣商品陳列所千代田通四〇日滿貿易館内矢部儀吉（六、四、一）▲石川縣滿洲市場調査員奉天千代田通四〇日滿貿易館内矢部儀吉（六、七、一）▲滋賀縣囑託奉天平安通一二森光太郎（七、五、三）▲和歌山縣貿易事務囑託奉天輸入組合内兒玉泰靜（八、三、一五）▲大阪産業部囑託奉天商工會議所野添孝生（二、四、一）▲神奈川縣東亞輸出組合奉天商工會議所加藤孝（八、七、一五）▲神戸海陸産物大西邊門外貿易同業組合奉天出張所下條松善（八、五、一）

富田サーカス 被害調査

【奉天】奉天總領事館においては富田サーカス團の被害狀態調査中

同文商業學校 實務成績良好

【吉林】學校教育の實務化を計る目的を以て夏期休暇一ヶ月間を利用し三年生二十四名を實務に當らしめた吉林同文商業學校では愈々十六日より復授業を開始したが約一ヶ月間の實務は何れも成績良好にして優秀なる足跡を印し中には感謝狀さへ授與されたるものあり、卒業未だ先長き今日に於て早くも就職口の確定を見採用申込者殺到するが如き好評を博して既に採用者側に斷るの現況にあり學校當事者も大いに滿足の意を洩らして益々意氣高潮堅固なる人物養成に努めて居る

安東神社の 記念臨時大祭
創立卅周年記念を迎へて 明年盛大に執行

【安東】安東神社は明治三十八年安東大神宮さして創立明治四十三年現在の安東神社さ改稱されたが明年で創立三十周年改稱後二十五周年に當るので明年記念臨時大祭を執行する筈であるが夫までに中門さ瑞垣を建てる事さなりその工費六千八百餘圓を一般から寄附を受けてゐる

奉天の牛乳

【奉天】夏季牛乳需要期にある奉天警管内で供給されてゐる牛乳の量は一日六石五斗に上り牛乳營業者五軒中鯉沼牧場のみ奉天で搾取する一石五斗の牛乳を除く外全部沿線は鞍山、熊岳城、蘇家屯から移入されてゐる、現在牛乳一合の値段六錢であるので毎日三百九十圓の牛乳が奉天市民に飲まれる譯で人口の增加と生活の合理化に伴ふ牛乳の需要は益々增加するであらうと云はれてゐる

機械實演博

【奉天】滿洲機械陳列所にては九月二十六日から十月二十二日まで新高町滿鐵グラウンドに機械實演博覽會を開催するこさになり樽田所長は目下これが準備に忙殺されてゐるが實演には日本内地の一流機械製作所川崎造船所其の他多數の出品あり盛況を豫想されてゐる、尚は二十一日午前十時から地鎭祭を擧行するこさになつた

旅順光華會員の 麗しい軍隊奉仕
美しい日本女性の誇り

【旅順】銃後の花さしてあらゆる方面に目覺しい活躍をつゞけてゐる旅順の光華會は金行海務支局長夫人を始め各方面の婦人を以て組織されいづれも一致協力麗しい女性の奉仕團體でその献身的活動さたゆまぬ傷病兵の慰問振りには白衣の勇士は勿論坪倉院長以下各係官も等しく感謝してゐるが十七日も砂川捨丸一行を招聘し百餘名の患者をして眞に歡樂境にひたらしめこの上なき慰安の目的を達成せしめた、なほ光華會員は殆ご連日病院内に赴き漸くうさんぜられ勝ちさなる傷病兵慰問には絶えざる奉仕を持續してゐる點誠に美しい日本女性さしての誇りである

二少女の醵金

【奉天】彌生小學校四年生中村綾子さんと一年生文子さんの姉妹はこの夏休み中お母さんから貰つた小遣を全部貯蓄して置いた金一圓十八錢を「これは極僅かでございますが、びんぼうで困つている人にあげて下さい」さ十七日奉天署に寄附して出たが、夏休みで[illegible]れだりする女の子がかうした金を寄附したこさに對し奉天署でも感激してゐた

英驅逐艦更代

【營口】營口入港中の英驅逐艦ノニベトラムは東洋派遣隊よりの命令により十九日出港秦皇島に向ひ砲艦ホワイトセット號十八日香港より入港の筈

鈴木院長歸營

【營口】滿鐵營口醫院院長鈴木主税氏は脚氣病の爲め轉地療養を必要とし郷里愛知縣に歸省中なりしが十八日午後五時二十二分着車にて家族同伴歸營せり

四平街天主教會の學校開く

【四平街】四平街鐵道東滿洲街天主教會においては道回附帶事業さして商業中學校を設立し商業上の知識技能を授くるさ共に英語、日語、漢文をも授け以て健全なる實業實務家養成の目的にて十七日開校した、入學資格は十四歳以上二十歳以下の普通高等學力を有する者にして現在生徒約四十名あり、同教會寄宿舍に收容し學資一ヶ月一圓、賄費一ヶ月四圓である

賭博開帳中の 八名一網打盡

【奉天】十八日午前三時頃市内住吉町一番地鍼力職松家三吉（三）方において七、八人の邦人が賭博開帳中さの屆出により浪速通り吉薬町千代田通りの各派出所より警官が現場に赴き内部の樣子を窺ふさ松家ほか七名が車座さなり盛んに賭博を行つてゐるのを現認し直に玄關の開扉に迫るさ彼等は戸を堅くさちて開けないので窓より踏みこまんさするや彼等は玄關から逃げ出さんさする處を内部に踏みこみ八名を一網打盡に逮捕し奉天署の留置場にブチ込み目下取調べ中

各地片々

◇錦州　谷縣長の後任さして過日着任した新任錦縣長馮廣民氏は十七日午後六時城内得味濟に坂本〇團長以下官民多數を招待し盛大なる披露宴を開催した一同着席するや馮縣長は涉學海識なる者であるが前任縣長同樣宜しく今後御指導を願ふ旨挨拶しこれに對し後藤領事は來賓者一同を代表して挨拶しそれより宴に移り盛會を極め午後九時散會した

◇金州　金州郵便局長鈴木悦之助氏は十七日の遞信局大異動により營口郵便局長に榮轉來る二十三日朝のハトにて家族同伴赴任の筈氏は昨年五月金州局長を命ぜられ爾來一年餘遞信事務の刷新に盡力した功勞者であつて一般から離金を惜しまれてゐる、なほ後任さしては奉天局より大坪書記補が局長心得を命ぜられ近日中來任の筈

手も足も出ず 三角地帶の鄧鐵梅匪
劉景文匪も附近攪亂が關の山

【安東】日滿軍の徹底的討伐に遭つた三角地帶の匪魁鄧鐵梅は手も足も出なくなり目下岫巖縣大洋河子及び一面山附近に部下五百と共に竄伏してゐるが積極行動は全然不可能に陷つたのでわづかに密偵をして討匪軍の動靜を探らしめ一面北平の救國軍本部との聯絡に腐心しつゝある有樣であるまた劉景文匪も部下一千を引連れ岫巖縣哭隆山に蟠居し鄧鐵梅と聯絡し頽勢挽回の機を狙つてゐると傳へられてゐるが附近農村を擾亂する位が關の山であらう、李春潤李子榮兩匪團も板津支隊の痛剿に潰滅し武器彈藥を山間に隱匿し部下は解散したさ

殿臣匪等討伐に兩將軍出動
いよ〳〵最後的討滅

【吉林】日滿軍警約六千名の決死的大討伐も馬の耳に念佛位に心得て暴行掠奪さては反日滿的行動を敢て行ひつゝある殿臣、宋國榮、毛作林、紅軍等の合流匪約千二百名は今回の我が日滿兩軍最後的大掃蕩に早くも呼蘭街北方地區に於て包圍壓迫され彼等の惡運も漸く迫りつゝあり怨み重なる彼等の全滅を畫せる中村少將、吉興司令官は此の掃蕩を徹底さす爲自ら陣頭に起ちて大いに我が日滿軍の威を發揮し王道樂土の實現に努むべく戰鬪司令部を○○に進め直接指揮の任に當ることゝなつた、尚滿洲側警備司令官吉興氏の出動は今回が最初で此の兩將軍自らの出動に依り旬日を出でずして匪賊の殲滅を期せらるべく十七日各々各部隊に訓示の上十八日早朝各署幕僚を從へ出動した

王仁岐匪の討伐
密偵逮捕で事情判り 鞍山守備隊敢然出動

【鞍山】遼陽警察署員のために逮捕せられ取調べの口述により發覺した捕虜偵探梁殿武は王任岐の命を受け去る十四日夕刻遼陽南方の鐵道爆破を決行すべく日滿軍警の警備の情況の密偵に派せられたもので梁は日滿軍警の目を晦ます爲め茄子賣の行商人に化け込み十五日午前二時三十分の眞夜中に除住子に差蒐つた際突然張込み潛伏中の遼陽警察署員に逮捕せられたものであるが梁が攜びたる茄子の中に挿入せる拳銃彈に依り企圖を發覺したものである、王仁岐以下五十八名の匪團は八卦頭の高粱畑內に新に掘擴ぜる洞穴七個に潛伏して居ることが判明した、斯くの如き報を遼陽警察から受けた鞍山守備隊では直に討伐隊の編成をなし同隊伊東大尉の指揮に及川部隊、大村部隊を編成伊東大尉は十七日午前十時三十分之を指揮し遼陽に前進し各方面からの情報蒐集に努め、一方羽山守備隊長は十七日夜遼陽に前進、鞍山守備隊主力及び遼陽警察署員、遼陽縣警察隊を糾合し之が總指揮官となり一擧にして王仁岐匪の剿滅を決行した伊東混成○隊は十八日拂曉を期して一齊に行動を開始した、伊東混成○隊情報第一信鳩便十八日午前九時二十分着我軍の隊形は十八日午後四時遼陽縣第一區自衛團及び遼陽警察隊を以て西干河子東方、守備隊警察隊は八卦頭西方地區、守備隊は兩隊の中央地區に展開し敵地に前進攻擊を開始す、午前五時守備隊は八卦頭東側地、遼陽警察隊は西干河子西南方に各々敵の洞穴に向ひ包圍圈を構成した、午前六時半洞穴の線に達す、洞穴を點檢せしも其の內部の情況により察して逃走せる模樣、討伐隊は午前七時西干河子に前進同部落を掃蕩不良分子檢擧中にて目下羽山守備隊長は八卦頭にあり

スポーツ使節歸る

スポーツ使節として日本を訪問して日本女子排球大會に出場し新興國女子スポーツ界のために萬丈の氣を吐いた新興滿洲國代表女子排球選手一行三十六名は十七日午後七時五十分着列車にて元氣にて歸京した【寫眞は新京驛歸着の一行】

鳳城縣下の匪賊

【安東】十七日午前三時ごろ匪首不明の三十餘名の匪團が鳳城縣大堡駐在所西方の西山部落を襲擊し反滿抗日を豪語しつゝ金品を掠奪し人質二十九名を拉去した急報に依り安東署高橋巡査外七名は午前七時出動追跡討伐した

匪賊に浚はる

【四平街】本月十三日午後五時頃昌圖縣第五區宮鷲樹居住の富豪永源興こと周樹範の孫某(一七)は同店炊事夫某と外出の儘歸宅しないので諸方に手配搜查中去る十六日匪首如意より大洋一萬五千圓長銃八挺阿片百圓を人質回贖料として伊通縣第七區宮溝に速刻持參すべしと通報して來た

匪賊出沒 撫順縣下に

【撫順】撫順署では過般來新楊堡管外地方面に屢々數名組の匪賊が出沒するので內偵中のところ賊の一味七名は新太河附近嵐家溝の大松林を根據にして活動せる由が判明したので警戒中のところ賊の一名劉木匠(三五)が最近頭目王某の拳銃一挺及び彈丸百五十發を竊取逃走せるを探知したので先づ右を取押へ本格的活動に移るべく手筈して牒者を派し劉を生捕るべく努めてゐたが、日本警察の活動を聞いた劉は早くも觀念し竊取せる拳銃に彈丸九十九發を添へて牒者に引き渡し身を以て逃れた由であるが、賊團は目下新太河附近の山中を轉々としてゐるさ

二名組強盜

【奉天】十七日夜八時頃城內第九署管內西塔街約里胡同門牌福來永糧米店に二名組強盜侵入し家人を脅迫して現大洋三十五元奉票二百四十元その他指環等を強奪逃走した目下犯人嚴探中

同道した女房が途中ゐなくなる
事實は汽車から墜死

【奉天】愛知縣碧海郡新川町生れ撫順居住萬達屋機械工作業板倉淺松(五〇)氏がその妻そう(四九)さ共に大連滿洲博覽會見物を終へ十七日夜十時大連發新京行十七列車に乘りこみ蘇家屯まで歸つて來た處淺松氏はその妻女がゐないのに氣付いて早速手配搜查中そうは他山、分水間で無慘な墜死を遂げてゐることが判つたので淺松氏は直に現場に向つた、そうは二年前から神經衰弱にかゝり苦しめられたことあり十八日午前二時頃頭痛がするので列車の後部に行つて來ると稱し座を外したが淺松氏は之を氣にもせず眠つて仕舞ひ漸く蘇家屯で氣付いたものでそうは列車のデッキに立ち休んでゐる間に過つて墜死したか又病氣を苦にして進行中の列車から車外に飛び降り自殺を遂げたものであるか不明で目下取調中である

愈よ九月から開校の運び
撫順縣中學と師範校

【撫順】撫順縣中學校及師範學校は縣財政窮乏の折柄復活困難であつたが、教育局及地方有志の努力によりいよ〳〵來る九月より開校の運びとなる模樣であるが、收容人員は中學校二班百名、師範學校一班六十名の豫定である

吉林神社用地測量に着手
當分は神社のみか

【吉林】民會有志の努力と滿洲側の諒解に依つて神社其の他の建設用地約六千町步は其の後稍進展した模樣で愈々十七日午前九時より概略實地測量に着手する事になり種々計畫の具體案を考究中であるが右に依り辻川副會長は語る

今回の土地商租は吉林神社建設を主眼として請願したもので之に準じて思慕碑其の他の建築を出來得るならばしたいと思ふのみにて豫算其の他の關係上公會堂設置などは夢にも議する事が出來ず神社の建設さへ一文の豫算なき當今にて全く有志の努力にまつより他になく今後の問題として商租價格を果してどの程度で許可さるかそれが一大問題である何れにせよ土地商租と商租價格の決定を見る迄は具體的進展は難しい

建設委員會
昭和製鋼所

【鞍山】昭和製鋼所の建設工事は至極順調に運び分塊工場並に製鋼工場の杭打ち及び基礎工事も豫想以上の好成績で進捗しつゝあり、來る十一月頃から着手すべき各種附帶工場、骸炭工場の擴張、敷地等は將來製造能力の變揮等について重大な關係があり、全體的の合理統制及び連絡の點を充分考慮すべきを以て建設委員會では愼重研究討議を重ね丁度高炉課長が十八日夜出發東上の途につくのでその以前に各工場附屬建物等の位置選定を決定すべく十八日午前十時から建設委員會を社長室に於て開催し種々討議し大體決定したさのことである

納入税金に僞造紙幣
犯人嚴探中

【安東】去る十四日安東商埠地東發祥商店から安東稅捐局に納入した稅金中に滿洲中央銀行券五角(五十錢)僞造紙幣六枚が混入してゐるのを發見し直に中央銀行支行に鑑定を求めたところ機械を用ひ一見眞僞を見受けられぬほど精巧に出來た僞造紙幣と判り安東憲兵分隊では金融攪亂の重大性に鑑み各警察機關を督勵して出所犯人の嚴探に努めてゐる

安東支部を設置決定
大滿洲正義團

【安東】大滿洲正義團は安東に支部を設置すべく會員募集中であつたが約三百名の會員を得たので愈々支部設置に決定し近く發會式を擧行する筈である

正義團支部

【四平街】大滿洲正義團四平街支部開設は既報の如くなるが其の後同事務所に於て擴張に努めたる結果去る十六日入團者總數四百九十七名に達し支部開設最低人員を既に超過せるを以て漸々發會式を擧ぐべく之れが準備着々進捗しつゝあるが目下同團主監濱井榮藏氏、內地歸還中なれば歸滿を待つて發會式擧行の豫定であるさ

怪失踪事件 漸く眞相判明す
全く本人の意思から

【奉天】既報、誘拐か、人攫ひかで十七日午前十一時頃「安はたばさんがつれて行くからさがさなくてもよい」と紙片に書き殘して行つたまゝ不明となつた加茂町七番地奉天居留民會副理事朴準東氏の子守安順愛(一四)に關しては奉天署で搜查中十八日朝安は加茂町大同アパートにゐることが判り本署につれ來り保護を加へてゐるが安は親には四歲のとき死別し兄弟もない不幸な身の上で朴氏方で子守として働いてゐるうち大同アパートにゐる鮮人少女で春ちやんといふ子守と仲よしになり元某カフエーで女給として働いてゐた有夫の婦人が子守が欲しいといふところへ安も充分な待遇を受けてゐないところからこれに誘はれて大同アパートに行つた事が判明した、係官は安に對し種々說諭したが朴氏のところへはどうしても歸らないといふし身寄りのところもないのでその處置につき考究中である

運轉手募集

【撫順】撫順炭礦では今回古城子露天掘電氣機關車及び電氣ショベル運轉手約三十名を募集中であるが八月下旬體格を主として考査が行はれるので希望者は二十一日まで古城子採炭所へ書式の願書を提出すべしと尚資格は小學校卒業程度身體強健なるもの二十一歲より三十歲まで

關市長一行

【奉天】日滿實業懇談會に來滿した關大阪市長一行は十九日來奉撫順を往復し奉天一泊、商工會議所主催で輸入組合を中心とし經濟調查會員と共に座談會を開催

旅順放送

▲西山、林前兩局長、御影池前課長、山村砲兵大佐、黑岩少佐に對する在旅官民有志の送別宴は十七日午後六時三十分から偕行社において開催、會する者各方面官民百七十餘名、米岡市長發起人を代表し送別の辭を述べ盃を擧げ五氏の前途を祝福し西山左內氏一同に代つて謝辭を述べ在旅官民の爲め乾盃、紅裙酒間を斡旋歡談數刻、日下內務局長の發聲にて五氏の爲め萬歲を三唱するや林長官又官民の爲め萬歲を唱へ盛況裡に八時四十分散會した

▲旅順重砲兵大隊では來る二十五日午前八時から模珠礁砲臺より一萬五千米の海正面に向ひ十五糎加濃砲及び十糎高射砲の實彈射擊演習を行ふ

▲大連民政署長に榮轉した御影池辰雄氏は十八日午前九時三十五分驛發家族同伴正式赴任せるが驛頭には官民多數盛んなる見送りがあつた

▲旅順署勤務巡查篠原仁藏、同山川宮次兩氏は今回精勤證書を授與され十九日午前八時本署講堂に於て署員禮裝立會の下に授與式が行はれる

▲今回の定期異動に依り大阪衛戍病院へ轉任した照山藥劑正、山口衛戍病院へ轉出した木村藥劑官は二十日午前九時三十五分發列車にて出發赴任する

▲大阪府扇町商業學校見學團十三名は十八日午前九時十分着列車にて來旅卽日離旅

▲大阪府教育視察團二十名同上

▲平壤教育視察團二十名同上

▲千歲町二ノ一植村美人氏方笠原卯吉(六七)翁は十六日死亡

けふの放送

大連 JQAK 八月二十日

▲午前六時 ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一
▲午前十時 新譜レコード(コロンビヤ)
▲午前十一時五十分 講演(新京より) ニュース
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時 ニュース
▲新內(六時三十分)「一の谷嫩軍記組打の段」彈語り高見たか
▲怪談「提灯河內屋」櫻川宇太助 (以下內地中繼)
▲舞臺劇(七時三十分、大阪より)「伊勢音頭戀寢刃」(古市油屋十人斬の場)福岡貢(中村福助)今田萬次郎(市川玉太郎)藍玉屋北六實は德島石次(實川延郎)德島石次實は藍玉屋北六(中村政之助)料理人喜助(中村政治郎)絆の次郎吉(中村福三郎)油屋お紺(中村福太郎)女郎おきち(中村政男)同おちか(中村福昇)仲居千野(中村福笑)同萬野(市川蝶女)はやし連中二葉會社中
▲ニュース▲氣象通報 (以下大連放送局より 八時三十一分)

東京 JOAK 八月二十日

▲舞臺劇(六時三十分)「身替音頭」場景(一)永井右馬頭屋敷の場(二)同奥庭音頭の場、齋藤太左衛門(坂東彥三郎)奧方花園(澤村源之助)永井左馬頭(坂東三津五郎)局一子若君(尾上眞幸)永井一子鶴千代(坂東龜之助)永井の臣源吾(坂東鶴藏)同左近(坂東飛鶴)腰元若菜(坂東八重藏)同皐月(坂東八重之助)永井の臣(同謠音)竹本連中太夫竹本音女太夫、三味線竹澤八重造長唄はやし連中柏伊三郎社中

ニチヨウフロク

童話 ポッポ一等兵

山田健二

……1……

安奉線の山の向ふ側は三角地帯と云つて今でも澤山匪賊がゐて、時々山を越えて驛を襲つたり、走つてゐる汽車を射つたりします。

本溪湖に近い小さい驛の守備隊に山下といふ一等兵がゐました。入營した時の歡迎會でみんな勇ましい軍歌を歌ひましたが山下一等兵だけは「鳩ポッポ」を歌ひましたのでそれから「ポッポ一等兵」といふあだなをつけられました。

……2……

ポッポ一等兵は鳩が一番好きでした。それで暇さへあれば「鳩ポッポ」ばかり歌つてゐます。上官が軍歌を教へてもなか〱覺えません。

「ポッポ一等兵、ついて歌つて見ろ……こゝはお國の何百里……」

「こゝはお國のポッポポッポ……」

「バカッ！お國のポッポポッポとはなんだ！」

「あゝ滿洲の大平野……」

「あゝ滿洲のポッポポッポ……」

あまりポッポポッポばかり歌つてゐるので或日隊長さんに呼ばれました。

「お前は本當に鳩が好きなのか」

「ハイッ！猛烈に、絶對に、斷然好きであります」

「アハ……そんなに好きなら傳書鳩の世話をしてみろ」

「ハッ！嬉しいであります、萬歳！」

「ハハハ…そんなに嬉しいのか」

ポッポ一等兵はそれから一生懸命に鳩のお世話をすることになりました。夜中に雨でも降つてくると飛び起きて小屋に見に行きます。鳩が病氣にでもなると側に附きりで看護しますので鳩もポッポ一等兵を見ると衛衛のやうな眼をクル〱させて喜びました。

……3……

火が燃えてゐるやうな暑さになつて高粱が背の高さほどに伸びました。匪賊が時々山を越えて驛を襲ふので守備隊ではいよ〱三角地帯の匪賊を討伐することになりました。

みんな重い背嚢を背負つてゐますがポッポ一等兵だけは五羽傳書鳩の入つた籠をかついでゐました。

木一本生えてゐない山を幾つも越えヤツと岩陰を見つけて休めばアブや毒蟲がさすので少しもヂッとしてゐられません。何里歩いても泥水の溜りさへないので、腰にさげた水筒の生温かい水が寶の山より尊い「生命の水」でした。兵隊さん達はその水を時々すゝるやうに大事に飲んで元氣を出しては又行軍しました。

……4……

ちやうど四日目の晝、低い岡の上に登つて四方を眺めてゐた隊長は「伏せーッ！」と突然號令をかけました、皆焼き付くやうに地に伏して前方を見ると、大勢の支那人が馬に乗つてこちらに走つて來ます。

隊長は双眼鏡をあてゝ見ました

「いよ〱來たな、大部たるぞ」

双眼鏡には味方の何十倍か分らないほどの匪賊の姿が寫りました

「オイ！直ぐ傳書鳩をやつて本隊に報告しろ！」

「ハッ！」

ポッポ一等兵はもう一羽きり殘つてゐない鳩に狀況を書いた手紙をつけて放しました。

「おい…氣をつけて行くんだよ」

鳩は二三度圓を描いてゐましたが守備隊の方向が分つたと見え、一直線に敵の方に飛んで行きました。

「アッ！あぶない！」

ポッポ一等兵は思はず叫びました。

……5……

それから二、三時間たちました。激しい戦ひは漸く終り、匪賊は澤山の死骸を捨て逃げて行きました。夢中で戦つてゐたポッポ一等兵はフト我にかへつてあたりを見ますと敵も味方もありません。肩から額から足から黒い血が流れ喉が燒付くやうに乾きます。ポッポ一等兵は血だらけの手で腰の水筒をさぐつて、振つてみました。かすかな水の音。

「ム……未だあるぞ」

一等兵は嬉しさうにセンを抜いて一息に飲まうとした時……

クク……と直ぐ近くで聞き覺えのある鳴き聲……

「オヤ？」

一等兵は聲のする方に這つて行きました。

「あゝ鳩だ……僕の鳩だ」

其處にはさつき離した傳書鳩が小さい胸を射たれて倒れてゐました。

ポッポ一等兵はあわてゝ鳩を抱くと、飲まうとしてゐた水筒の水を鳩の嘴に入れてやりました。

……6……

翌日應援に來た兵隊さんは高粱畑の陰に鳩を抱いて戦死してゐるポッポ一等兵を見付けました。

兵隊さん達はポッポ一等兵と鳩を取卷き眼に一ぱい涙をためて捧げ銃をしました。

唄ひお話する 珍らしい犬

英語のほか獨逸語も

犬が人間のやうにお唱歌をうたつたり、お話をしたりするといつたら、みなさんはほんとうにしないでせう、ところがイギリスのロンドンに住んでゐるマーク・シラーといふ人が飼つてるアルサス種で八つになるバシーといふ犬はシラーさんのおばさんを「ママー（おかあさん）」と呼び、このママーの弾くピアノにあはせてイギリスの國歌「ゴッド・セーヴ・ザ・キング」を一節でも間違はずはつきりうたふといふのです、そしてシラーさんのお話によりますと、このバシー君は小さい時ドイツのベルリンから買つて來たものですが大へん覺えがよくイギリスの國歌のほかに、たくさん歌を知つてゐて、またバシー君は英語のほかにドイツ語もお話するといふから大へんなものです。

こどもの考へ物 第六十回

やあこれは 見た事があるゾ プロペラーかナ

皆さんこゝに出した寫眞の品物はどこかで見たことがあるでせう、飛行機のプロペラーでもなし、お船の推進機でもないらしい、さて何でせう？わかつた方は來る八月二十七日までにハガキで、大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてお答へください、正解者にはいつもの方法で二十名に限りご褒美を差しあげます

第五十八回の答 菱刈大將です

なくなられた武藤元帥の後をひきついで滿洲においでになる方は菱刈大將でした、皆さんはよく先生のお話をきゝ、お父さまやお母さまたちのお話を覺えてゐるので、こんな考へ物が出ても間違はずに殆ど全部の人がお答へすることが出來たのでせう、今度も籤をひいて左の方々にご褒美をあげることにしました

當籤者

▲大連深澤益▲同富田よし子▲同坪井敏夫▲同茂木昇▲同三宅秀和▲同安富孝一郎▲同武田泰忠▲同窪田信子▲同山賀治夫▲同中村正枝▲同竹内順二▲同佐貫順夫▲同龜本安子▲鞍山春田壽子▲鐵嶺梁觀鎬▲海城佐々木節幸▲新臺子安部康彦▲立山原口久二男▲遼陽稼木義信▲營關店平山泰

なほ當籤者で大連市内の方へは新聞社から當籤通知のハガキを出しますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りしますから、樂しみにそれまでおまちください。

模型飛行機 新記錄

二十八分十八秒

みなさんは模型飛行機が大好きですね、これはアメリカのお話ですが、ついこの間ニユーヨークのルーズヴエルト・フイールド飛行場で全米模型飛行機大會が開かれました、この大會で一等になつたのはフイラデルフイヤのマック・ウエル・バセットといつて、バセット君の愛機は、皆さんのゴムの飛行機と違つてガソリン付の模型飛行機ですが廿八分十八秒を飛んで世界の新記錄をつくりテキサス・トロフイをもらひました

アリの住家(すみか)――サナギと子虫を見まもるアリ

情け深く親切者 陸の智惠者『蟻』の話 人間につぐ文明生活者

私たち人間の偉いところは大勢あつまってお互に助けあって共同生活をしてゐることです、ところが今地球上に八十餘萬種の動物が生きてゐるうちでもわれく人間についで文明な生活をやってゐるのは、いたづら坊主をチクリとお尻の針で刺す蜂と甘いものに眞つ先にたかるあの小つぼけなアリです アリには女王(メス)王(オス)勞働者(卵をうまないメス)の三種類があってそれぐ違った役目をもってゐるのです、このうち王樣は數十匹ゐますが、女王は大てい一つの社會に一匹ときまってゐます、そしてこのアリたちは子孫をふやす役目をもってゐます、ところが勞働者といふのは名前のやうにアリの社會で一ばんの働きもので、一つの社會のうちに少いものでも二、三百匹、多いものだと何萬匹とゐて、朝から晩まで一生懸命にはたらきます、ですから若しこのハタラキアリがゐなかったならアリのお國はきつと亡びてしまふに違ひありません

アリの國(くに)の議會(ぎくわい)　暑いところにゐるアリはときぐかうして集まってアリのお國の相談をするといひます

大工(だいく)さんになつたり こどもを育(そだ)てたり 一生懸命稼(いつしやうけんめいかせ)ぐ勞働者(ろうどうしや)

そ　こでハタラキアリについてお話いたしませう

ハタラキアリは第一に巣をこしらへます、アリの巣は地面を掘ってトンネルのやうになってをります

ハタラキアリはその丈夫なアゴで土をほって、細い土の塊りをくはへていちく外へ運びます。何しろあの小さなからだで運ぶのですからなかく大變ですが、ハタラキアリは大勢で力をあはせて一生懸命働きます。アリの巣は地下十數尺も深くトンネルになってゐることがありますが、こんな大きなお家をいつのまにかこしらへてしまふのですから全く驚く外はありません。それればかりでなく

ア　リの巣は全體が數階の階段になってゐて、たくさんの部屋にわかれてをりますが、その部屋は食物をしまってお

くところ、卵を入れておくところ子供の部屋といふ風にみな別々になってゐるのです。アリによっては地上に高い塔をこしらへてお家としたり、枯れた木に穴を掘ってそれを巣としてゐるのがありますが、それもみんなハタラキアリがこしらへるのです。それからハタラキアリは子供を育てることもいたします。まづメスアリが卵をうみますと

ハ　タラキアリがすぐその卵を別の部屋に運んで大切にそれを守ってをります。卵は二週間位すると可愛らしい子蟲が生れますが、ハタラキアリは自分の胃袋からお乳のやうなものを出してそれで育てるのです。そして毎朝日光が出るとその子蟲を口でくはへて巣の外につれてゆき暖かい日光にあてゝやります。やがて子蟲はマユをつくってその中でサナギになり、それから十日もすると始めて一人前―ではありませんが一匹前のアリになってマユから出てまゐりますが、ハタラキアリはなほ五六日の間は食物をわけてやったり、いろくの面倒を見てやるのです。ハタラキアリは食物をさがす役目もいたします。大きなミミズをたくさんのアリでひきずって行ったり

お　砂糖にたかったりするのはみなハタラキアリです。そのほか敵が押寄せてくると、それと戰爭をして自分の巣を護るのもこのハタラキアリの役目です。皆さんなんと感心なアリではありませんか。

ヘビをおそった兵隊アリ

おもしろい 蟻(あり)の職業(しよくげふ)

ア　リがお互に助け合ったり愛し合ったりすることは人間以上です、たとへばお友だちが疲れて仕事が出來ないのを見ると、そのおてつだひをしたり、お友だちに代って働いてやったりします、もしお友だちが大へん忙しくて食事をするひまがないとわざく食物を運んで行ってお友だちにたべさせますし、けがをしたものでもあると、それを助けて巣に連れて歸ったりしますけれども、皆さん自分の仲間にはこんなに友情にあつく、親切ではありますが、他の巣のアリとは大へん仲がわるく、喧嘩をすることが度々あります

アリの子虫(こむし)です　アリも小さいときはこんな白いウジ

喧　嘩は大抵食物のうばひ合ひからはじまるのですが、何百何千といふ澤山のアリが入りみだれて戰ふことがあります、アリは非常に勇敢で、一たび敵に喰ひついたら首がちぎれてもはなれぬ程でいざとなると命を捨てゝたゝかひます、それで、何千といふ澤山入りみだれてたゝかってゐる時でも敵と味方はちやんと知ってゐるさうです、南アメリカにゐるオルミカサンギアといふアリは大へん戰爭ずきで、よく戰爭をしますが、もし勝敗がつかない時は一時互にある一定の線まで退いて休戰するといふことです、こんなところは人間の戰爭とおなじですね

な　ほアリについて不思議のことをお話しいたしますと、キノコをつくってそれを食物としてゐる菌アリや、アブラムシを飼って巣のなかにおいて、その蟲から出すあまい汁をのんでゐるアリや、敵の巣を大勢でおしよせて、卵やサナギを敵からうばってかへり、それを育てゝ家來にしていろくな用事をさせてゐるさむらひアリや赤山アリなどがあります、またメキシコやテキサス地方にゐるアリのうちには「蟻の米」といふ植物だけを殘し、周圍の雜草を刈りとって「蟻の米」だけを護ってその實をとって食べてゐる農業アリといふのもあります

てうちんアリ　これは別の名を蜜蟻といつてお蜜をたくはへたところ

テキサスの農業(のうげふ)アリ

うはゞみやライオンもかなはない アフリカの軍隊(ぐんたい)アリ 馬(うま)なら二時間(じかん)で骨(ほね)だけにする

こ　れまでに大分アリの生活についてお話ししましたが、最後に一つ面白いアフリカの軍隊アリのお話をしませう このアフリカの軍隊アリは、きまったお家をもたず、いつも大きな群をつくって、アフリカの山や林や野原を別にあてもなく歩きまはり、けふは石の下、あすは木のほらとその時の都合次第で、どこでゝも休んで、食べ物のあるところへ移ってゆくといふジプシーのやうな生活をしてゐます、この軍隊アリのうちでも一ばん有名なのはドリルスといふアリです

そ　して面白いことにはこの種類では勞働アリにも兵アリにも目がなくて、目あきはたゞ雌だけなのです、しかしたとひ目はなくても觸角が大へんよく利くので不自由しないといふのです、そのうへキラく光る太陽が嫌ひで、夜か曇った日に働くといふ變りものです、このほかアノマの軍隊アリといふのがありますが、これはトカゲや大蛇などゝ戰っても決して負けないばかりか、カモシカなどを呑んでウッカリお晝寢でもしてゐるうはばみがゐると、たちまちこれを取りかこんで刺し殺してしまふといひます、そしてまたこのアリの大群にかゝってはけものの王樣の

ラ　イオンやゴリラなどもコソく逃げ出してしまひ、一頭の馬なら二時間ぐらゐで骨ばかりにしてしまふといふことです

剃刀女王(かみそりじよわう)

イギリスに「剃刀女王」とみんなから呼ばれてゐる二十一歳の娘さんがゐます、この娘さんは小學校を卒業すると同時に、理髪屋さんをやってゐるお父さんの手助けをして來ましたが、大へん仕事が早くて、上手で、このごろでは一人の顏剃にはわづかに三十秒しかゝらないといふから驚くではありませんか、この早さだと一時間に百二十人の顏がそれるわけです

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

(一) 次の詩を普通の文になほしなさい

生れて潮に浴して
涙を子守の歌と聞き
千里寄せくる海の氣を
吸ひてわらべとなりにけり
涙にたゞよふ氷山も
來らば來れ、恐れんや
海まきあぐるたつまきも
起らば起れ、驚かじ

(二) 次の言葉の意味を書きなさい

1、溫和な人となり
2、才氣のひらめく篤學の壯年
3、研究を大成す
4、我國文學の上に不滅の光を放つ
5、凡ての物に感謝の念を持ち得る人は幸福だ
6 學識非凡

(三) 1、次の言葉を組合せて意味のはつきりした文にしなさい

イ、空がだんく
ロ、なってきた
ハ、時が立つに
ニ、くらくなり
ホ、雨が降りさうに
ヘ、今にも
ト、つれて

2、次の□の中に適當な漢字を入れなさい。

本居宣長は絕えず□□して灌漑の□を受け□□の□□は日一日と□□の度を加へたが□□の□□は松阪の一夜□□とうく來なかった。

(四) 1、次の漢字の讀方を書きなさい

イ、上座の老僧(　)
ロ、赤銅(　)
ハ、行燈(　)
ニ、百尋千尋(　)
ホ、波打際(　)

2、次の文字に誤りがあれば正しなさい。

イ、畜音機(　)
ロ、辯護士(　)
ハ、貸幣(　)
ニ、知織(　)
ホ、全減(　)

(五) 次の言葉を使って短文を造れ

1、すごく
2、さながら
3、しきりに
4、今にも
5、用を辨ず

前週の答 算術

(1) $\frac{7}{24}$
(2) 35錢 [illegible]
(3) 10人 [illegible]
(4) 15圓20錢
(5) 9人
(9) 1時間10分
(7) 9：10
(8) 264圓
(9) 300圓　200圓　150圓
(10) 甲110圓　乙44圓

鑄物工場

キユーパラーの中の鐵が熔解されつくすさ、鐵は火花を散らしてレードルに移し込まれる、鐵道工場の中でも一番暑いのは鑄物工場だらう、レードルの鐵が砂の鑄型に流し込まれるさ眞白い水蒸氣が部屋一ぱいに立ちこめる、屋外に對熱作業者休憩所さいふさゝやかな日陰がある、こゝに僅かに流れる風が鑄物工達に千兩の價を知らしめるのだ、非常時工場は火花の中に活躍を續けてゐる

スチームローラー

アスフアルトは敏感だ水銀柱の高さに正比例してかたくもなり、又軟かくもなるその上をスチーム・ローラーがガツタン、ゴツトンさ鈍い音を立てながら往復してゐる、八月の人生をシムボライズするに最もふさはしいものはスチームローラーだらう

機關室

一萬噸級の大汽船の心臟部、限りないメートルをにらみつけながらハンドルを握るさ、燒けたゞれるやうなあつさを感じる、通風管を通して僅かに流れ込む涼風、外は涼しからう大海原だ、唯待たれるものは交替の來る時間そして更に待たれるものは上陸の日だ

ボツクス

入場人員毎夜千名近くなる映畫常設館、その舞臺には人の活氣さ熱氣が全部集まる、解説者の汗みどろだ、汗ににぢんだ「ダニユーブの小波」がナニ涼しかろ、オールトーキーの映寫は樂師さ解説者の骨休めだ、だがトーキーばかりでは昼の間題、八月はあつい〳〵、何れにしてもつらい暑い商賣だ、映寫館從業員に幸あれ……

料理場

一日に三度出現する熱氣地獄、ホテルの食堂料理場はやけ切つた眞鍮の臭さ湯氣で充たされてゐる、釜や鍋をあげる度にボーツさ燃えあがる焔が眞白いユニフオームに反射する、風通しの好い、日陰の食堂でフオークさナイフを動かす人々に、料理場の苦しさは想像がつかないだらう

入場券賣場

博覽會の入場券賣場、バラツクのトタン屋根に直射する八月の太陽は火のやうな熱氣を小さな部屋中に立ち籠めさせ體中に汗を湧き出させる、この汗ばんだチケツト嬢の手から渡される入場券に一萬圓の夢が乘つてゐるのだ、殘暑さはいへ暑苦るしすぎる……

ボイラー室

海にゐて、海の涼風に接することが出來ない、こゝは大汽船のボイラー室だ、石炭粉さススさ汗さ、そして白熱化した焔さ、たゞそれだけのボイラー室だ、鐵、鐵、鐵ぶツつかりあふ鐵の音が、神經をかき立てゝ狂ひ出しさうになる…

講談　伊達娘戀の緋鹿の子

邑井貞吉

上

天和の頃本鄕駒込願行寺門前に青物渡世の久兵衛といふ正直者があつた、此の人は以前加賀家の足輕であつたが、僅かな扶持を貰ひ奉公して居ればとて先づは出世の目的も無い。いつそ町人になつて氣樂に世を渡らうと暇を取つて娘のお七を伴れおみさといふ寡婦の許へ入夫したのです、ところがおみさが考へたのはお七に婿をされば久兵衛は自分の婿にかゝるのだから都合がいゝが、此方はあかの他人、末は邪慳に扱はれるだらう己れの身内を入れて置けば、何にかの時に勝手が利くと、在所の二合中から甥の武兵衛を伴れて來てお七と縁を纏めやうとしたが、これは不可能です、お七は天人娘と噂される美人武兵衛は洵に醜男でそれに大分低能です。此の配合は些と無理、それでも叔母の言葉を信じ、末はお七と夫婦になれると思つて一生懸命働いて居ります。

時に天和元年正月十二日の夜の十時過ぎに、本鄕丸山德榮山本妙寺の普請小屋から出火し、折柄の烈風に煽られ駒込願行寺門前まで焼け延びて來た。八百屋久兵衛は驚いて、おみさ武兵衛と荷を頻に片付けて居る所へ刺子を被て手鍵を腰へ佩し頭巾を深く冠つて飛び込んで來たのは、加賀家の火消で傳吉といふ男です

傳「どうも騒々しい事でございます」

久「是れは傳吉さん能く來て下すつた。どうでせうな此の火事は」

傳「左樣ですねえ、慰う煙が來るやうでは助かられえ、早く荷をお出しなさい、後から友達が二三人來ますが、傳吉から聞いて來たと云つたら安心をして荷を渡して宜うがす」

久「有難うございます、そこでね傳吉さん、大切なものをお前さんに頼み度いが、それを持つて行つて下さいまし」

傳「宜うがす、此方へお出しなさい」

久「此の葛籠には大切な物が入つて居ります、指ケ谷町の圓乘寺樣は私の菩提所で和尚の日榮さんとも懇意の仲だから、荷物を運んで貰ふ序にお七も一緒に伴れて行つて下さい、お七やお前傳吉さんと圓乘寺樣へ立退きな」

七「それではお願ひ申します」

傳「此の葛籠の上へ乘つて私の肩へ足を掛けて頸へ確り捉まつて居ておくんなさい、手を引いて伴れて行く譯にはゆきませんから、まごついてでも居やうものなら踏み殺されてしまふ」

傳吉は其儘土間へ下り葛籠の連尺へ兩の腕を入れて

傳「サ、お七さん此の葛籠を跨いで足を此方へ出して、頸へ捉まつて」

お七は縮入の上に白地の浴衣を着て手拭で姉さん冠り傳吉の云ふ通り葛籠を跨いで頭巾へ確り捉つた。

傳「もう少し手を上へやつて、それでは目を押へていけねえ、デハ久兵衛さん確にお七さんは預かりましたよ」

と、昇いで飛び出した、二階で是れを見付けた武兵衛が

武「待て〳〵俺も一緒に行く」

とヨタ〳〵飛び出したが、服裝が大變、布子を三枚其の上へ長半纏そこへ普通の半纏を着て小倉の帶を胸高に締め、紋羽の股引を穿き、足袋は黒と白の片跛、足が暑を打つてゐるやう、濃淺黄の手拭で頬冠り、その上から鉢卷をしたが兩端がぶらりと下りと絽の垢すりが附いて居る、如何いふ考へか棕櫚帚を腰に佩し、お七やアーいと飛び出した。傳吉は圓乘寺へ來て見ると墓場は荷物でいつぱいです、當寺の別室に預けられて居るのが神田お玉ケ池に邸宅の在る旗本小堀源十郎の嫡左門といふ美男子でした。そこへ傳吉が來て

傳「若樣、お出でになりますか」

右「オ、傳吉か、火事は如何なつたな」

傳「未だ消えませぬが此方は風上ですから大丈夫でございます、就きまして此の娘は豫て御話をして置きました本鄕願行寺門前の八百屋久兵衛の娘、お七と申します者ですが、立退所に困つて伴れて參りました、御迷惑でも今晩だけお寺へお置き下さいまし」

左「ア、宜しい共悠然休息して、葛籠は其處へ置いて行け」

傳「お願ひ申します、お七さん今に阿父さんを伴れて來るから此處に居ておくれ、どうぞお願ひ申します」

と傳吉は引返した、これが惡縁の結ぼれとなつた。

中

偖て久兵衛は家は焼けたが、幸ひにも怪我はなかつた圓乘寺へ來てお七に會ひ

久「自宅は灰になつたが傳吉さんのお友達が十人も來て呉れてすつかり品物は出して下すつた、焼いた物は物置の隅にあつた澤庵の空樽位な物だ。マア幸ひだつた、早速普請にとりかゝろ、出來上るまで當分御厄介になつておいで、出來次第迎ひに來てやる」

七「それは結構でした。家が焼けて」

久「お前變な事お云ひだね、焼けて宜い事があるものですかい」

七「イ、エ御兩親が無事で斯んな芽出度い事はありません。武兵衛さんは生きてゐますか」

久「之れも怪我はない」

七「マアあの人こそ家と一緒に焼けてしまへば宜いものを、助かつたとは生意氣な」

何が生意氣な事があるものですか、家の焼失を幸ひにして普請が出來上つてもお七が歸らない、久兵衛も伴れて行かう樣子も見えない、その内に誰から聞いたか左門とお七の仲が知れた、サア武兵衛が堪らない、久兵衛の媒妁役家主重兵衛の許へ來て委細を話し

武「私も男だ二日でも三日でもお七を女房にしなければ一分が立ちません、どうか智恵を貸して下さい」

と手放しで泣き出した

重「困つた男だな、泣く程口惜しければ何とか考へてやらう、何しろ相手のお七がお前を嫌つて居るんだからな、事が仕難い、仕方がないから此上は荒つぽい事をやるんだな」

武「荒つぽく」

重「斯うするんだ、出刄庖丁を呑んで、圓乘寺へ行き、差し迎ひになつて居る處を突き止めて、間男見付けた動くなと飛び込むんだ、向ふの身體へ疵をつけると此方が惡くなるから、出刄庖丁を上の方で振り廻して痛くないやうにちよいと自分の腕へ疵をつけて向ふが斬つたと拵へてお奉行樣へ訴へるんだ」

武「ヘエ」

重「それで左門の家は立たなくなる、さうするとな、圓乘寺でも世間の手前があるからお七を逐ひ出す、據なく久兵衛さんが俺の所へ内談にと縋みに來る、その時に思ふ樣油を搾つた上三日でもお七と夫婦にして屹度一分はたてさせてやる、うまくやれ」

と煽つた。悦んでその日の夕方奴は物を懐中し濃淺黄の手拭を唐茄子冠りにして、圓乘寺の本堂へ沿つて後へ廻ると左門の別室、時は四月の初旬卯の花が咲いてゐる、武兵衛は竹垣の崩れから腰を落して手を突き、夕立の跡で飛び出した蟇のやうな形で中の樣子を見て居ります、とは知らずお七に左門は

七「マア御覧遊ばせ、卯の花がよく咲いたではございませぬか、それに木の葉も大分青々として參りました」

左「オヽ初夏の景色はよい物だな、花を送ると又蒔棄を迎へ、聽ては時鳥も啼くであらう、久兵衛は未だ戻らぬか」

七「もう歸るでございませう、アヽ若樣私は永くお手許に居り度う存じます」

左「わしもお前を置き度い、併し預け中の身の上、それもなるまい」

七「逢ふは別れの初めとは能く申したものでございます、若しお別れ申すやうな事が出來ますれば私は生きては居りません」

聽いた武兵衛が逆上つた、滿身の血液がカーッと一度に顛へ押上つた、垣を打毀しまた●●●●と見つけた左門を望んで突きかゝつた、コレ何をすると拂つた機みに右の手へ輕傷を負ひました、武兵衛は自分を斬る事を忘れて暴れ廻る、お七は驚いて「誰か來て下さい、氣狂ひが來ました」と救ひを呼ぶ寺男が聞きつけて飛んで來ると、持合せた竹箒で出刄庖丁を叩き落し武兵衛の顔を下から上へ撫で上げた、竹だから痛い、ヨロケて縁から庭に落ちる、納所の小坊主がかけて來て無法者めとボカ〳〵なぐり裸體にして縛り上げた。サア圓乘寺で承知しない、町奉行沙汰になつたが、式を擧げた譯ではなし、只一緒にしてやると云ふ話しに止まつて居る。そこで此の訴訟は無論武兵衛に理がない、武兵衛と重兵衛はお叱り「寺院へ若き男女を一ツ部屋に差し置く故怪樣な間違ひを生ずる、コレ久兵衛お七を伴れて早々寺を引拂へ、左門には手當を致して遣はせ」と島田出雲守が洵に穏かな裁斷、誰にも瑾をつけない、之れが爲に久兵衛はおみさと別れ、お七を伴れて本鄕四丁目に青物商を營んだ。一方若者達の戀は益々燃え立つて來た。

下

或る夕刻お七が洗濯へ行かうと七ツ道具を手拭に包み裏口を出て來ると、[illegible]た男が出て

男「お七さん、一寸顔を貸して下さい。あつしです」

顔を突き出したのを見ると、左門とお七の文使ひをしてくれる植木屋の吉三郎です

七「オヤ吉さんですかい」

と言ひながら倚つて來た

吉「若樣から御傳言がありましたから――」

七「毎度濟みません、お手紙ですかい」

吉「マア、其處へ蹲んで下さい」

己れも腰を蹲めて

吉「扨お七さん、逐々若樣のお家は立たないさうです」

七「アラ左樣なことになりましたか」

吉「昨夜私をお呼びなすつてそのお話さ、で若樣の思召はお家の騒動で死んだ方が大分ある、其の菩提の爲めに高野へ登つて菩提を弔ふ積りだ、それに就てお七に頼みたき事がある、何うか呼び出して此の事を話してくれと仰しやいました」

七「それでは如何いふ御用かこれから直ぐに圓乘寺樣へ伺つて」

吉「それはいけねえ、跡が面倒だ」

七「デモ伴れて來てくれとお前さんに頼みなすつたではございませんか」

吉「それは仰しやつたがアノ本妙寺の火事が縁で、若樣とお前さんが夫婦約束をして、そこへ武兵衛さんが飛び込んであの騒ぎ、それが基で御奉行沙汰、云はば御奉行樣のお叱りで二人は離れたんだ、今お前さんがお寺へ行けばお上へ濟むまい」

七「デハ如何しませう」

吉「サア火事でもあればだが、それもお前さんの家が焼けなければ如何にもならない。非常の時なら行つたところでお咎めはない筈だ、他人の家を通り抜けたつて誰も叱言は云はない。仕方がないから他人の家では面倒だから、お前さんの家へ放火をするんだね、もう十六歳だ、十六歳と云へば子供ぢやアない、氣狂ひではございませんさ、若し間違つたならばお役人樣の前で言ひ通すんで、立派に申開きは立つ、世間でも眞逆にお前さんのした事とは思ふまい、さうすれば左門樣に會へるのだが、マア能く考へてごらん」

と惡い智慧を附けた。お七は最早夢中です、其夜家内の寝靜まるのを待つて焜爐へ火を焙し、それを室十能へ取つて二階へ上り、戸棚から空葛籠を引き出して、綿や襤褸を入れて上からサーと火を入れ團扇で煽ぎ初めた。是れではたしかに火事になる、見事に成功した、戸棚から火を噴き出して、忽ち天井へ移つた、開けて置いた北の窓から吹き込む風に屋根へ燃え抜けた、お七は二階へかけ上り

七「阿父さん火事ですよ、二階から火事が始まりました」

久兵衛は目を覺し梯子を上るとドッと火に煽られて轉げ落ちた。

久「大變だ〳〵、火事だ、サア皆起きろ、家が火元だから箸一膳、下駄一足出しちやアならねえ、早く逃げろ」

と先祖代々の位牌を懐中し、お七の手を引いて表へ出た

久「怪我はしないか」

七「怪我はしません、大層燃え出しましたねえ」

久「ア、飛んだことをしてしまつた」

七「これから圓乘寺樣へ立退きませう」

久「イヤお奉行樣から云はれて居るから圓乘寺へは立退けません」

七「デモ非常の時にはお咎めはないさうです」

久「何でもお寺は行けない、サア皆さん火元は八百屋久兵衛です、何うぞ消して下さい」

と名主へ訴へた、放火を勸めた吉三郎は暴動不審の廉で中山勘解由の手に召捕れ舊惡が露見した、隨つてお七の放火も表向きとなつた、放火の罪は火焙りの刑と定まつて居ました、御奉行の御憐愍もあつたがお七の納めた谷中感應寺の額面が證據となり天和二年十月江戸引廻しの上鈴ケ森で火刑に處せられた、吉三郎は打首の上獄門となる、お七の遺骸は久兵衛が貰ひ受け小石川指ケ谷町南縁山圓乘寺へ葬り、秋月妙榮信女と諡しました左門は後僧となつてお七の菩提を弔ふ、寶永三年正月大阪の俳優嵐三右衛門が江戸へ來た時に、若女形の嵐喜代三がお七に扮し頗る人氣を取りました（完）

マダム!! すみませんが 御遠慮願ひますヨ 海があふれて 子供が溺れると 困りますから

幸

一年前の回顧

畏し大御心

（八月二十日）

天皇陛下には農山漁村振興資並に日本學術研究振興會補助資として二十日内相、拓相、文相に對し畏くも御下賜金御沙汰があり、三相は午前九時半宮中謁見所に伺候、一木宮相を經て御沙汰書並に御下賜金を拜受、陛下に拜謁御禮を言上して退下しましたが、御下賜金は内務省に三百萬圓、拓務省に三十萬圓、文部省に百五十萬圓で、これは震災御救恤金につぐ巨額のものでありました

わが軍縮全權更迭

（同二十一日）

賜暇歸朝の途にある軍縮陸軍側全權松井石根中將は八月末歸京しますが、同中將はそのまゝ歸任せず軍縮會議休會明けまで軍縮首席隨員の建川美次中將と更迭、聯盟總會には帝國代表顧問格で活躍することになりました

第三次臨時議會

（同二十二日）

沸くやうな殘暑のうちにいよ〳〵第六十三議會が開かれました、二十二日召集日の院内は白扇と白服に彩られて時局匡救臨時議會とはいへ各控室ともに座談會といふ圖柄、前議會からタッタ二ケ月の間に政界に描かれた大波紋、國民同盟の誕生と國家社會黨と社會大衆黨の出現に控室も一變し、舊第一控室は國民同盟に占領され、いはゆる第一控室組の無産中立團は第二天國へ……かくて十時振鈴、九本の氷柱も一向の効めなく、議長氣をきかせて議事はタッタ五分で終了といふ夏らしい議會風景を呈しました

滿鐵殉職社員慰靈

（同二十三日）

滿鐵の殉職社員慰靈祭は毎年十月下旬に行つて過去一年間の物故者の遺族を招いて盛大な儀式を行つて來ましたが、これを約一ケ月繰上げて九月十八日の柳條溝事變當日に行はうといふ議が社内に起るに至りました

雄基、羅津間私鐵

（同上）

豫て滿鐵から出願中の雄基――羅津間十五キロ三分の私鐵敷設は八月十日附で免許されましたが、同線は廣軌、工費四百四十萬圓でこれによつて多年の問題であつた終端港問題も解決されたわけです

調査報告起草了る

（同二十四日）

ジュネーヴよりの入電によりますと、聯盟事務局はリットン卿から二十四日をもつて調査報告書の起草を完了した旨の電報に接しましたが、右報告書はタイプライターで打つた二百ページの本文と七百ページの附屬書から成つた浩瀚なものだといふことでした

排日テロの横行

（同二十五日）

血魂除奸團の排日テロが虹口路方面の邦人にも及ばうとする形勢であるため、わが陸戰隊は一個小隊を日本電信局に配置すると同時に巡邏兵を増加し、邦人に對する暴行勃發すれば徹底的手段を執ることになり、陸戰隊では萬一の場合徹底的手段をとる用意をなし、兵の配置を整へ、支那側の停戰協定違反を監視してゐる故邦人は安心されよと聲明しました

武藤全權入滿

（同二十六日）

日滿兩國の期待を一身に集めて陸路赴任の途にありました初代の駐滿特命全權大使武藤信義大將は、小磯參謀長以下幕僚隨員を帶同して、小雨降る朝霧の中に浮ぶ鮮滿國境を越えて二十六日午後一時着列車で無事奉天につきましたが、驛頭には日滿官民多數の出迎へあり、殊に滿洲事變以來十有一ケ月戰塵にまみれた本庄將軍との對面は歷史的意義を有する劇的シーンでありました

献立

齋藤喜美惠

	朝	晝	晩
日	フルーツサンドウイッチ、ボイルドエッグス、牛乳	人參とこんにやくの白和へ、焼竹輪と蓮根の煮メ	すゞき鹽蒸し、白瓜の三杯酢、莢隱元の胡麻和へ
月	里芋味噌汁、鹽昆布	鶏肉とこんにやくのうま煮、春菊のおしたし	貝柱と三葉の清汁、豚カツレツ、トマトと胡瓜のサラダ
火	豆腐の味噌汁、辛子漬	あぢの鹽焼、胡瓜酢味噌	マカロニスープ、胡瓜とハムの山吹和へ、莢いんげんのから煮
水	小蕪の味噌汁、昆布佃煮	卵の花炒り、焼かまぼこ	とろろ汁、鮑の胡瓜の三杯酢
木	南瓜の味噌汁、焼海苔	茄子の鍋しぎ、胡瓜もみ	すゞき黄味焼、蛤の汐汁、つまみ菜のしたし
金	莢いんげん味噌汁、はぜの佃煮	甘諸のきんとん煮、白瓜の胡麻酢	かまぼこと春菊の清汁、コーンビーフ、野菜サラダ
土	キャベツの味噌汁、煮豆	里芋でんがく、金平牛蒡	はもの洗ひ、蟹と三つ葉の卵とぢ、鮪山かけ

家庭滿洲語 紙上講座

第廿二課

一 (1)學堂（シ(ウ)エ タン） (2)功課（コ(ウ)ン コ(ア)） (3)放假（フ(ア)ン チア） (4)沒有（メ(イ) イオ(ウ)）

二 (1)先生教（シエ(ア)ヌ スン チアオ） (2)學生聽（シ(ウ)エ スン テ(イ)ーン） (3)明[illegible] (4)不明白（プー ミーン パエ(イ)）

三 (1)上學堂去（スアン シ(ウ)エ タン チ(ウ)イ） (2)用功（ヨ(ウ)ン コ(ウ)ン） (3)功課完了（コ(ウ)ン コ(ア) ウア(ヌ) ラ） (4)回家去（ホ(ウ)エイ チア チ(ウ)イ）

四 (1)回來（ホ(ウ)エイ ラエ(イ)） (2)還沒回來（ハエ(イ) メ(イ) ホ(ウ)エ(イ) ラエ(イ)） (3)念書去了（ニエ(ア)ヌ ス(ウ)ー チ(ウ)イ ラ） (4)玩兒去了（ウアール チ(ウ)イ ラ）

【譯語】

一 (1)學校 (2)課業 (3)休業する (4)課業が無い

二 (1)先生が教へる (2)生徒が聽く(先生の話を) (3)判る (4)判らない

三 (1)學校へ行く (2)勉強する (3)課業が終つた (4)家へ歸る

四 (1)歸つて來たか (2)未だ歸つて來ない (3)勉強して往つた (4)遊びに往つた

【説明】

學堂 今日では普通一般に學堂といふが、以前は學房とか或は書房とも稱して、寺子屋式の私塾が今でも有る、最近は**學校**シ(ウ)エシアオといふ名稱が廣く行はれる樣に成つて來た。

放假 は學校に限らず、官衙、會社、工場等に於て一般に業務を休ませることで、學校の休業に對しては特に**放學**なる言葉が有る

念書 は讀書であるが、昔の學問は讀書專一であつたので、今でも學校へ往つて勉強することを念書と云ひ習はして居る。

發音上の注意

用 ヨ(ウ)ンはヨンでもユンでもない、口を(ウ)と充分つぼめた儘ヨンを發し、終り迄口の形を變へぬ樣にするのである。

前週の答

(1)甚麼時候兒起來 (2)我不出門兒 (3)他沒出門兒 (4)你早回去罷 (5)早起來麼 (6)晚上來 (7)已經完了 (8)還沒回來 (9)我要回去 (10)現在在家

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1)學校が有る (2)課業が有る (3)休みに成らぬ (4)生徒は讀書(勉學)する (5)判るか判らぬか (6)學校へ行かない (7)讀書をせぬ (8)勉強せぬ (9)家へ歸つて來る (10)未だ寢ない